

令和元年度
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査
調査結果報告書

令和元年8月

袋 井 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況（インターネット回答を含む）	1
6	インターネット回答状況	2
7	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
(1)	あなたご自身のことについて	3
(2)	あなたの運動習慣、健康習慣などについて	7
(3)	2020年東京オリンピックについて.....	11
(4)	I C T (情報通信技術)について	13
(5)	男女共同参画社会について	16
(6)	環境について	44
(7)	防災対策について	46
(8)	生鮮食料品(野菜、果物、肉、魚)の買い物について	52
(9)	袋井市のまちづくりについて	60
III	年次変化	65
1	家庭での男女の役割分担	65
2	非常用持ち出し袋	66
3	家具の固定	67
IV	その他意見	68
V	資料	71
1	調査票	71

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生活における状況や意識を聞くとともに、袋井市総合計画の進捗状況を測る指標とするものです。また、調査結果は、今後の市のまちづくりに関わる取り組みを検討する基礎資料として、活用してまいります。

2 調査対象

袋井市内在住の18歳以上の市民3,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和元年6月18日から令和元年7月1日

4 調査方法

- ・郵送により調査票を配布
- ・郵送による回答及びインターネットによる回答

5 回収状況（インターネット回答を含む）

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,211通	40.4%

6 インターネット回答状況

	回答数	回答割合
ネット回答の割合	169 通	14.0%
ネット回答した人の性別・年代		
男性	105 通	62.1%
10 歳代	3 通	1.8%
20 歳代	19 通	11.2%
30 歳代	19 通	11.2%
40 歳代	28 通	16.6%
50 歳代	17 通	10.1%
60 歳代	11 通	6.5%
70 歳以上	8 通	4.7%
女性	64 通	37.9%
10 歳代	5 通	3.0%
20 歳代	18 通	10.7%
30 歳代	16 通	9.5%
40 歳代	10 通	5.9%
50 歳代	8 通	4.7%
60 歳代	7 通	4.1%
70 歳以上	0 通	0.0%
回答に使用した機械		
PC	53 通	31.4%
スマホ	116 通	68.6%

7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

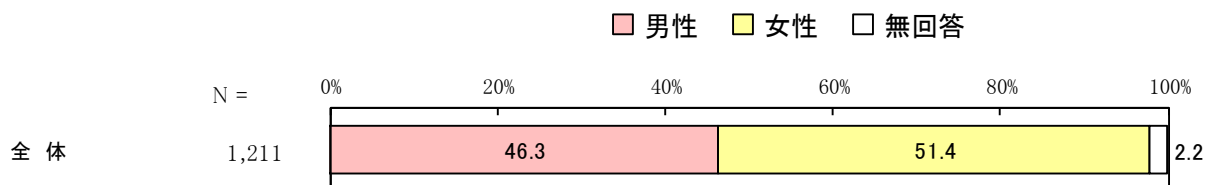
II 調査結果

(1) あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別、年齢などを教えてください。(それぞれ1つ選択)

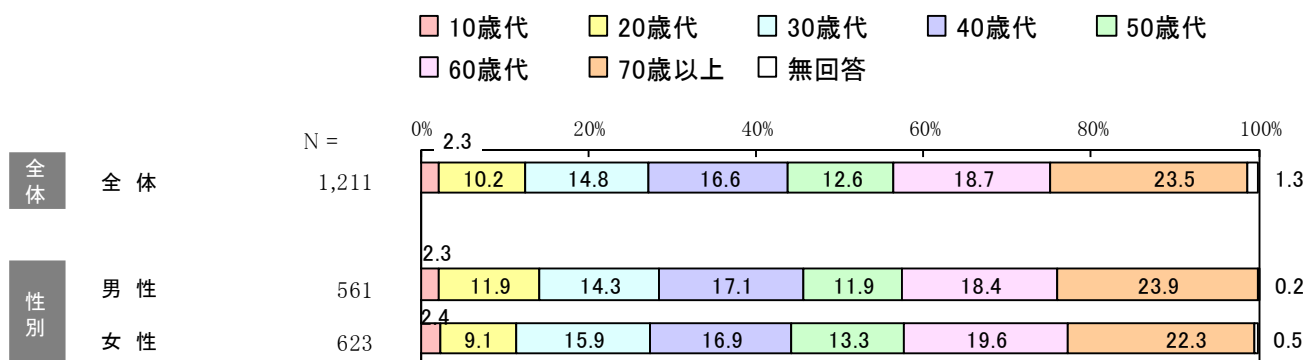
【性別】

■性別については、「男性」の割合が46.3%、「女性」の割合が51.4%となっています。



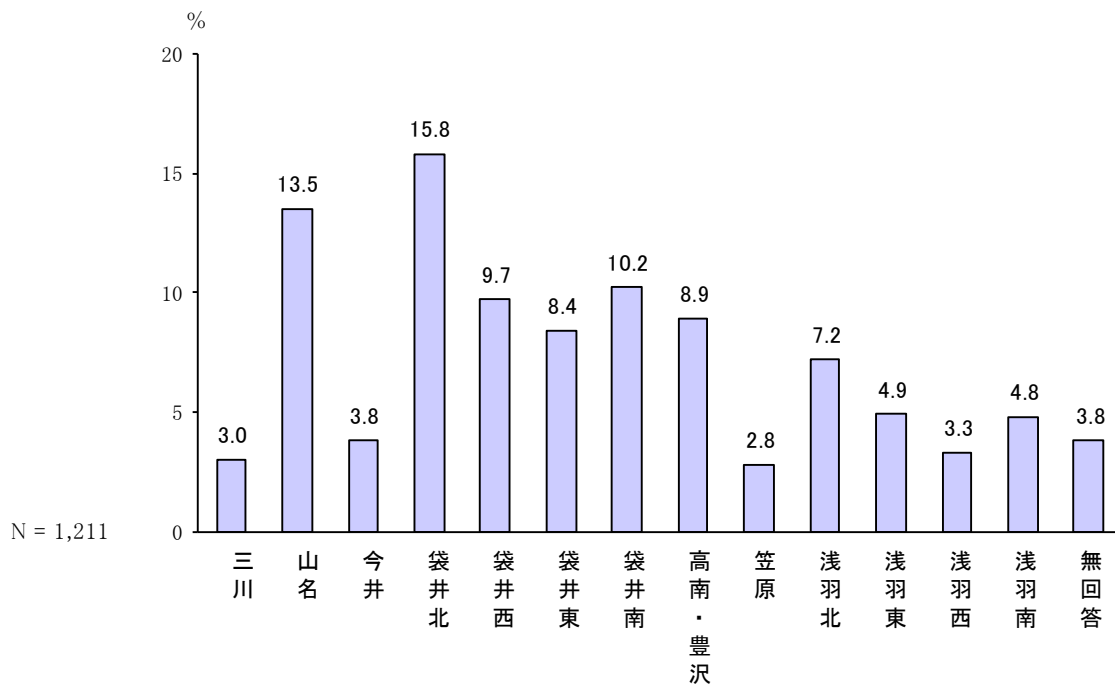
【年齢】

■年齢については、「70歳以上」の割合が23.5%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.7%、「40歳代」の割合が16.6%となっています。



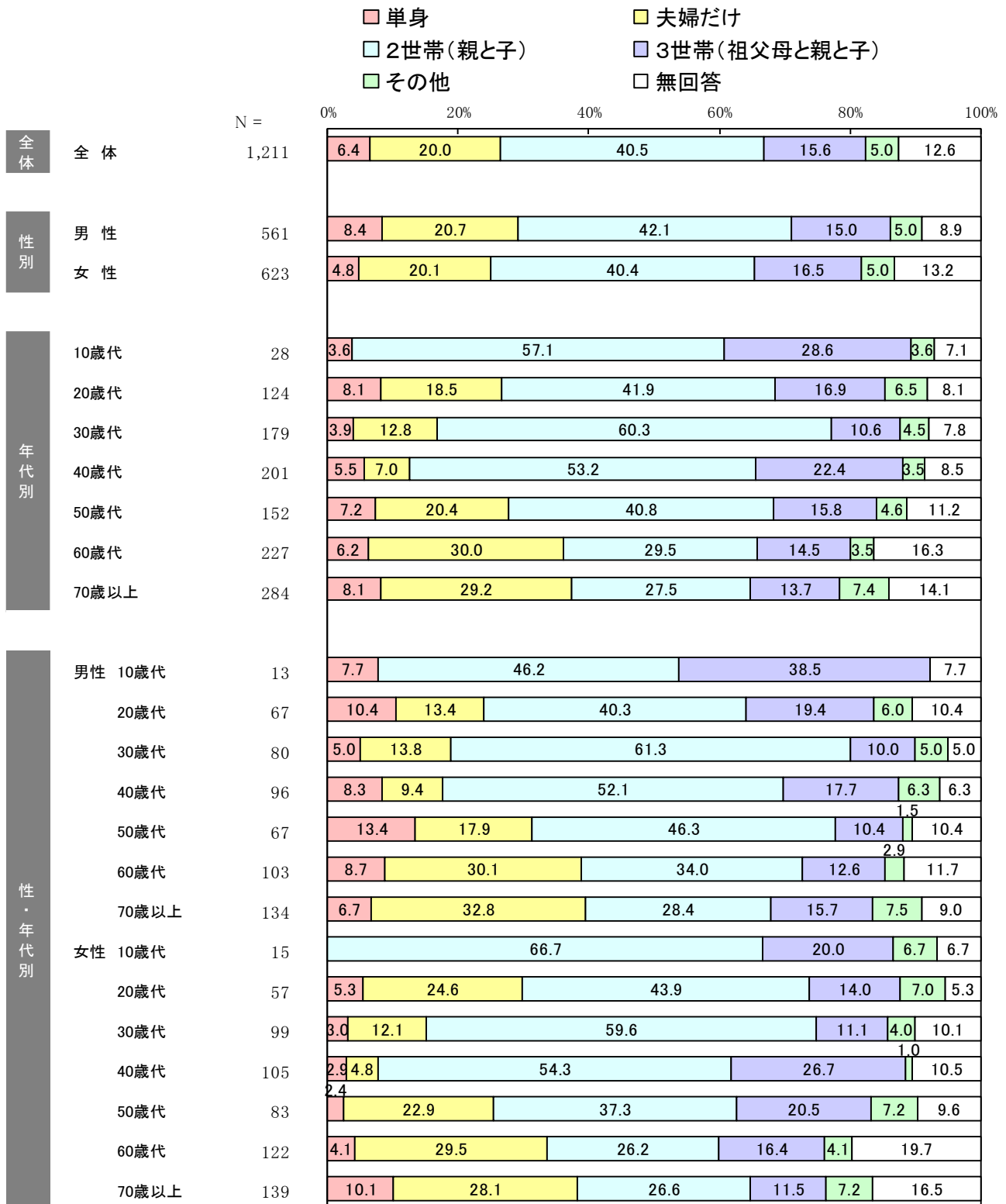
【居住地区（旧公民館地区）】

■居住地区（公民館地区）については、「袋井北」の割合が 15.8%と最も高く、次いで「山名」の割合が 13.5%となっています。

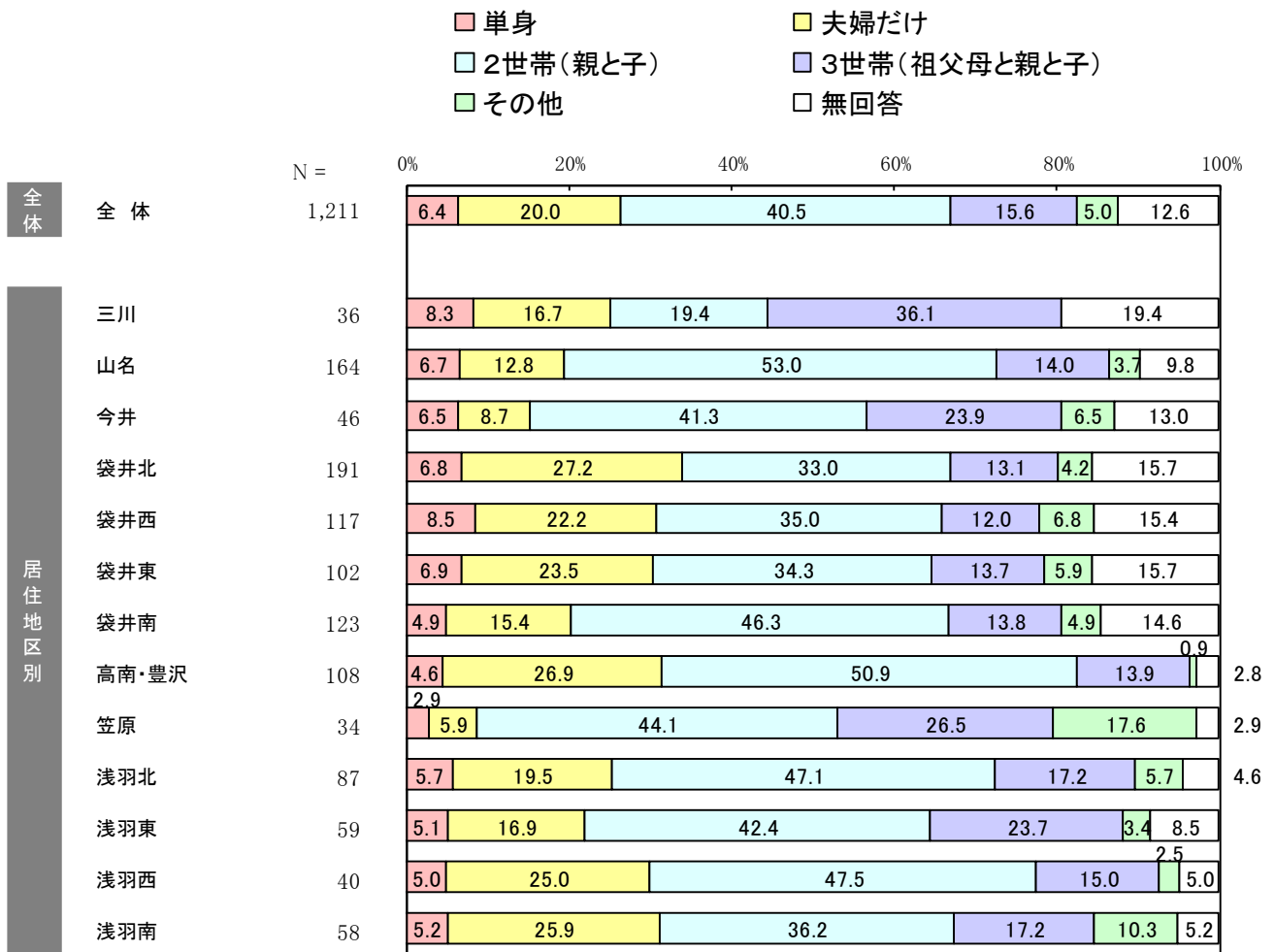


【家族構成】

- 家族構成については、「2世帯（親と子）」の割合が40.5%と最も高く、次いで「夫婦だけ」の割合が20.0%、「3世帯（祖父母と親と子）」の割合が15.6%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、30歳代で「3世帯（祖父母と親と子）」の割合が高く、約6割となっています。また、60歳代以上で「夫婦だけ」の割合が高くなっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、女性の10歳代で「2世帯（親と子）」の割合が高く、約6割となっています。また、男性の10歳代で「3世帯（祖父母と親と子）」の割合が、男性の60歳代以上で「夫婦だけ」の割合が高くなっています。



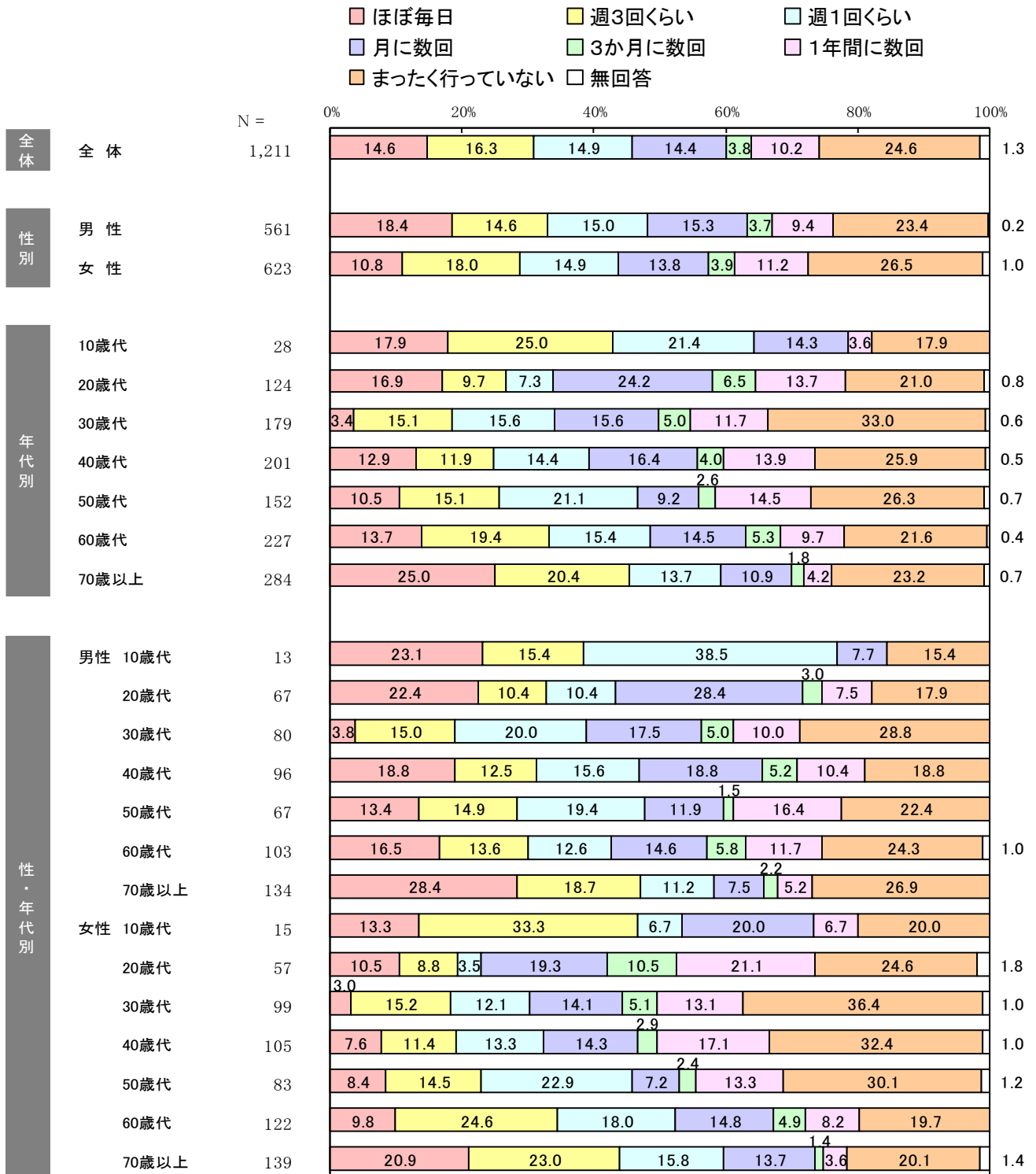
■ 居住地区別でみると、他の地区に比べ、山名、高南・豊沢で「2世帯（親と子）」の割合が高く、約5割となっています。また、三川で「3世帯（祖父母と親と子）」の割合が高く、3割半ばとなっています。



(2) あなたの運動習慣、健康習慣などについて

問2 あなたは、この1年間でスポーツをどのくらい行いましたか。(1つ選択)

- 1年間のスポーツの頻度については、「まったく行っていない」の割合が24.6%と最も高く、次いで「週3回くらい」の割合が16.3%、「週1回くらい」の割合が14.9%となっています。
- 性別で見ると、女性に比べ男性で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「ほぼ毎日」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、30歳代で「まったく行っていない」の割合が高くなっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上で「ほぼ毎日」の割合が高く、約3割となっています。また、女性の30歳代で「まったく行っていない」の割合が高く、3割半ばとなっています。

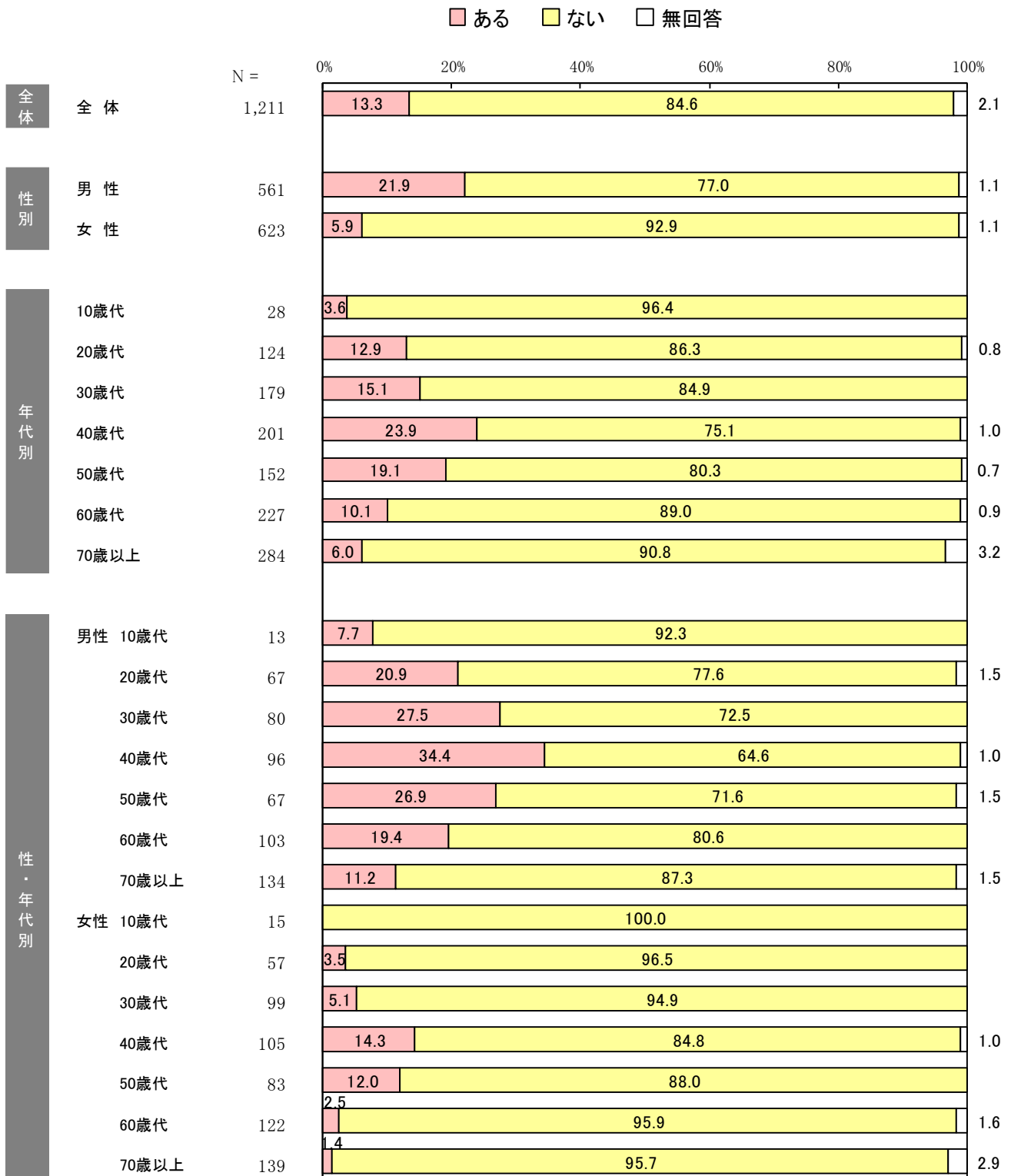


- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、笠原で「ほぼ毎日」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、高南・豊沢で「週3回くらい」の割合が高く、2割半ばとなっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、単身で「まったく行っていない」の割合が低く、約1割となっています。



問3 あなたは、日常的に喫煙する習慣がありますか。

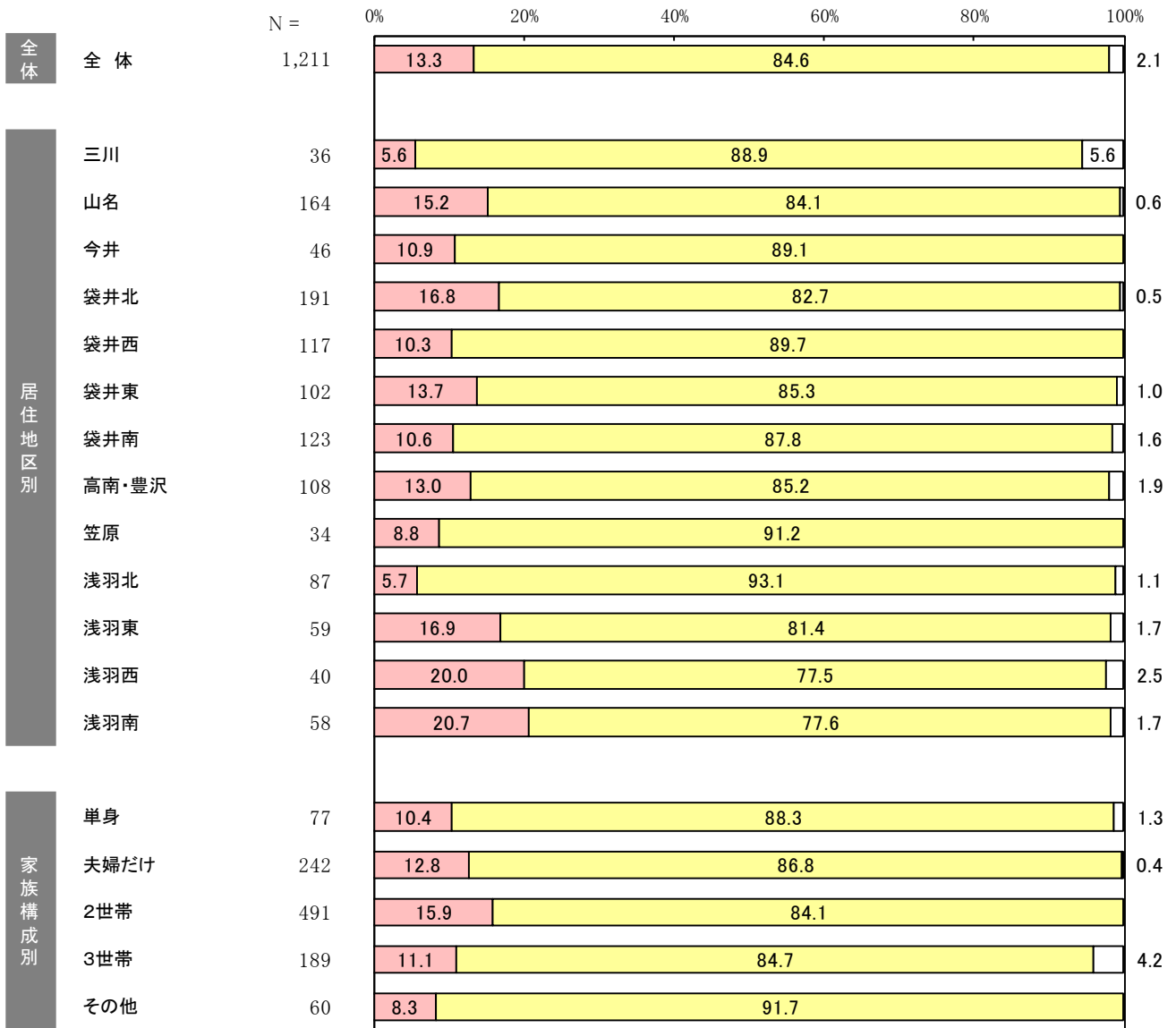
- 喫煙習慣については、「ある」の割合が13.3%、「ない」の割合が84.6%となっています。
- 性別で見ると、女性に比べ、男性で「ある」の割合が高く、約2割となっています。
- 年代別で見ると、40歳代まで、「喫煙」の習慣がある人の割合は増え続け、それ以降は減少傾向にあります。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代から50歳代で「ある」の割合が高く、特に男性の40歳代で3割半ばとなっています。



■居住地区別で見ると、他の地区に比べ、笠原、浅羽北で「ない」の割合が高く、9割を超えています。

■家族構成別で見ると、他に比べ、2世帯で「ある」の割合が高く、1割半ばとなっています。

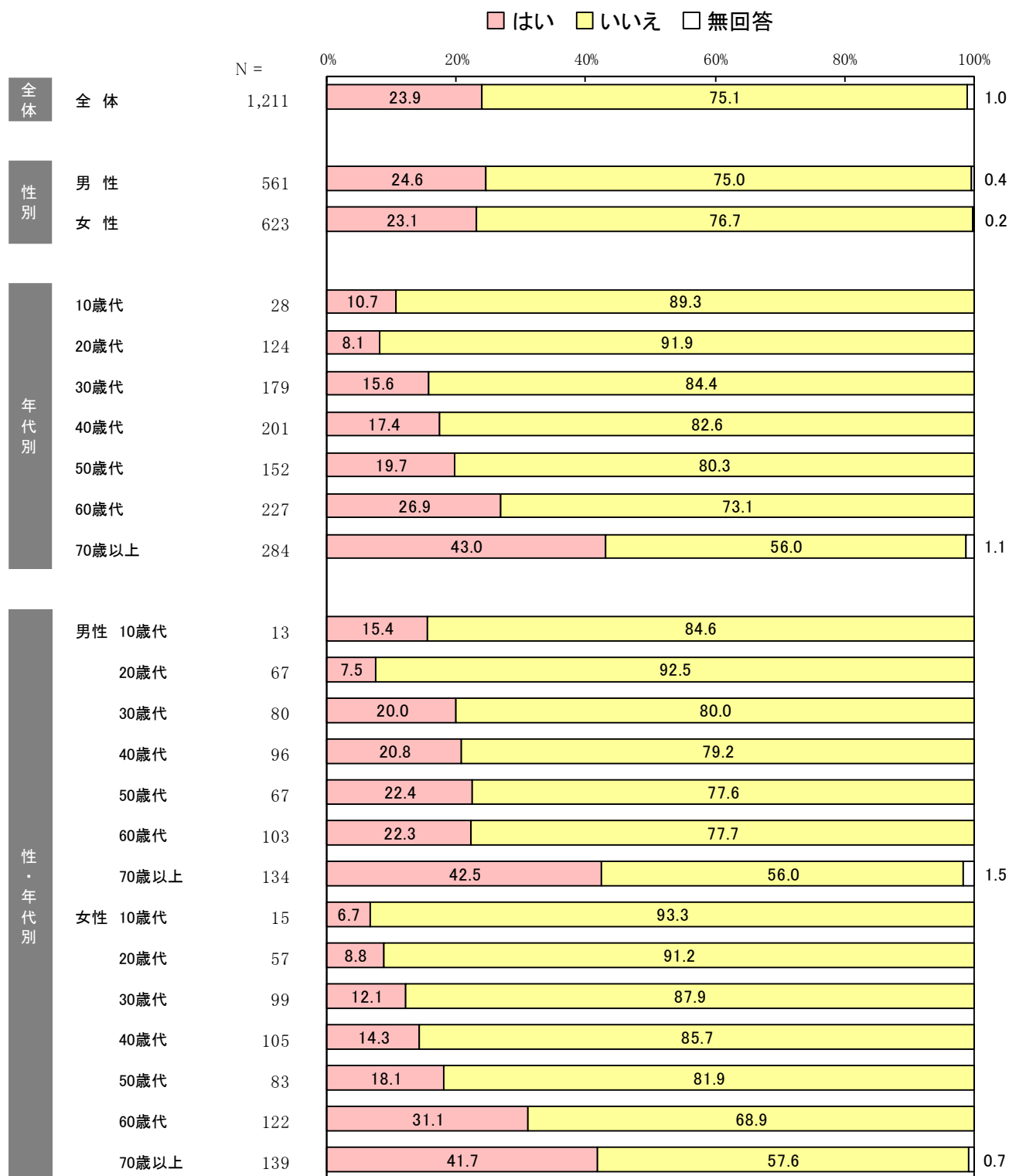
■ある ■ない □無回答



(3) 2020年東京オリンピックについて

問4 アイルランドのオリンピックチームが2020年に袋井市内で事前キャンプを行うことを知っていますか。

- アイルランドのオリンピックチームのキャンプ地の認知度については、「はい」の割合が23.9%、「いいえ」の割合が75.1%となっています。
- 年代別で見ると、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代、女性の10歳代、20歳代で「いいえ」の割合が高く、9割を超えています。また、男性の70歳以上、女性の70歳以上で「はい」の割合が高く、約4割となっています。



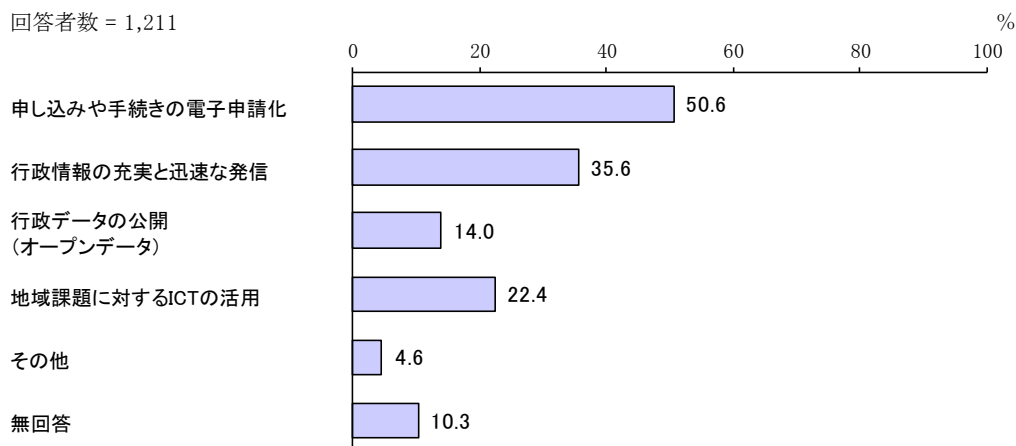
- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、高南・豊沢、浅羽北で「はい」の割合が高く、約3割と
なっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、単身、夫婦だけで「はい」の割合が高く、約3割と
なっています。



(4) ICT (情報通信技術)について

問5 ICTを活用した袋井市の取り組みについて、今後さらに力をいれてほしい分野は何ですか。(あてはまるもの全て選択)

- ICTを活用した袋井市の取り組みで、今後力を入れてほしい分野については、「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が50.6%と最も高く、次いで「行政情報の充実と迅速な発信」の割合が35.6%、「地域課題に対するICTの活用」の割合が22.4%となっています。



【性別、年代別】

- 性別で見ると、男女ともに、「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が最も高く、「行政データの公開(オープンデータ)」の割合が最も低くなっています。
- 年代別で見ると、20歳代、30歳代では「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が高く、7割を超えています。一方、60歳代、70歳以上では「行政情報の充実と迅速な発信」の割合が高くなっています。

上段：件数 下段：割合 (%)

区分		調査数	申し込みや手続きの電子申請化	行政情報の充実と迅速な発信	行政データの公開(オープンデータ)	ICT地域課題に対する活用	その他	無回答
性別	男性	561	291	200	100	145	31	34
		100.0	51.9	35.7	17.8	25.8	5.5	6.1
性別	女性	623	319	228	69	120	22	76
		100.0	51.2	36.6	11.1	19.3	3.5	12.2
年代別	10歳代	28	17	11	3	4	-	-
		100.0	60.7	39.3	10.7	14.3	-	-
	20歳代	124	92	37	14	32	1	4
		100.0	74.2	29.8	11.3	25.8	0.8	3.2
	30歳代	179	126	59	15	35	6	8
		100.0	70.4	33.0	8.4	19.6	3.4	4.5
	40歳代	201	139	54	26	41	7	9
		100.0	69.2	26.9	12.9	20.4	3.5	4.5
50歳代	152	86	71	25	34	7	5	
	100.0	56.6	46.7	16.4	22.4	4.6	3.3	
60歳代	227	90	96	43	53	13	21	
	100.0	39.6	42.3	18.9	23.3	5.7	9.3	
70歳以上	284	61	102	44	71	20	66	
	100.0	21.5	35.9	15.5	25.0	7.0	23.2	

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【性・年代別】

■性・年代別でみると、他に比べ、女性の20歳代で「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が高く、8割半ばとなっています。一方で、男性の70歳以上、女性の60歳代、70歳以上では、「申し込み手続きの電子申請化」の割合は低くなっています。

上段：件数 下段：割合（％）

区分		調査数	申し込みや手続きの電子申請化	行政情報の充実と迅速な発信	行政データの公開（オープンデータ）	ICT地域課題に対する活用	その他	無回答
性年代別	男性 10歳代	13	8	6	1	1	-	-
		100.0	61.5	46.2	7.7	7.7	-	-
	20歳代	67	43	24	11	23	1	2
		100.0	64.2	35.8	16.4	34.3	1.5	3.0
	30歳代	80	58	27	6	19	3	2
		100.0	72.5	33.8	7.5	23.8	3.8	2.5
	40歳代	96	65	23	16	24	4	4
		100.0	67.7	24.0	16.7	25.0	4.2	4.2
	50歳代	67	38	31	16	17	2	-
		100.0	56.7	46.3	23.9	25.4	3.0	-
	60歳代	103	47	35	23	24	9	4
		100.0	45.6	34.0	22.3	23.3	8.7	3.9
	70歳以上	134	32	54	27	37	11	22
		100.0	23.9	40.3	20.1	27.6	8.2	16.4
女性	10歳代	15	9	5	2	3	-	-
		100.0	60.0	33.3	13.3	20.0	-	-
	20歳代	57	49	13	3	9	-	2
		100.0	86.0	22.8	5.3	15.8	-	3.5
	30歳代	99	68	32	9	16	3	6
		100.0	68.7	32.3	9.1	16.2	3.0	6.1
	40歳代	105	74	31	10	17	3	5
		100.0	70.5	29.5	9.5	16.2	2.9	4.8
50歳代	83	47	40	9	16	5	5	
	100.0	56.6	48.2	10.8	19.3	6.0	6.0	
60歳代	122	42	60	19	28	3	17	
	100.0	34.4	49.2	15.6	23.0	2.5	13.9	
70歳以上	139	29	46	17	31	7	40	
	100.0	20.9	33.1	12.2	22.3	5.0	28.8	

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【居住地区別、家族構成別】

- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、山名、袋井南で「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、笠原で「行政情報の充実と迅速な発信」の割合が高く、5割となっています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、3世帯（祖父母と親と子）で「申し込みや手続きの電子申請化」の割合が高く、5割半ばとなっています。

上段：件数 下段：割合（%）

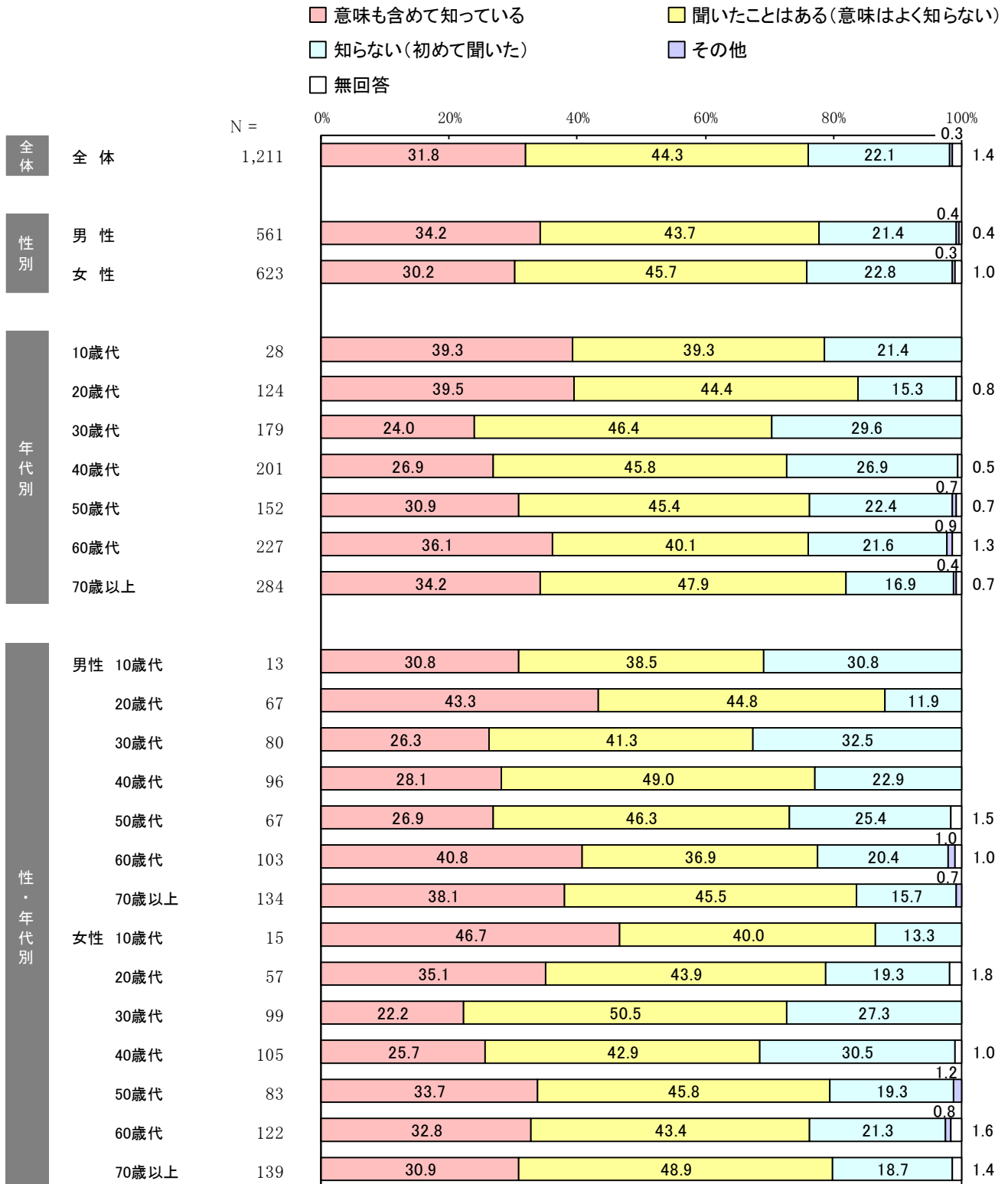
区分		調査数	申し込みや手続きの電子申請化	行政情報の充実と迅速な発信	行政データの公開（オープンデータ）	地域課題に対するICTの活用	その他	無回答
居住地区別	三川	36 100.0	19 52.8	11 30.6	5 13.9	9 25.0	2 5.6	6 16.7
	山名	164 100.0	93 56.7	67 40.9	22 13.4	34 20.7	7 4.3	10 6.1
	今井	46 100.0	19 41.3	12 26.1	9 19.6	9 19.6	4 8.7	6 13.0
	袋井北	191 100.0	101 52.9	68 35.6	32 16.8	46 24.1	13 6.8	10 5.2
	袋井西	117 100.0	63 53.8	44 37.6	17 14.5	27 23.1	6 5.1	13 11.1
	袋井東	102 100.0	56 54.9	34 33.3	11 10.8	20 19.6	4 3.9	13 12.7
	袋井南	123 100.0	69 56.1	40 32.5	16 13.0	26 21.1	4 3.3	8 6.5
	高南・豊沢	108 100.0	55 50.9	36 33.3	11 10.2	25 23.1	3 2.8	13 12.0
	笠原	34 100.0	17 50.0	17 50.0	7 20.6	7 20.6	1 2.9	2 5.9
	浅羽北	87 100.0	38 43.7	29 33.3	10 11.5	21 24.1	5 5.7	11 12.6
	浅羽東	59 100.0	29 49.2	25 42.4	11 18.6	14 23.7	1 1.7	5 8.5
	浅羽西	40 100.0	16 40.0	16 40.0	10 25.0	9 22.5	2 5.0	5 12.5
	浅羽南	58 100.0	23 39.7	24 41.4	5 8.6	17 29.3	2 3.4	5 8.6
	家族構成別	単身	77 100.0	31 40.3	30 39.0	10 13.0	15 19.5	7 9.1
夫婦だけ		242 100.0	117 48.3	92 38.0	39 16.1	56 23.1	11 4.5	30 12.4
2世帯		491 100.0	282 57.4	164 33.4	61 12.4	101 20.6	18 3.7	37 7.5
3世帯		189 100.0	108 57.1	74 39.2	33 17.5	47 24.9	8 4.2	12 6.3
その他		60 100.0	25 41.7	18 30.0	6 10.0	10 16.7	5 8.3	9 15.0

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

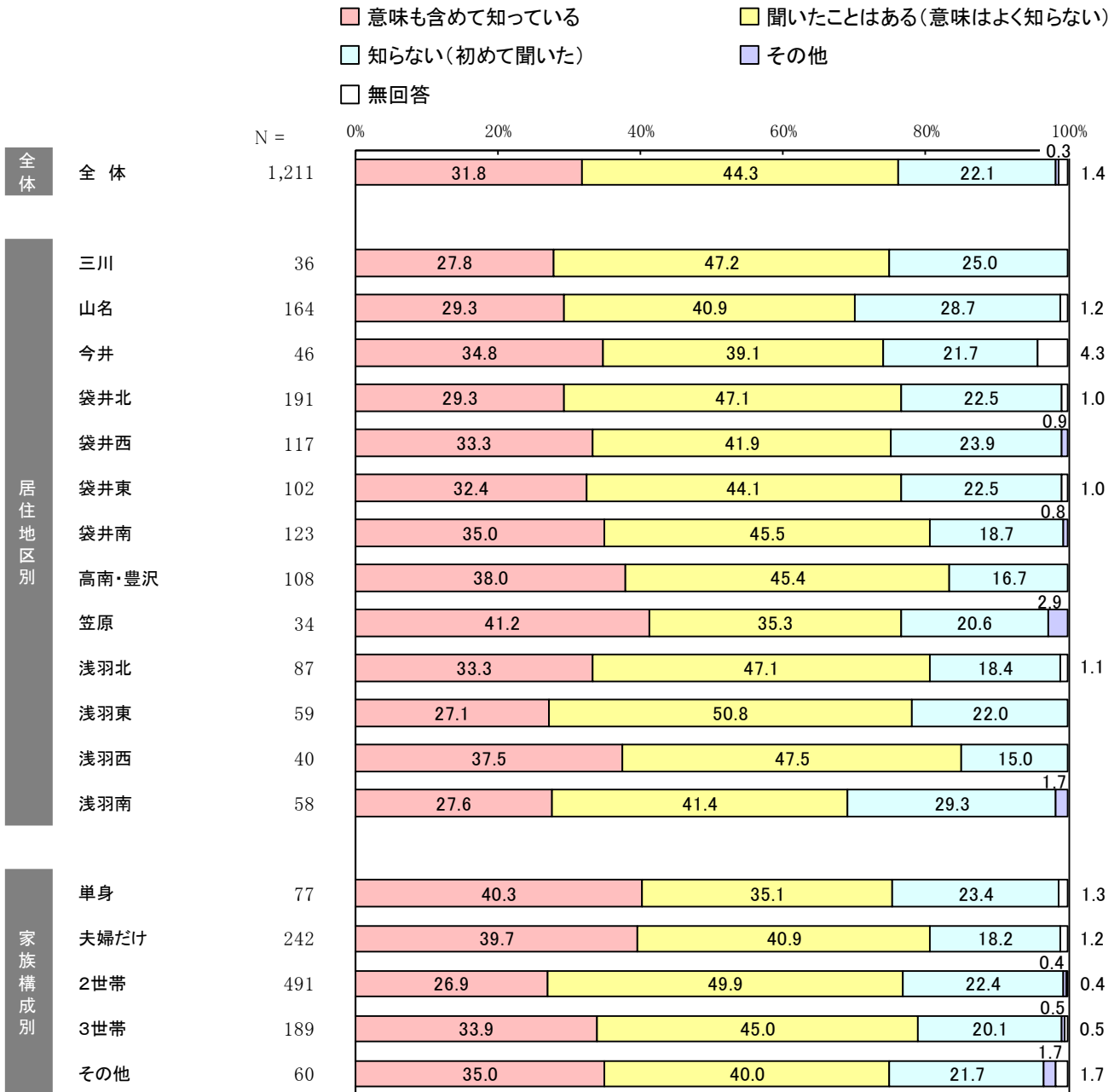
(5) 男女共同参画社会について

問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉やその意味を知っていますか。

- 「男女共同参画社会」の認知度については、「聞いたことはある(意味はよく知らない)」の割合が44.3%と最も高く、次いで「意味も含めて知っている」の割合が31.8%、「知らない(初めて聞いた)」の割合が22.1%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代、20歳代で「意味も含めて知っている」の割合が高く、約4割となっています。また、30歳代で「知らない(初めて聞いた)」の割合が高く、約3割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、女性の10歳代で「意味も含めて知っている」の割合が高く、一方で、男性の30歳代、40歳代、50歳代、女性の30歳代、40歳代は「意味も含めて知っている」の割合が3割を下回っています。



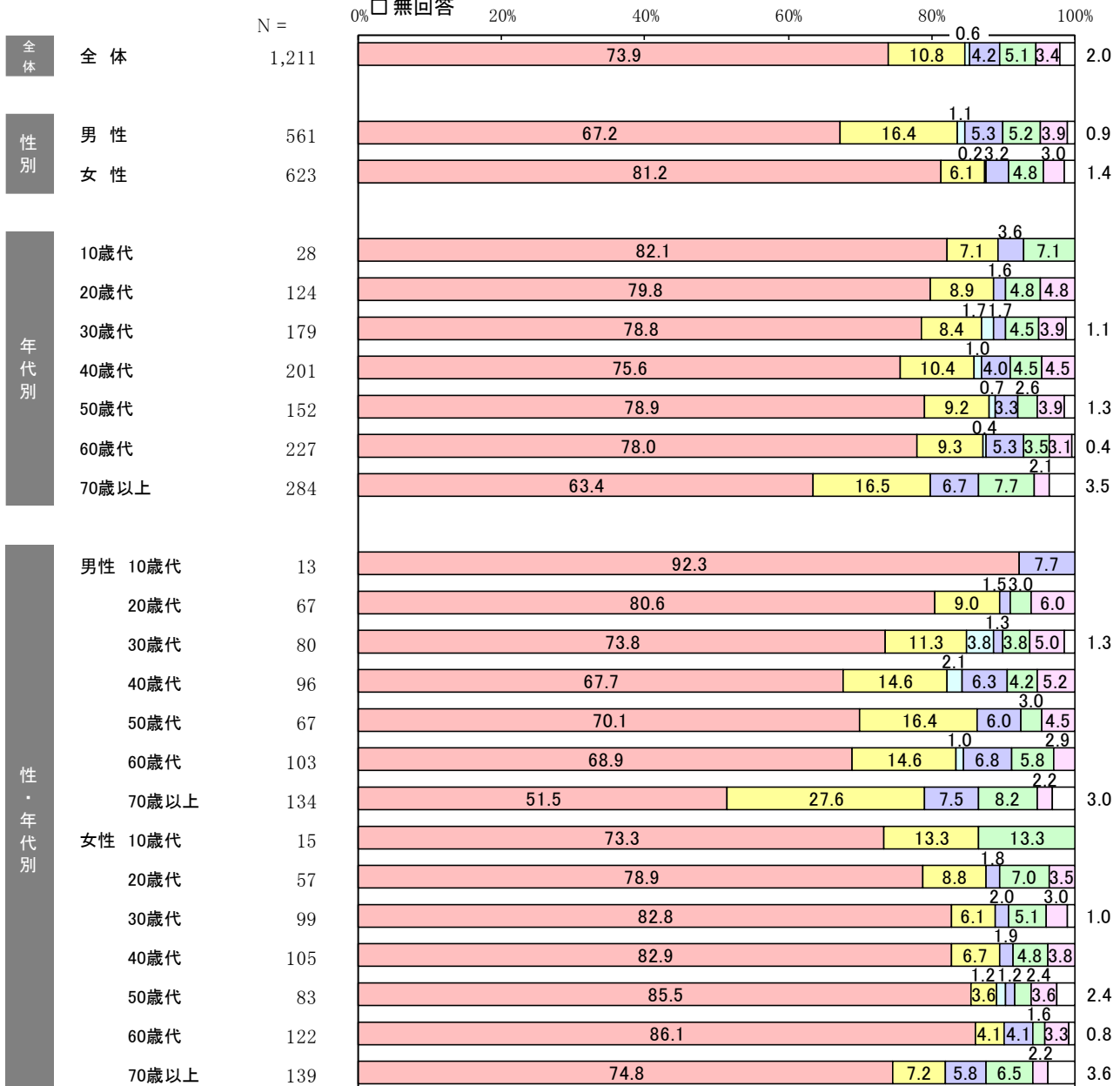
- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、笠原で「意味も含めて知っている」の割合が高く、約4割となっています。また、浅羽東で「聞いたことはある(意味はよく知らない)」の割合が高く、約5割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、単身で「意味も含めて知っている」の割合が高く、約4割となっています。また、2世帯で「聞いたことはある(意味はよく知らない)」の割合が高く、約5割となっています。



問7 家庭での男女の役割分担について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。

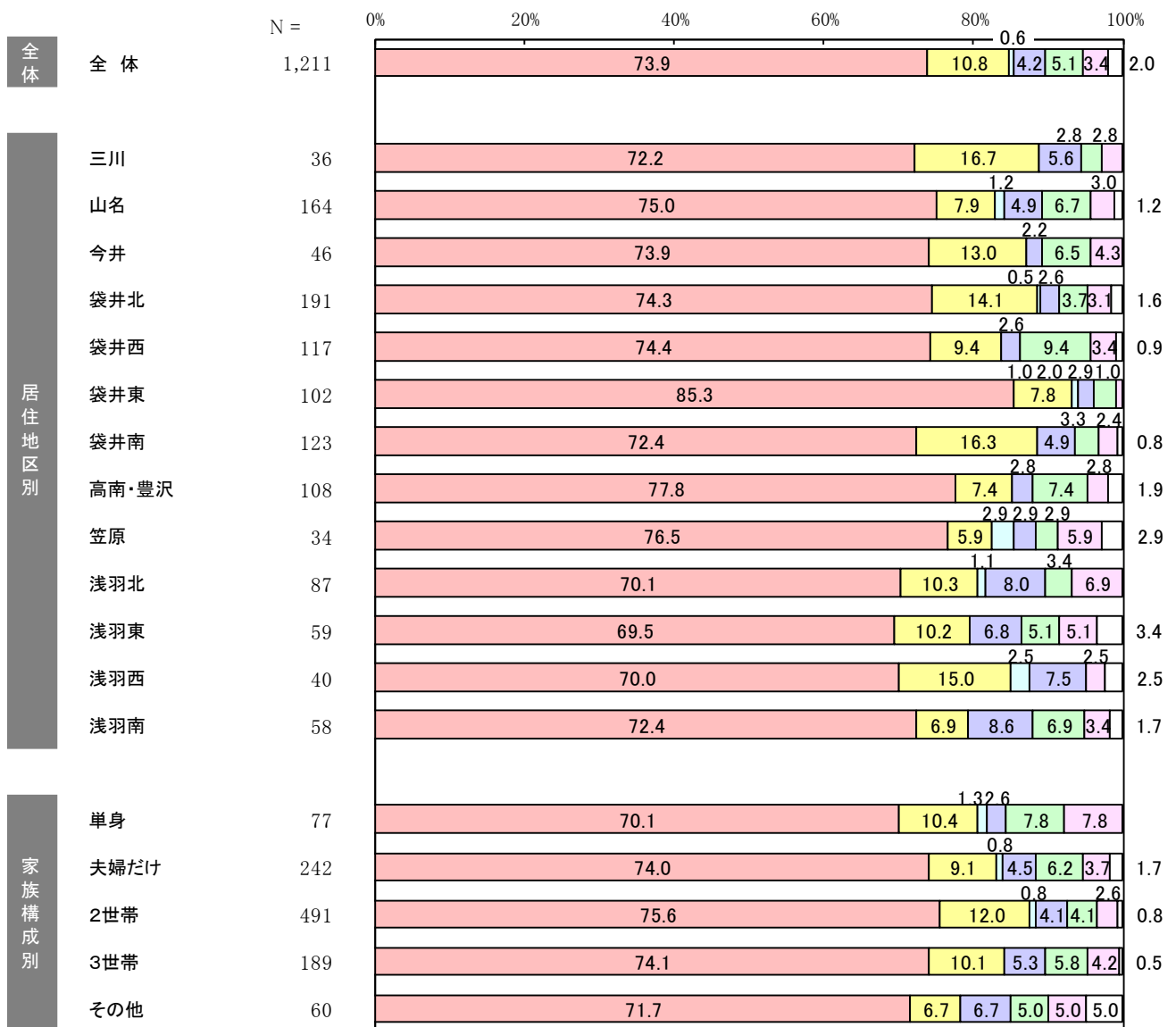
- 男女の役割分担については、「男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい」の割合が73.9%と最も高く、次いで「男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい」の割合が10.8%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ、男性で「男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい」の割合が高くなっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい」の割合が低く、約6割となっています。
- 性・年代別でみると、男性の70歳以上で「男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい」の割合が高く、約3割となっています。

- 男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい
- 男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 女性は仕事を中心にし、男性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 男女ともに仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である
- わからない
- その他
- 無回答



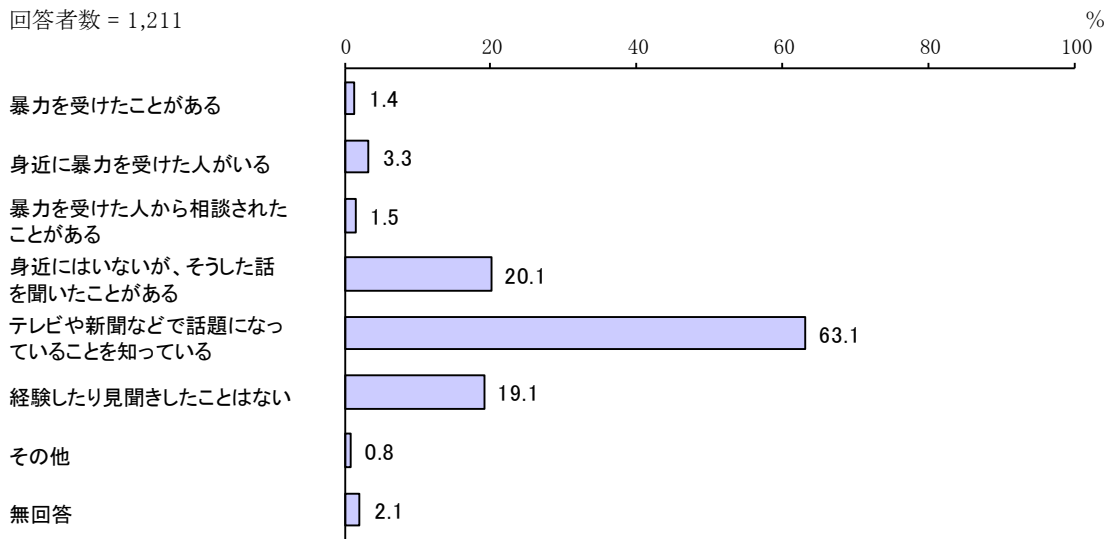
■ 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、袋井東で「男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい」の割合が高く、8割半ばとなっています。また、三川、袋井南、浅羽西で「男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい」の割合が高くなっています。

- 男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい
- 男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 女性は仕事を中心にし、男性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 男女ともに仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である
- その他
- 無回答



問8 あなたは、過去1年間に「夫や妻・恋人などから親しい間柄にある男女間の暴力」(ドメスティック・バイオレンス)について、経験したり見聞きしたことがありますか。(当てはまるもの全て選択)

■ドメスティック・バイオレンスの経験については、「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が63.1%と最も高く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」の割合が20.1%、「経験したり見聞きしたことはない」の割合が19.1%となっています。



【性別】

■性別でみると、女性に比べ男性で、「経験したり見聞きしたことはない」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ女性で「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が高く、6割半ばとなっています。

上段：件数 下段：割合 (%)

区分		調査数	暴力を受けたことがある	身近に暴力を受けた人がある	暴力を受けた人から相談されたことがある	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	テレビや新聞などで話題になっていることを知っている	経験したり見聞きしたことはない	その他	無回答
性別	男性	561	5	15	5	110	339	127	6	3
		100.0	0.9	2.7	0.9	19.6	60.4	22.6	1.1	0.5
女性		623	12	24	13	128	414	102	4	14
		100.0	1.9	3.9	2.1	20.5	66.5	16.4	0.6	2.2

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【年代別、性・年代別】

- 年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が高く、約7割となっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の60歳代、女性の50歳代以上で「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が高く、7割を超えています。

上段：件数 下段：割合（％）

区分		調査数	暴力を受けたことがある	身近に暴力を受けた人がいる	暴力を受けた人から相談されたことがある	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	テレビや新聞などで話題になっていることを知っている	経験したり見聞きしたことはない	その他	無回答
年代別	10歳代	28 100.0	- -	1 3.6	- -	3 10.7	14 50.0	11 39.3	1 3.6	- -
	20歳代	124 100.0	2 1.6	7 5.6	2 1.6	29 23.4	68 54.8	31 25.0	- -	- -
	30歳代	179 100.0	5 2.8	10 5.6	3 1.7	39 21.8	96 53.6	38 21.2	1 0.6	3 1.7
	40歳代	201 100.0	3 1.5	5 2.5	5 2.5	38 18.9	115 57.2	45 22.4	- -	3 1.5
	50歳代	152 100.0	2 1.3	4 2.6	3 2.0	34 22.4	105 69.1	25 16.4	- -	4 2.6
	60歳代	227 100.0	2 0.9	7 3.1	4 1.8	41 18.1	166 73.1	33 14.5	4 1.8	1 0.4
	70歳以上	284 100.0	3 1.1	6 2.1	1 0.4	59 20.8	195 68.7	46 16.2	4 1.4	6 2.1
性年代別	男性 10歳代	13 100.0	- -	1 7.7	- -	1 7.7	6 46.2	6 46.2	- -	- -
	20歳代	67 100.0	1 1.5	5 7.5	2 3.0	14 20.9	32 47.8	21 31.3	- -	- -
	30歳代	80 100.0	2 2.5	3 3.8	1 1.3	23 28.8	44 55.0	17 21.3	- -	- -
	40歳代	96 100.0	1 1.0	1 1.0	- -	16 16.7	51 53.1	29 30.2	- -	- -
	50歳代	67 100.0	- -	2 3.0	1 1.5	13 19.4	42 62.7	16 23.9	- -	- -
	60歳代	103 100.0	1 1.0	1 1.0	- -	18 17.5	74 71.8	16 15.5	3 2.9	- -
	70歳以上	134 100.0	- -	2 1.5	1 0.7	25 18.7	89 66.4	22 16.4	3 2.2	3 2.2
	女性 10歳代	15 100.0	- -	- -	- -	2 13.3	8 53.3	5 33.3	1 6.7	- -
	20歳代	57 100.0	1 1.8	2 3.5	- -	15 26.3	36 63.2	10 17.5	- -	- -
	30歳代	99 100.0	3 3.0	7 7.1	2 2.0	16 16.2	52 52.5	21 21.2	1 1.0	3 3.0
	40歳代	105 100.0	2 1.9	4 3.8	5 4.8	22 21.0	64 61.0	16 15.2	- -	3 2.9
	50歳代	83 100.0	2 2.4	2 2.4	2 2.4	19 22.9	63 75.9	9 10.8	- -	4 4.8
	60歳代	122 100.0	1 0.8	6 4.9	4 3.3	23 18.9	90 73.8	17 13.9	1 0.8	1 0.8
	70歳以上	139 100.0	3 2.2	3 2.2	- -	31 22.3	100 71.9	22 15.8	1 0.7	3 2.2

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【居住地区別、家族構成別】

- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、三川、今井、笠原、浅羽西で「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が高く、7割を超えています。また、袋井北、袋井東、浅羽南で「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」の割合が高く、2割半ばとなっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、3世帯（祖父母と親と子）で「テレビや新聞などで話題になっていることを知っている」の割合が高く、約7割となっています。

上段：件数 下段：割合（%）

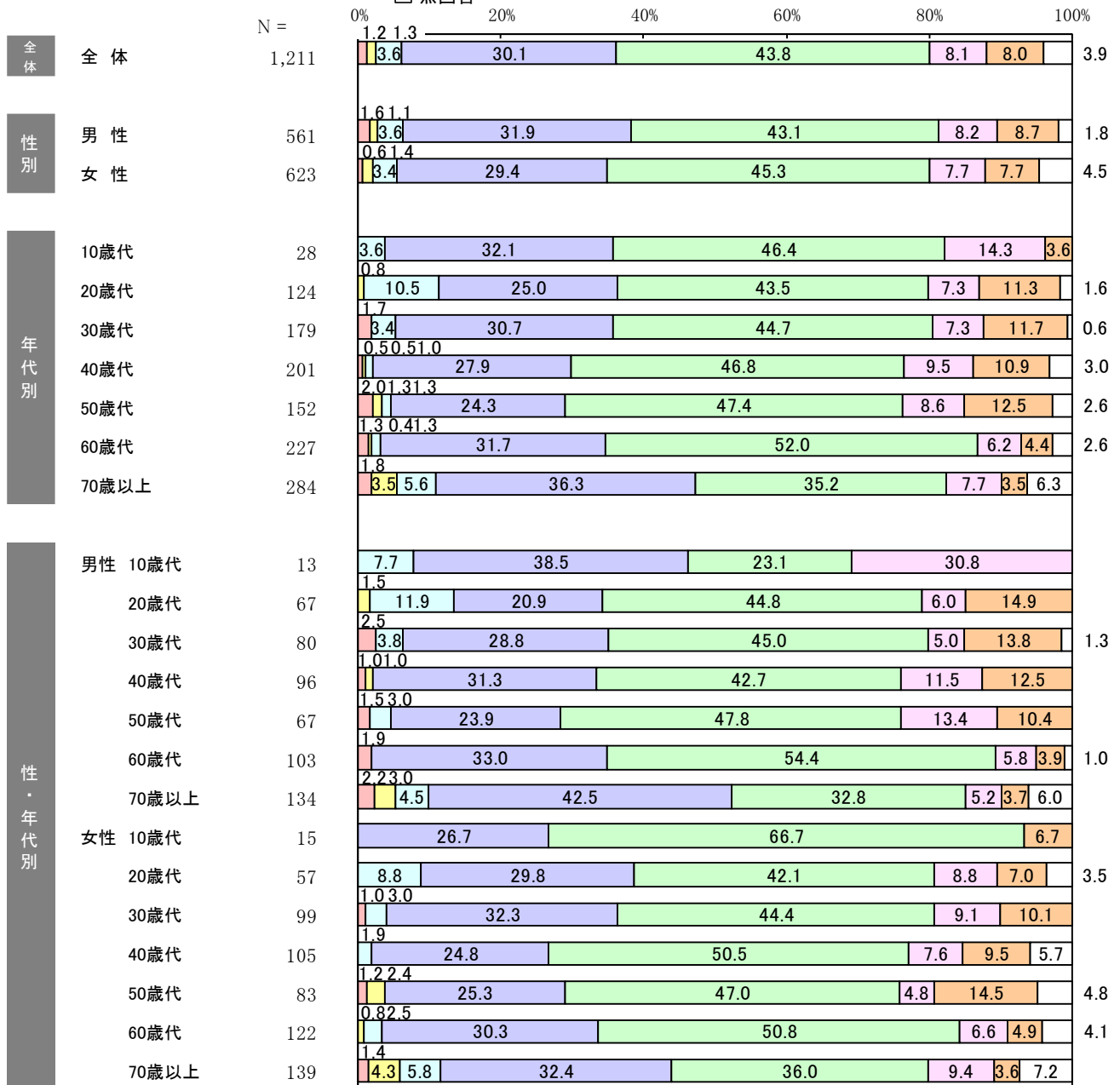
区分		調査数	ある 暴力を受けたことが	身近に暴力を受けた 人がいる	暴力を受けた人から 相談されたことがある	身近にはいないが、 そうした話を聞いた ことがある	テレビや新聞などで 話題になっていること を知っている	経験したり見聞きした ことはない	その他	無回答
居住地区別	三川	36	1	-	-	5	27	5	-	-
		100.0	2.8	-	-	13.9	75.0	13.9	-	-
	山名	164	5	8	2	31	102	27	4	3
		100.0	3.0	4.9	1.2	18.9	62.2	16.5	2.4	1.8
	今井	46	1	1	1	7	36	7	-	-
		100.0	2.2	2.2	2.2	15.2	78.3	15.2	-	-
	袋井北	191	1	8	5	46	115	37	1	1
		100.0	0.5	4.2	2.6	24.1	60.2	19.4	0.5	0.5
	袋井西	117	2	1	1	21	74	26	2	1
		100.0	1.7	0.9	0.9	17.9	63.2	22.2	1.7	0.9
	袋井東	102	1	4	1	27	57	21	-	2
		100.0	1.0	3.9	1.0	26.5	55.9	20.6	-	2.0
	袋井南	123	1	2	2	26	82	21	1	3
		100.0	0.8	1.6	1.6	21.1	66.7	17.1	0.8	2.4
高南・豊沢	108	-	3	1	11	69	29	1	1	
	100.0	-	2.8	0.9	10.2	63.9	26.9	0.9	0.9	
笠原	34	-	-	-	7	24	5	-	2	
	100.0	-	-	-	20.6	70.6	14.7	-	5.9	
浅羽北	87	1	1	1	16	60	17	1	-	
	100.0	1.1	1.1	1.1	18.4	69.0	19.5	1.1	-	
浅羽東	59	2	4	2	11	33	13	-	-	
	100.0	3.4	6.8	3.4	18.6	55.9	22.0	-	-	
浅羽西	40	1	1	-	8	28	7	-	1	
	100.0	2.5	2.5	-	20.0	70.0	17.5	-	2.5	
浅羽南	58	1	5	2	14	38	8	-	3	
	100.0	1.7	8.6	3.4	24.1	65.5	13.8	-	5.2	
家族構成別	单身	77	-	5	1	16	46	18	1	1
		100.0	-	6.5	1.3	20.8	59.7	23.4	1.3	1.3
	夫婦だけ	242	3	8	5	58	163	41	3	-
		100.0	1.2	3.3	2.1	24.0	67.4	16.9	1.2	-
	2世帯	491	10	15	8	79	305	98	5	8
		100.0	2.0	3.1	1.6	16.1	62.1	20.0	1.0	1.6
3世帯	189	3	5	2	41	132	34	-	2	
	100.0	1.6	2.6	1.1	21.7	69.8	18.0	-	1.1	
その他	60	-	1	1	13	39	11	-	2	
	100.0	-	1.7	1.7	21.7	65.0	18.3	-	3.3	

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

問9 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。

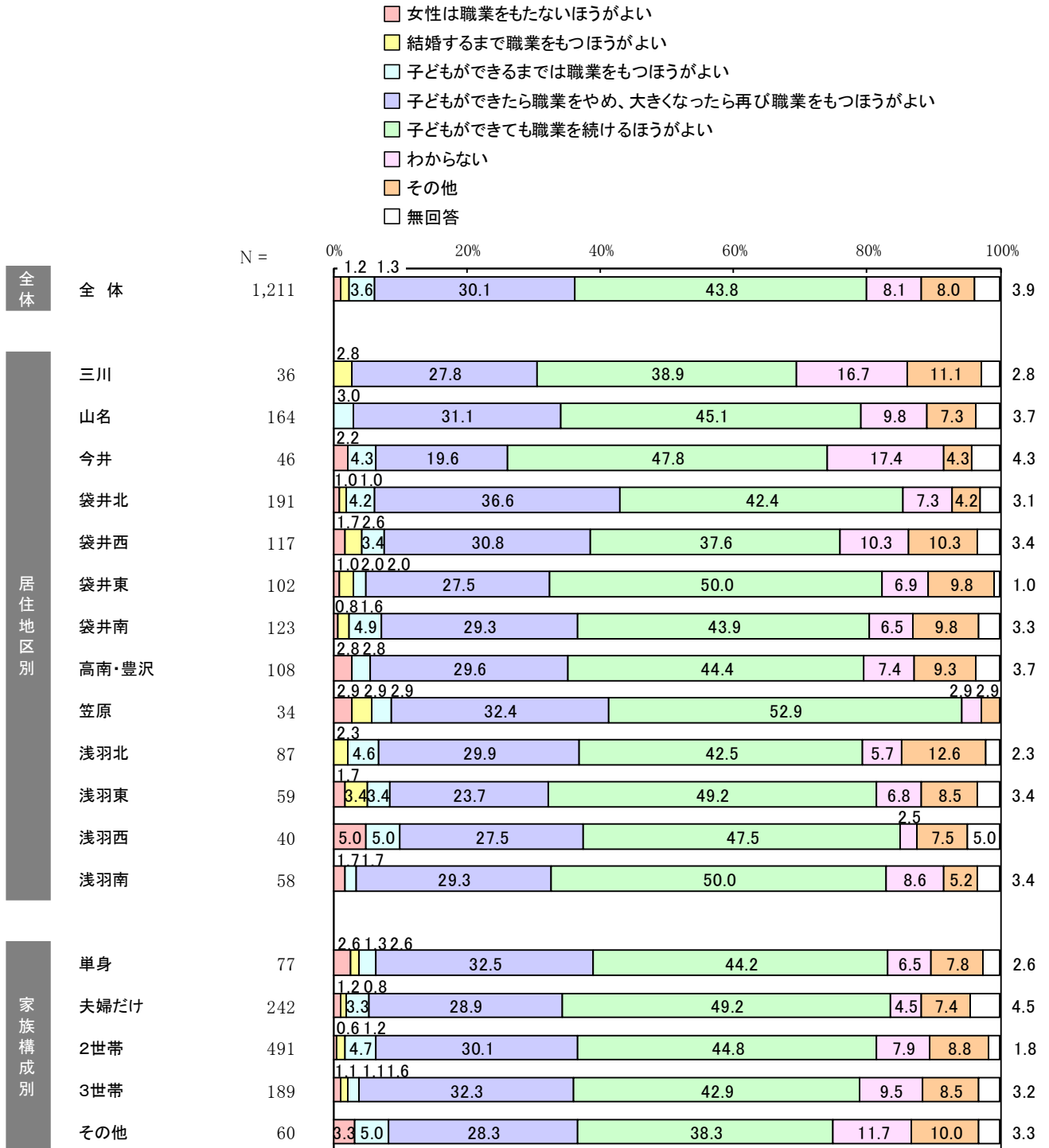
- 女性が職業をもつことへの考えについては、「子どもができても職業を続けるほうがよい」の割合が43.8%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が30.1%となっています。
- 年代別で見ると、70歳以上で「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、60歳代で「子どもができても職業を続けるほうがよい」の割合が高く、約5割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上で「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が高く、約4割となっています。また、女性の10歳代で「子どもができても職業を続けるほうがよい」の割合が高く、6割半ばとなっています。さらに、男性の10歳代で「わからない」の割合が高く、約3割となっています。

- 女性は職業をもたないほうがよい
- 結婚するまで職業をもつほうがよい
- 子どもができるまでは職業をもつほうがよい
- 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい
- 子どもができても職業を続けるほうがよい
- わからない
- その他
- 無回答



■居住地区別でみると、他の地区に比べ、山名、袋井北、袋井西、笠原で「子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が高く、3割を超えています。また、袋井東、笠原、浅羽南で「子どもができても職業を続けるほうがよい」の割合が高く、5割を超えています。

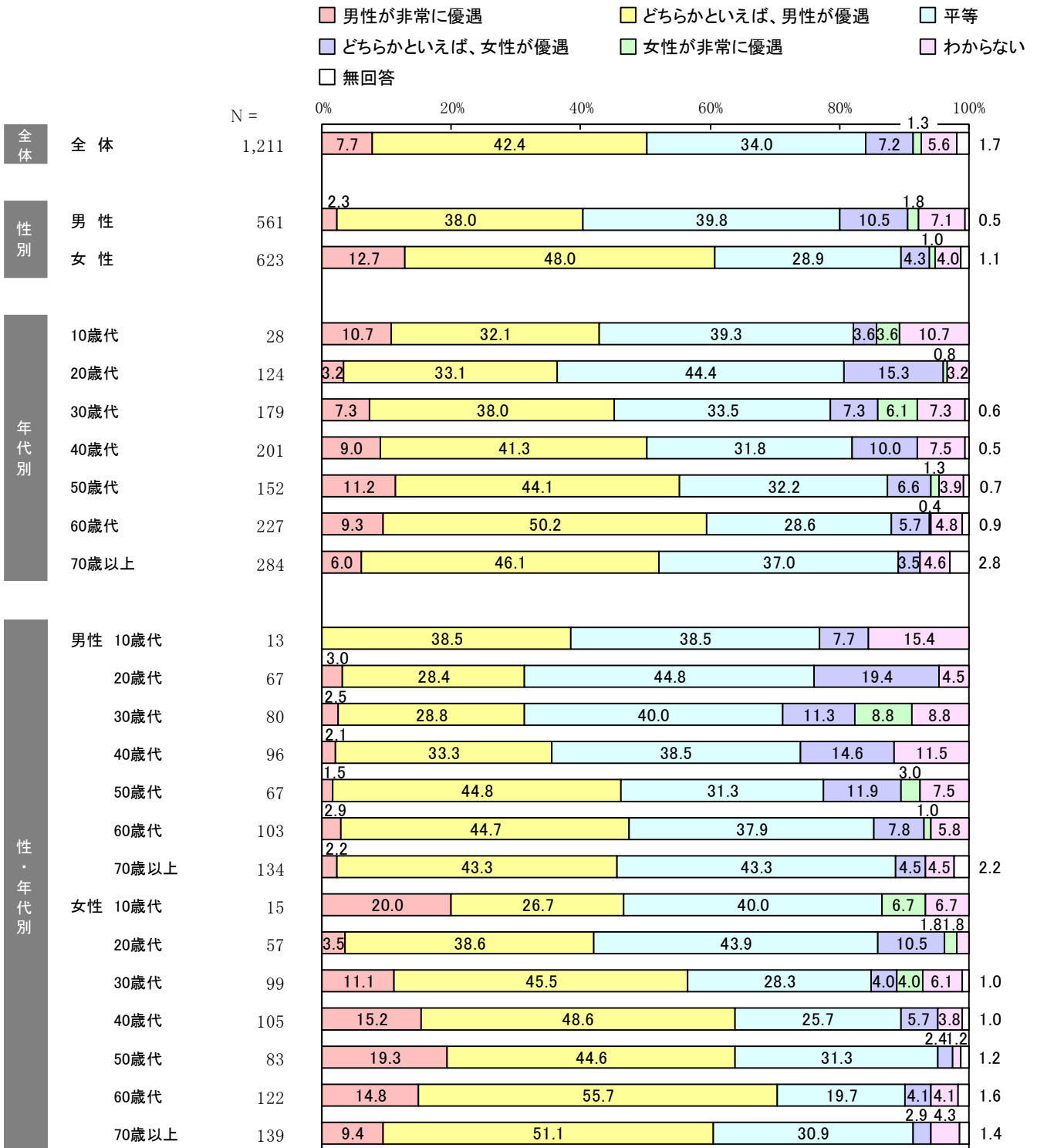
■家族構成別でみると、夫婦だけで「子どもができても職業を続けるほうがよい」の割合が高く、約5割となっています。



問 10 あなたは、次にあげる分野で、男女が平等であると思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(それぞれ1つ選択)

①家庭生活で

- 男女が平等だと思うかについては、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「平等」の割合が 34.0%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」「どちらかといえば、女性が優遇」の割合が高く、それぞれ約 4割、約 1割となっています。また、男性に比べ女性で「男性が非常に優遇」「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、それぞれ約 1割、約 5割となっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約 5割となっています。また、20歳代で「平等」の割合が高く 4割半ばとなっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の 60歳代と女性の 60歳代の「平等」の割合の差が大きくなっています。

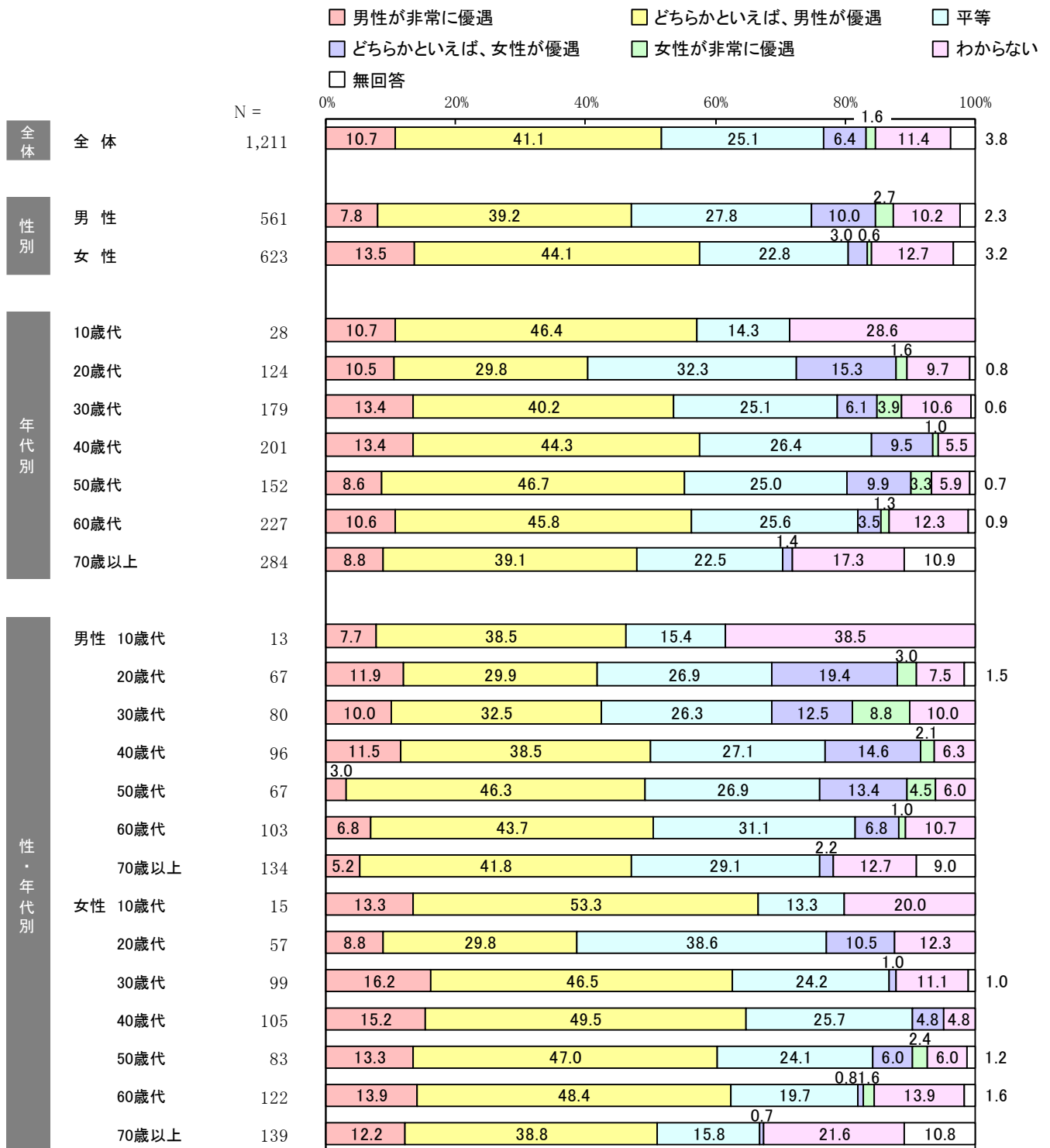


- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、三川、浅羽西で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、5割を超えています。また、今井、浅羽北で「平等」の割合が高く、約4割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、3世帯で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約5割となっています。



②職場で

- 男女が平等だと思うかについては、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が41.1%と最も高く、次いで「平等」の割合が25.1%、「わからない」の割合が11.4%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」「どちらかといえば、女性が優遇」の割合が高く、それぞれ約3割、1割となっています。また、男性に比べ女性で「男性が非常に優遇」の割合が高く、約1割となっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「平等」の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代、40歳代から60歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く4割半ばとなっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、女性の10歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、5割を超えています。また、男性の60歳代、女性の20歳代で「平等」の割合が高く、3割を超えています。

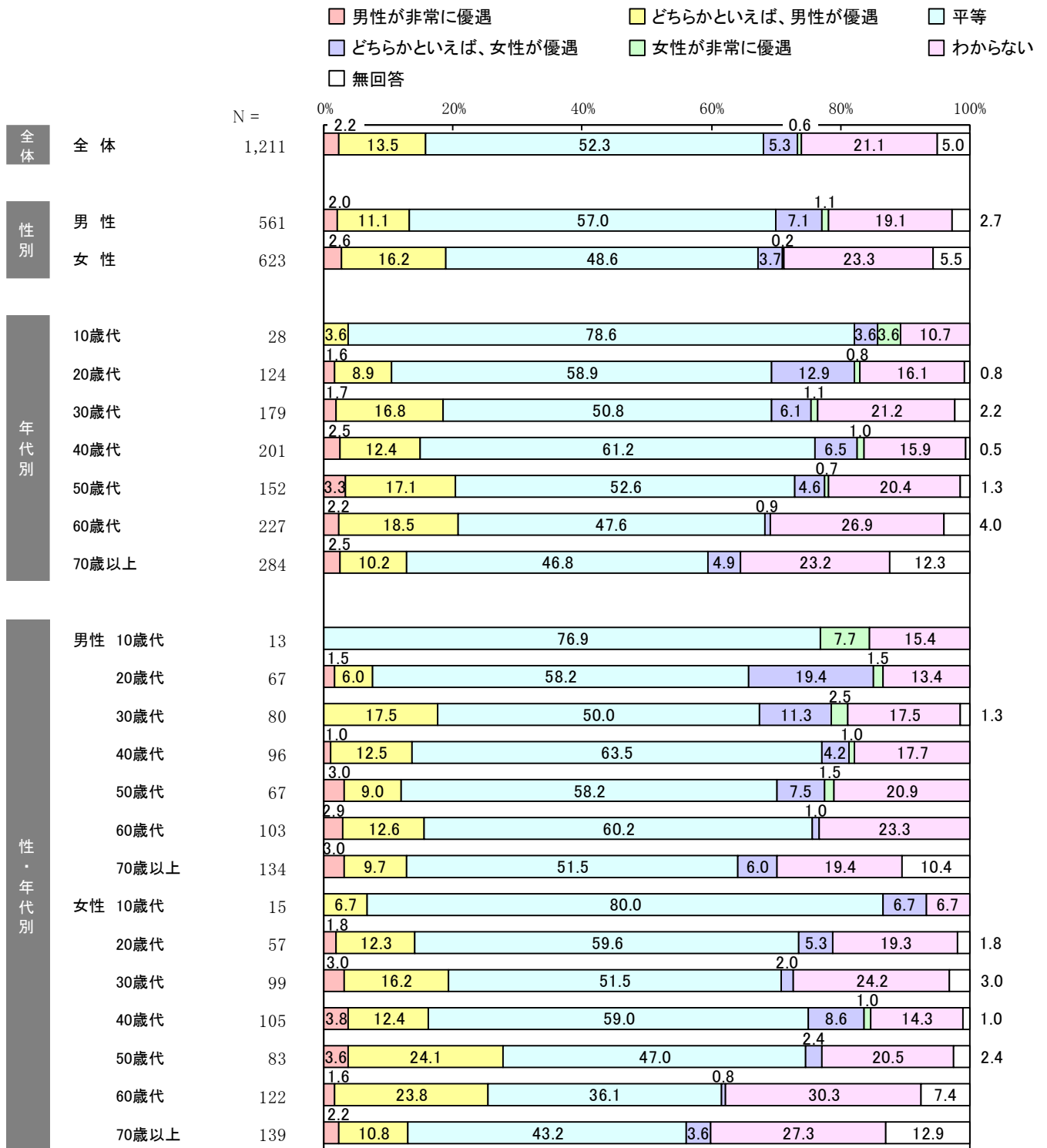


- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、高南・豊沢で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約5割となっています。また、袋井西、笠原、浅羽西で「平等」の割合が高く、3割を超えています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、2世帯で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が低く、4割を下回っています。



③学校教育の場で

- 男女が平等だと思うかについては、「平等」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.1%、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が 13.5%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、男性に比べ女性で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、1割半ばとなっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「平等」の割合が高く、約8割となっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、女性の10歳代で「平等」の割合が高く、8割となっています。また、女性の60歳代で「わからない」の割合が高く、約3割となっています。



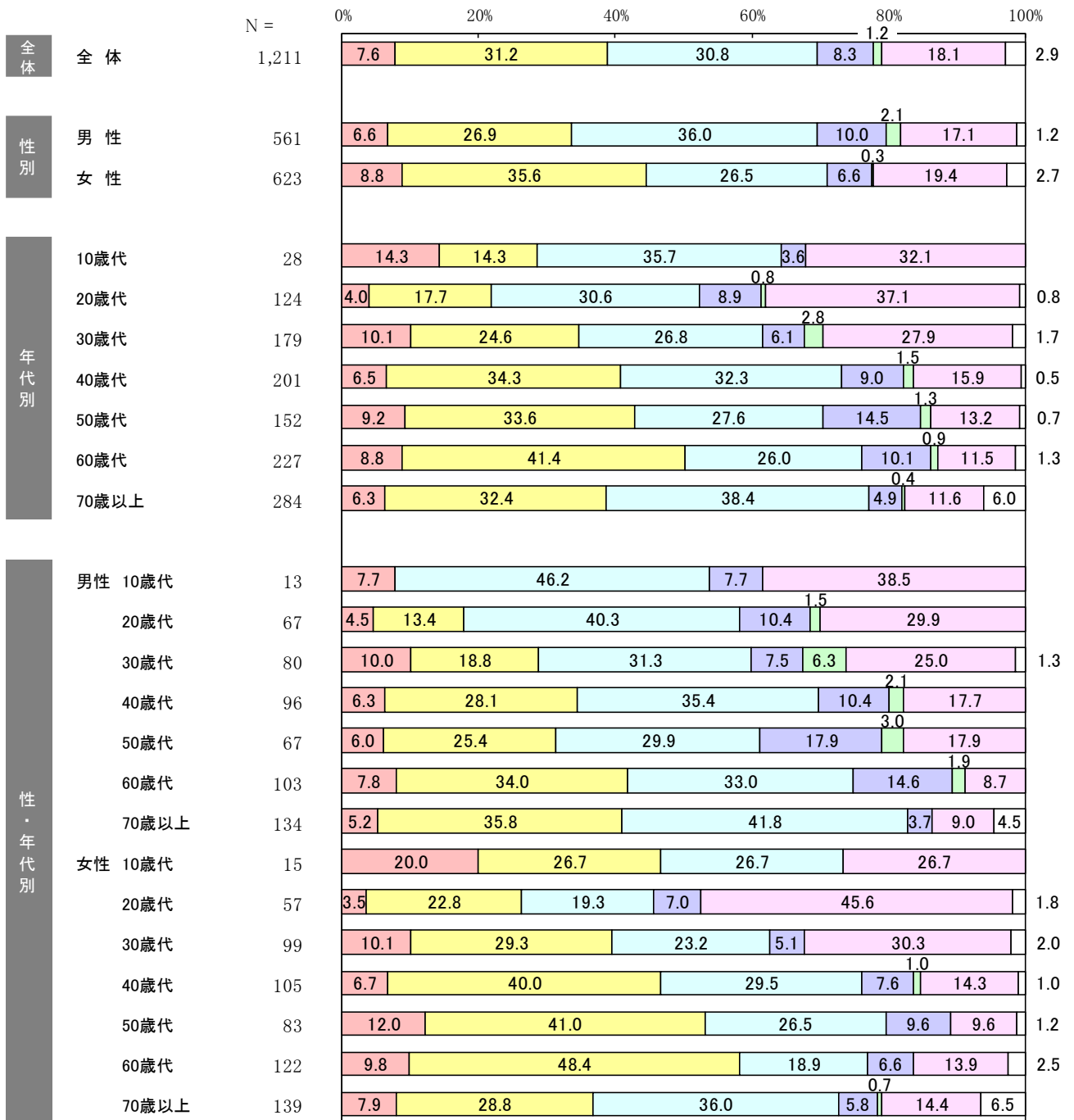
- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、浅羽北で「平等」の割合が高く、6割半ばとなっています。また、今井で「わからない」の割合が高く、約3割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、3世帯で「平等」の割合が高く、約6割となっています。



④地域で（自治会・PTA等）

- 男女が平等だと思うかについては、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が31.2%と最も高く、次いで「平等」の割合が30.8%、「わからない」の割合が18.1%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、男性に比べ女性で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、3割半ばとなっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、70歳以上で「平等」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、年齢が低くなるにつれて「わからない」の割合が高くなる傾向がみられます。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の10歳代、20歳代、70歳以上で「平等」の割合が高く、4割を超えています。また、女性の20歳代で「わからない」の割合が高く、4割半ばとなっています。

■ 男性が非常に優遇 ■ どちらかといえば、男性が優遇 ■ 平等
■ どちらかといえば、女性が優遇 ■ 女性が非常に優遇 ■ わからない
■ 無回答

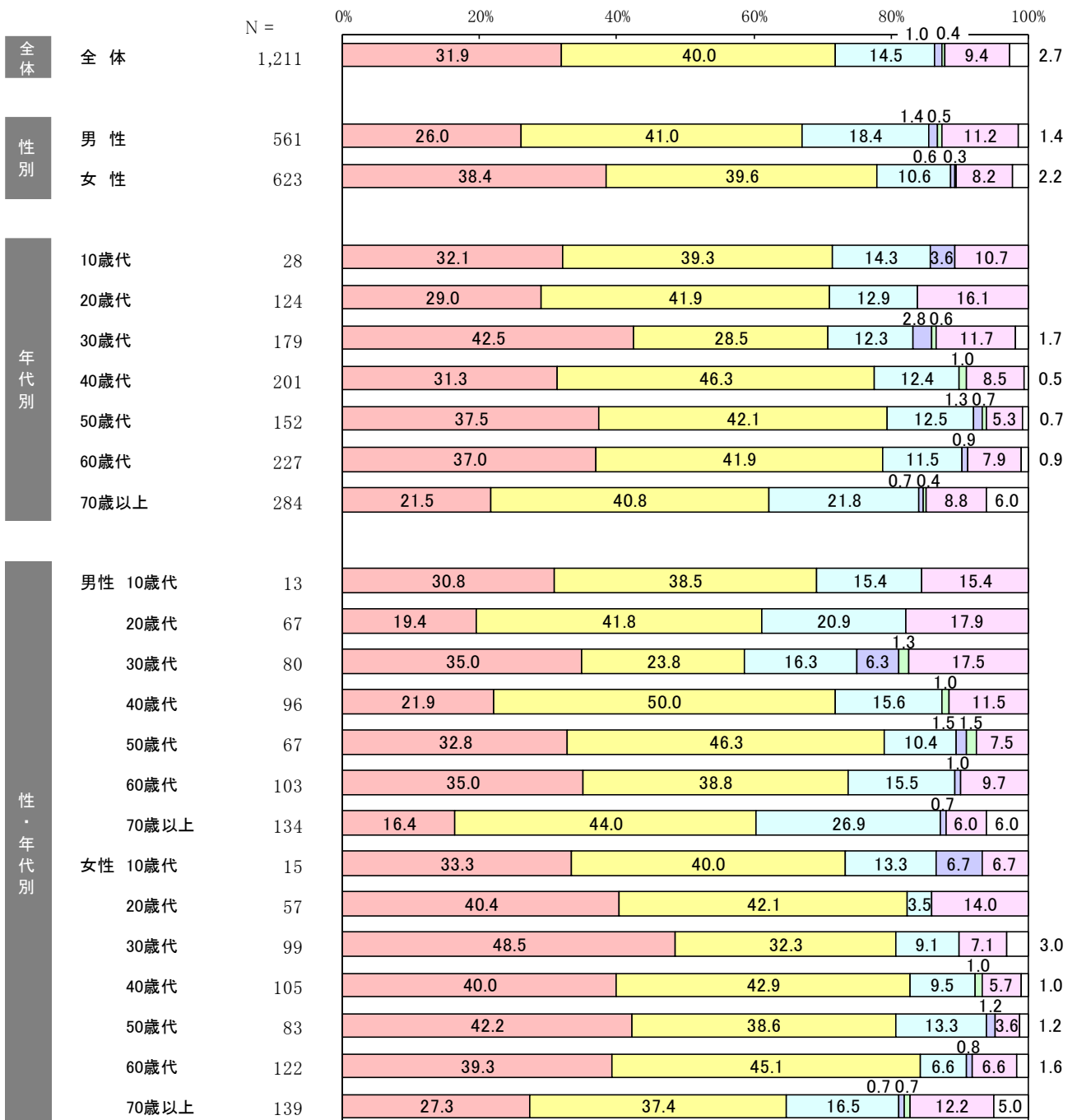
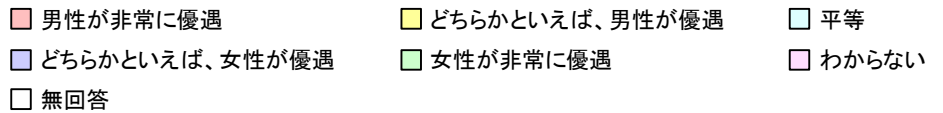


- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、笠原で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、5割となっています。また、浅羽西で「平等」の割合が高く、4割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、単身で「わからない」の割合が高く、2割半ばとなっています。

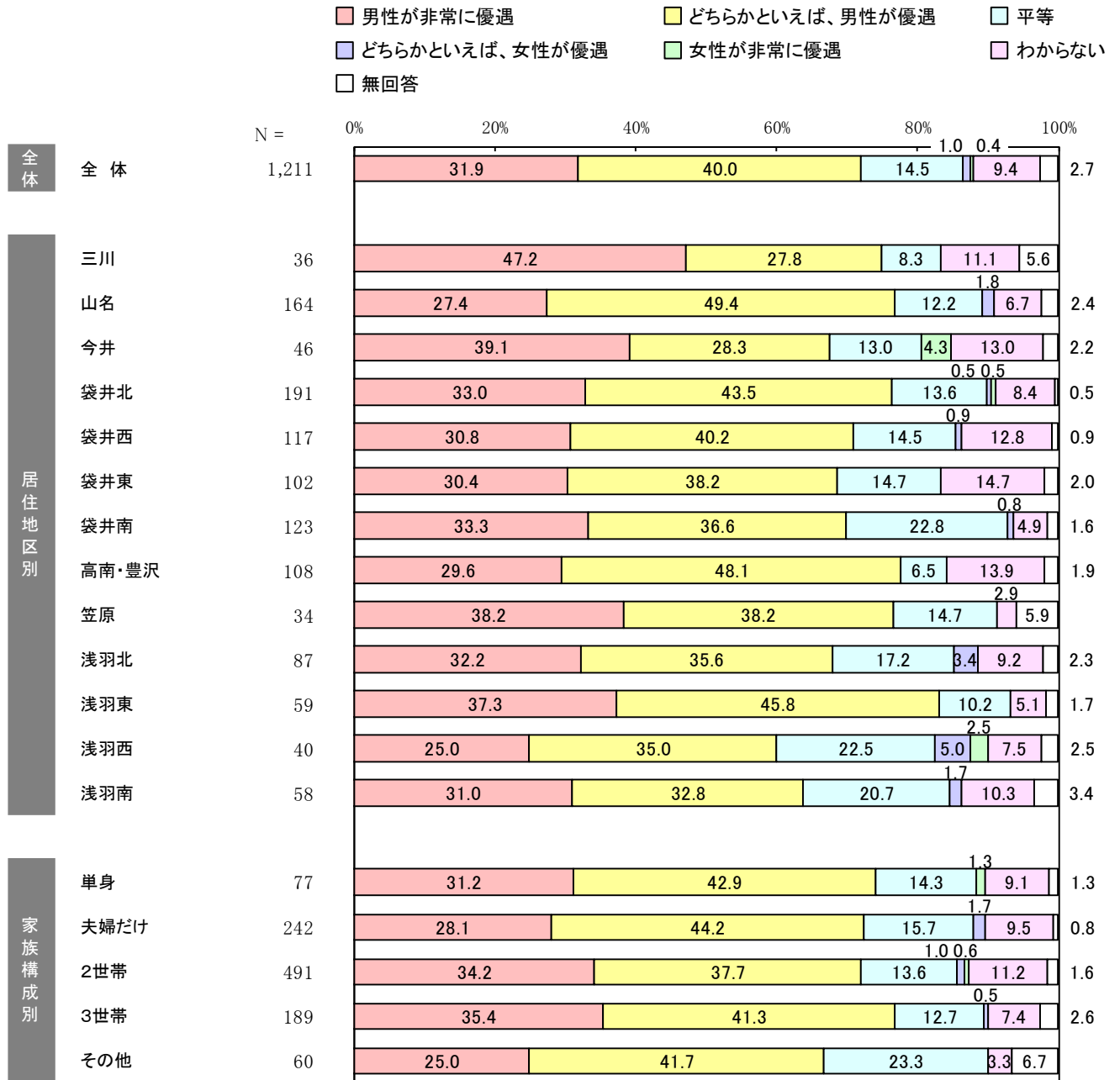


⑤政治の場で

- 男女が平等だと思うかについては、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が40.0%と最も高く、次いで「男性が非常に優遇」の割合が31.9%、「平等」の割合が14.5%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ女性で「男性が非常に優遇」の割合が高く、約4割となっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が低く、約3割となっています。また、30歳代で「男性が非常に優遇」の割合が高く約4割となっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の40歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、5割となっています。また、男女ともに、70歳以上の「平等」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

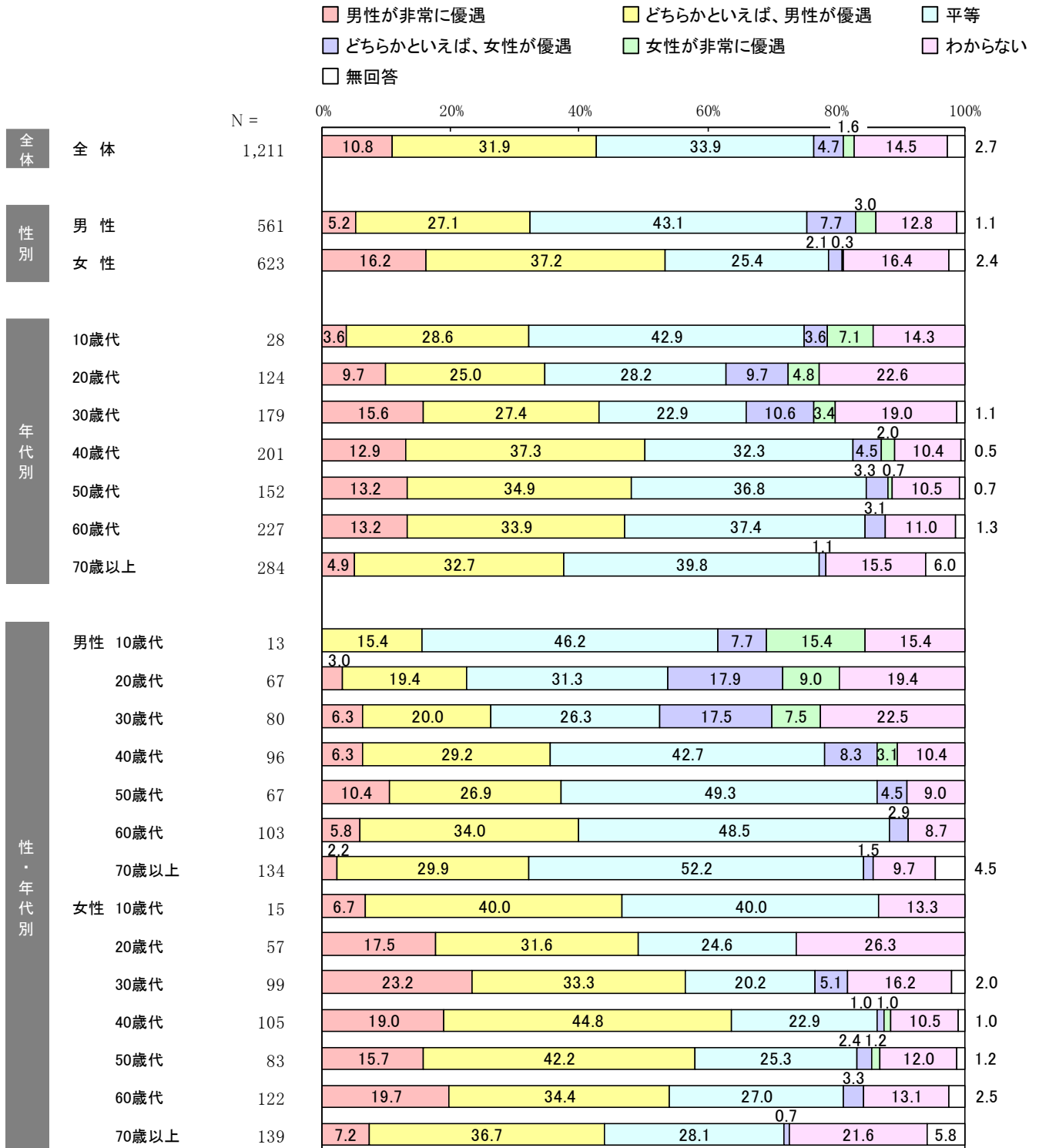


- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、三川で「男性が非常に優遇」の割合が高く、約5割となっています。また、三川、高南・豊沢で「平等」の割合が1割を下回っています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、2世帯、3世帯で「男性が非常に優遇」の割合が高く、3割半ばとなっています。



⑥法律や制度の上で

- 男女が平等だと思うかについては、「平等」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が 31.9%、「わからない」の割合が 14.5%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ男性で「平等」「どちらかといえば、女性が優遇」の割合が高く、それぞれ約 4 割、約 1 割となっています。また、男性に比べ女性で「男性が非常に優遇」「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、それぞれ 1 割半ば、約 4 割となっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、10 歳代で「平等」の割合が高く、約 4 割となっています。また、40 歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く約 4 割となっています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の 70 歳以上で「平等」の割合が高く、約 5 割となっています。



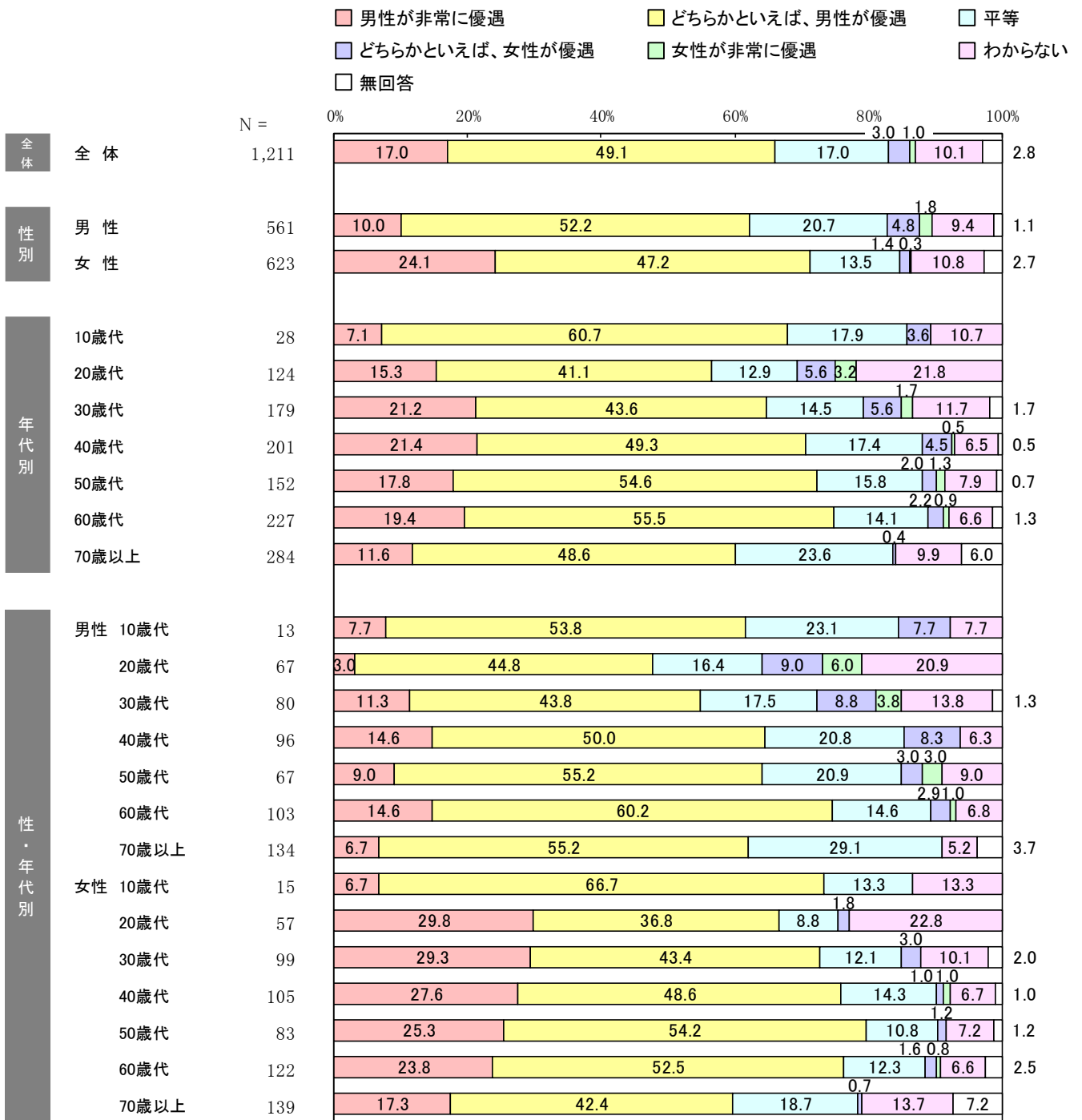
■居住地区別でみると、他の地区に比べ、浅羽西で「平等」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、高南・豊沢、笠原で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約4割となっています。

■家族構成別でみると、他に比べ、夫婦だけで「平等」の割合が高く、約4割となっています。



⑦社会通念・慣習しきたり等で

- 男女が平等だと思うかについては、「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が49.1%と最も高く、次いで「男性が非常に優遇」、「平等」の割合がともに17.0%となっています。
- 性別で見ると、女性に比べ男性で「どちらかといえば、男性が優遇」「平等」の割合が高く、それぞれ約5割、約2割となっています。また、男性に比べ女性で「男性が非常に優遇」の割合が高く、2割半ばとなっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約6割となっています。また、30歳代、40歳代で「男性が非常に優遇」の割合が高く約2割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の60歳代、女性の10歳代で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、6割を超えています。また、男性の70歳以上で「平等」の割合が高く、約3割となっています。

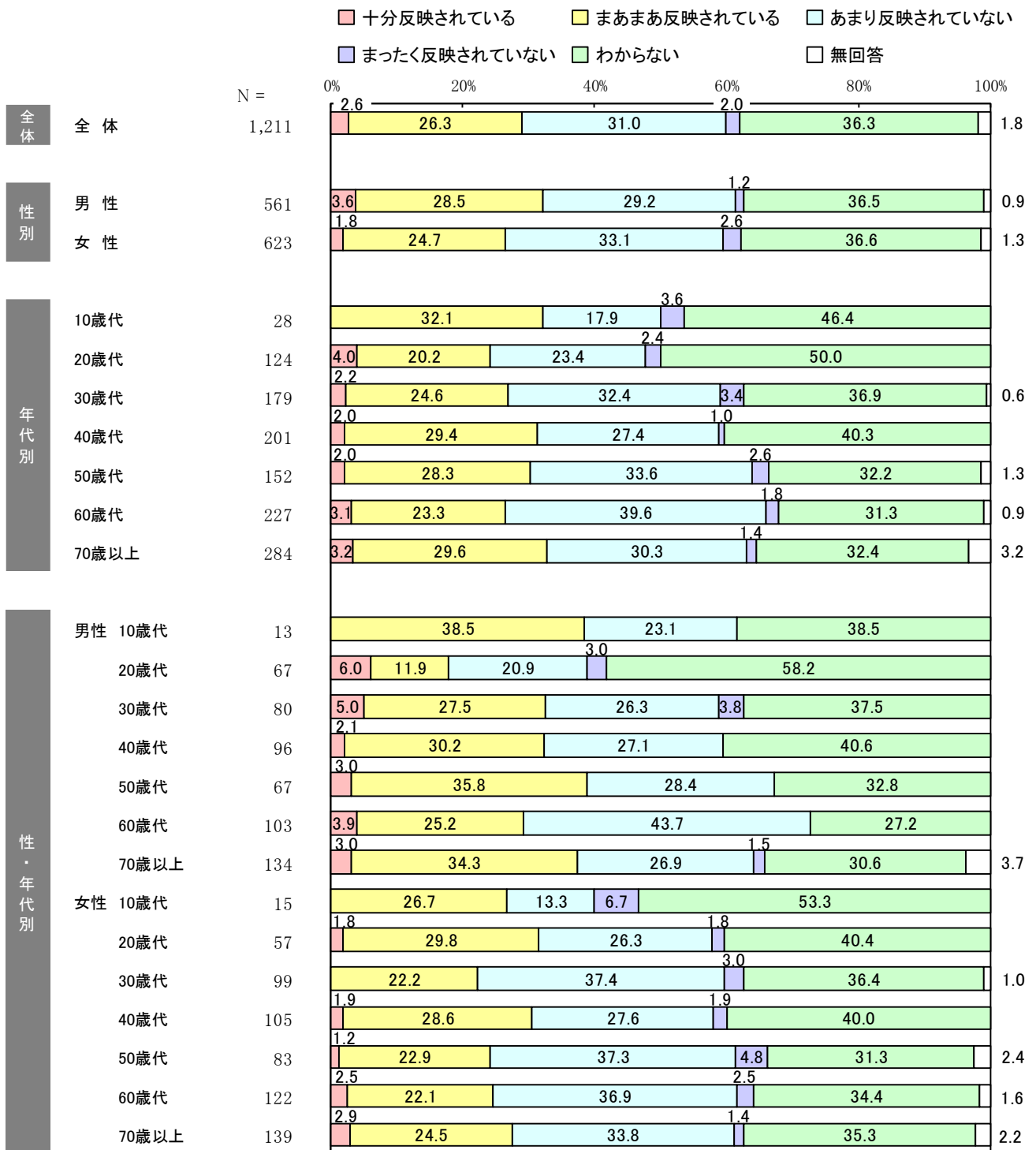


- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、三川、浅羽東で「男性が非常に優遇」の割合が高く、2割を超えています。また、笠原で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が高く、約6割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、2世帯で「どちらかといえば、男性が優遇」の割合が低く、5割を下回っています。



問 11 あなたは、市政に女性の意見が反映されていると思いますか。

- 市政に女性の意見が反映されているかについては、「わからない」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「あまり反映されていない」の割合が 31.0%、「まあまあ反映されている」の割合が 26.3%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で「まあまあ反映されている」の割合が高く、約3割となっています。また、60歳代で「あまり反映されていない」の割合が高く、約4割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の10歳代で「まあまあ反映されている」の割合が高く、約4割となっています。また、男性の60歳代で「あまり反映されていない」の割合が高く、約4割となっています。

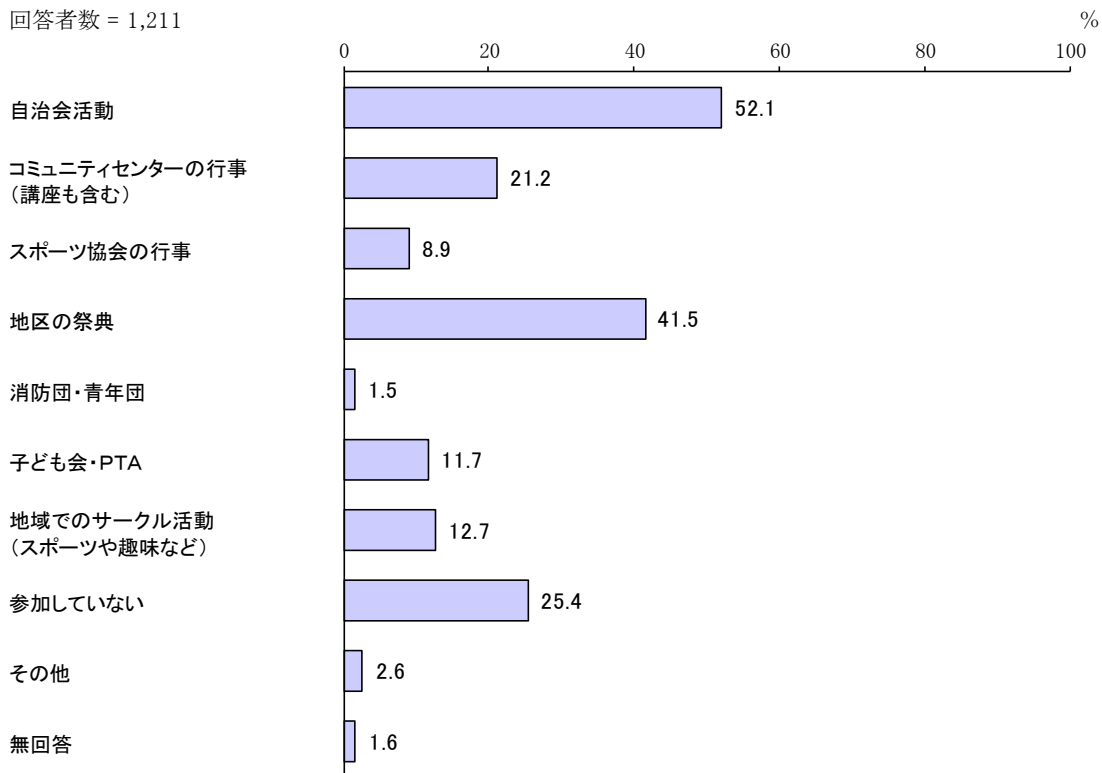


- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、浅羽西で「あまり反映されていない」の割合が高く、4割となっています。また、浅羽北、浅羽東で「まあまあ反映されている」の割合が高く、3割半ばとなっています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、夫婦だけ、2世帯で「あまり反映されていない」の割合が高く、3割を超えています。



問 12 あなたは、過去1年間に、どのような地域活動に参加しましたか。
(あてはまるもの全て選択)

■地域活動への参加状況については、「自治会活動」の割合が52.1%と最も高く、次いで「地区の祭典」の割合が41.5%、「参加していない」の割合が25.4%となっています。



【性別】

■性別でみると、女性に比べ男性で「自治会活動」「地区の祭典」の割合が高く、それぞれ約6割、4割半ばとなっています。また、男性に比べ女性で、「コミュニティセンターの行事(講座も含む)」「子ども会・PTA」の割合が高く、それぞれ2割半ば、1割半ばとなっています。

上段：件数 下段：割合 (%)

区分		調査数	自治会活動	コミュニティセンターの行事(講座も含む)	スポーツ協会の行事	地区の祭典	消防団・青年団	子ども会・PTA	地域でのサークル活動(スポーツや趣味など)	参加していない	その他	無回答
性別	男性	561	334	92	61	261	18	43	60	133	16	7
		100.0	59.5	16.4	10.9	46.5	3.2	7.7	10.7	23.7	2.9	1.2
女性	女性	623	288	162	47	238	-	97	92	167	13	4
		100.0	46.2	26.0	7.5	38.2	-	15.6	14.8	26.8	2.1	0.6

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【年代別、性・年代別】

- 年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で「自治会活動」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、10歳代、20歳代で「参加していない」の割合が高く、5割を超えています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代、60歳代で「自治会活動」の割合が高く、約8割となっています。また、女性の10歳代、20歳代で「参加していない」の割合が高く6割を超えています。

上段：件数 下段：割合（%）

区分		調査数	自治会活動	コミュニティセンターの行事（講座も含む）	スポーツ協会の行事	地区の祭典	消防団・青年団	子ども会・PTA	地域でのサークル活動（スポーツや趣味など）	参加していない	その他	無回答
年代別	10歳代	28	8	-	3	10	1	1	2	14	-	-
		100.0	28.6	-	10.7	35.7	3.6	3.6	7.1	50.0	-	-
	20歳代	124	21	7	4	37	4	8	3	72	2	-
		100.0	16.9	5.6	3.2	29.8	3.2	6.5	2.4	58.1	1.6	-
	30歳代	179	73	39	16	79	7	36	11	49	3	1
		100.0	40.8	21.8	8.9	44.1	3.9	20.1	6.1	27.4	1.7	0.6
	40歳代	201	132	35	37	105	3	72	15	41	-	-
	100.0	65.7	17.4	18.4	52.2	1.5	35.8	7.5	20.4	-	-	
年代別	50歳代	152	113	28	12	63	-	13	10	21	3	2
		100.0	74.3	18.4	7.9	41.4	-	8.6	6.6	13.8	2.0	1.3
	60歳代	227	151	66	17	111	1	5	31	38	7	1
		100.0	66.5	29.1	7.5	48.9	0.4	2.2	13.7	16.7	3.1	0.4
	70歳以上	284	130	81	19	95	2	7	81	68	16	7
		100.0	45.8	28.5	6.7	33.5	0.7	2.5	28.5	23.9	5.6	2.5
	性年代別	男性 10歳代	13	4	-	2	7	1	1	1	5	-
		100.0	30.8	-	15.4	53.8	7.7	7.7	7.7	38.5	-	-
20歳代		67	14	4	2	24	4	4	2	34	2	-
		100.0	20.9	6.0	3.0	35.8	6.0	6.0	3.0	50.7	3.0	-
30歳代		80	41	11	7	34	7	7	5	21	2	-
		100.0	51.3	13.8	8.8	42.5	8.8	8.8	6.3	26.3	2.5	-
40歳代		96	65	10	23	52	3	19	8	21	-	-
		100.0	67.7	10.4	24.0	54.2	3.1	19.8	8.3	21.9	-	-
50歳代		67	54	9	6	32	-	5	6	7	1	1
		100.0	80.6	13.4	9.0	47.8	-	7.5	9.0	10.4	1.5	1.5
60歳代		103	83	30	12	60	1	3	9	14	2	-
		100.0	80.6	29.1	11.7	58.3	1.0	2.9	8.7	13.6	1.9	-
70歳以上		134	72	28	9	51	2	4	29	31	9	6
		100.0	53.7	20.9	6.7	38.1	1.5	3.0	21.6	23.1	6.7	4.5
女性 10歳代		15	4	-	1	3	-	-	1	9	-	-
		100.0	26.7	-	6.7	20.0	-	-	6.7	60.0	-	-
20歳代		57	7	3	2	13	-	4	1	38	-	-
	100.0	12.3	5.3	3.5	22.8	-	7.0	1.8	66.7	-	-	
30歳代	99	32	28	9	45	-	29	6	28	1	1	
	100.0	32.3	28.3	9.1	45.5	-	29.3	6.1	28.3	1.0	1.0	
40歳代	105	67	25	14	53	-	53	7	20	-	-	
	100.0	63.8	23.8	13.3	50.5	-	50.5	6.7	19.0	-	-	
50歳代	83	57	19	6	30	-	8	4	14	1	1	
	100.0	68.7	22.9	7.2	36.1	-	9.6	4.8	16.9	1.2	1.2	
60歳代	122	67	35	5	50	-	2	22	24	5	1	
	100.0	54.9	28.7	4.1	41.0	-	1.6	18.0	19.7	4.1	0.8	
70歳以上	139	53	51	10	43	-	1	50	33	6	1	
	100.0	38.1	36.7	7.2	30.9	-	0.7	36.0	23.7	4.3	0.7	

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

【居住地区別、家族構成別】

- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、今井、浅羽南で「自治会活動」の割合が高く、約6割と
なっています。また、笠原、浅羽南で「地区の祭典」の割合が高く、5割を超えています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、単身で「参加していない」の割合が高く、約4割となっています。

上段：件数 下段：割合（％）

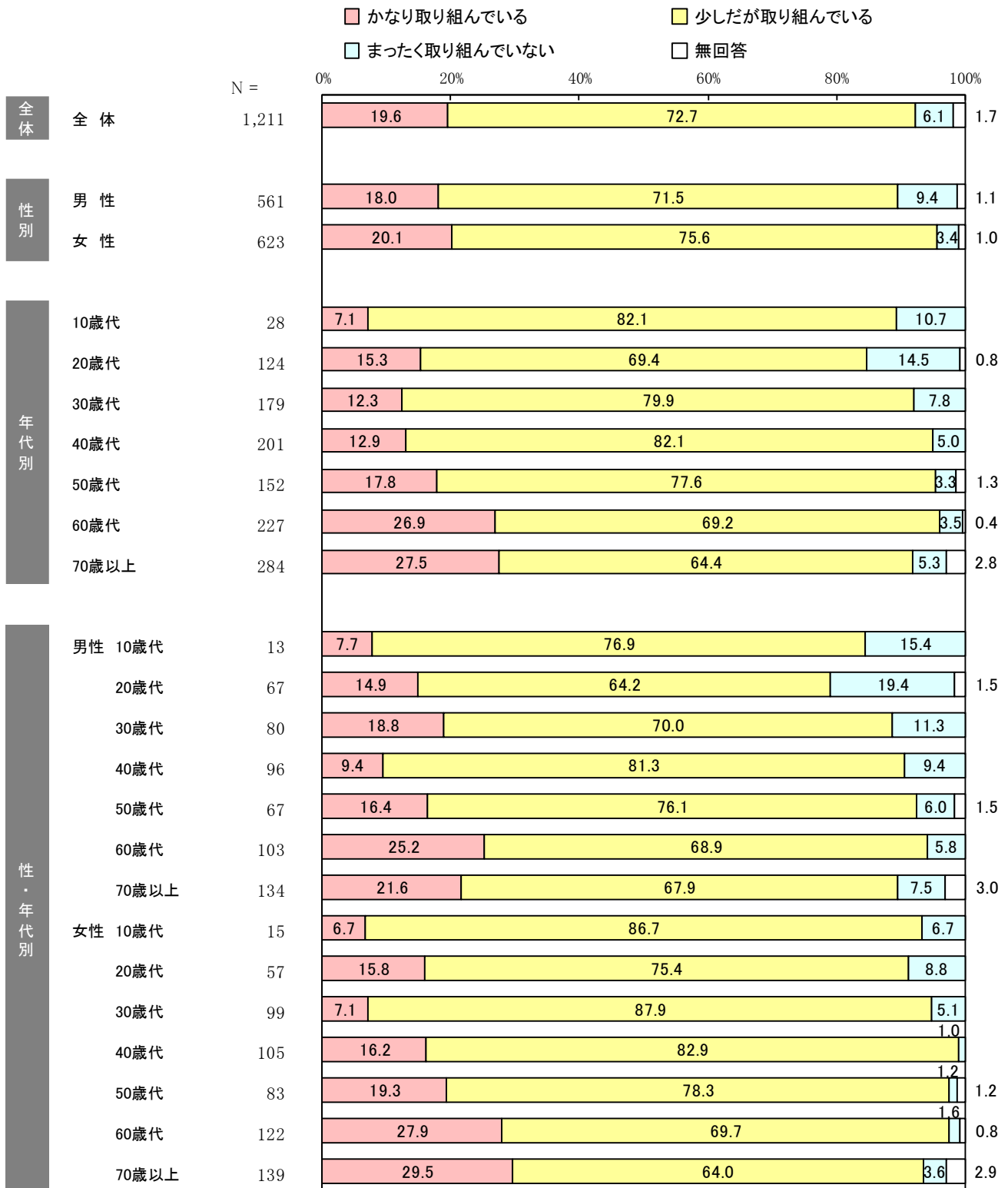
区分		調査数	自治会活動	コミュニティセンター の行事（講座も含む）	スポーツ協会の行事	地区の祭典	消防団・青年団	子ども会・PTA	地域でのサークル活動 （スポーツや趣味など）	参加していない	その他	無回答
居住地区別	三川	36	20	8	3	14	-	3	4	10	-	1
		100.0	55.6	22.2	8.3	38.9	-	8.3	11.1	27.8	-	2.8
	山名	164	97	39	19	56	6	21	23	34	4	2
		100.0	59.1	23.8	11.6	34.1	3.7	12.8	14.0	20.7	2.4	1.2
	今井	46	28	10	5	17	1	3	3	13	1	1
		100.0	60.9	21.7	10.9	37.0	2.2	6.5	6.5	28.3	2.2	2.2
	袋井北	191	105	39	18	91	3	25	29	44	2	1
		100.0	55.0	20.4	9.4	47.6	1.6	13.1	15.2	23.0	1.0	0.5
	袋井西	117	66	19	6	42	3	12	14	27	7	1
		100.0	56.4	16.2	5.1	35.9	2.6	10.3	12.0	23.1	6.0	0.9
	袋井東	102	43	21	9	45	1	7	12	36	4	1
		100.0	42.2	20.6	8.8	44.1	1.0	6.9	11.8	35.3	3.9	1.0
	袋井南	123	62	21	15	48	-	17	16	39	1	-
		100.0	50.4	17.1	12.2	39.0	-	13.8	13.0	31.7	0.8	-
	高南・豊沢	108	64	28	8	52	2	17	20	24	4	1
100.0		59.3	25.9	7.4	48.1	1.9	15.7	18.5	22.2	3.7	0.9	
笠原	34	20	10	3	20	-	3	3	6	-	-	
	100.0	58.8	29.4	8.8	58.8	-	8.8	8.8	17.6	-	-	
浅羽北	87	35	15	9	34	-	14	12	27	2	1	
	100.0	40.2	17.2	10.3	39.1	-	16.1	13.8	31.0	2.3	1.1	
浅羽東	59	26	12	6	26	-	11	1	14	3	1	
	100.0	44.1	20.3	10.2	44.1	-	18.6	1.7	23.7	5.1	1.7	
浅羽西	40	22	11	1	18	-	2	6	8	-	1	
	100.0	55.0	27.5	2.5	45.0	-	5.0	15.0	20.0	-	2.5	
浅羽南	58	36	19	5	31	2	7	9	8	1	-	
	100.0	62.1	32.8	8.6	53.4	3.4	12.1	15.5	13.8	1.7	-	
家族構成別	単身	77	34	7	6	18	2	4	6	29	3	1
		100.0	44.2	9.1	7.8	23.4	2.6	5.2	7.8	37.7	3.9	1.3
	夫婦だけ	242	123	55	9	83	-	4	39	72	4	1
		100.0	50.8	22.7	3.7	34.3	-	1.7	16.1	29.8	1.7	0.4
	2世帯	491	280	98	51	216	9	84	56	114	9	4
		100.0	57.0	20.0	10.4	44.0	1.8	17.1	11.4	23.2	1.8	0.8
3世帯	189	106	59	19	102	4	32	22	41	3	1	
	100.0	56.1	31.2	10.1	54.0	2.1	16.9	11.6	21.7	1.6	0.5	
その他	60	21	8	4	23	-	6	3	18	4	2	
	100.0	35.0	13.3	6.7	38.3	-	10.0	5.0	30.0	6.7	3.3	

1位：オレンジ、2位：黄色、3位：水色

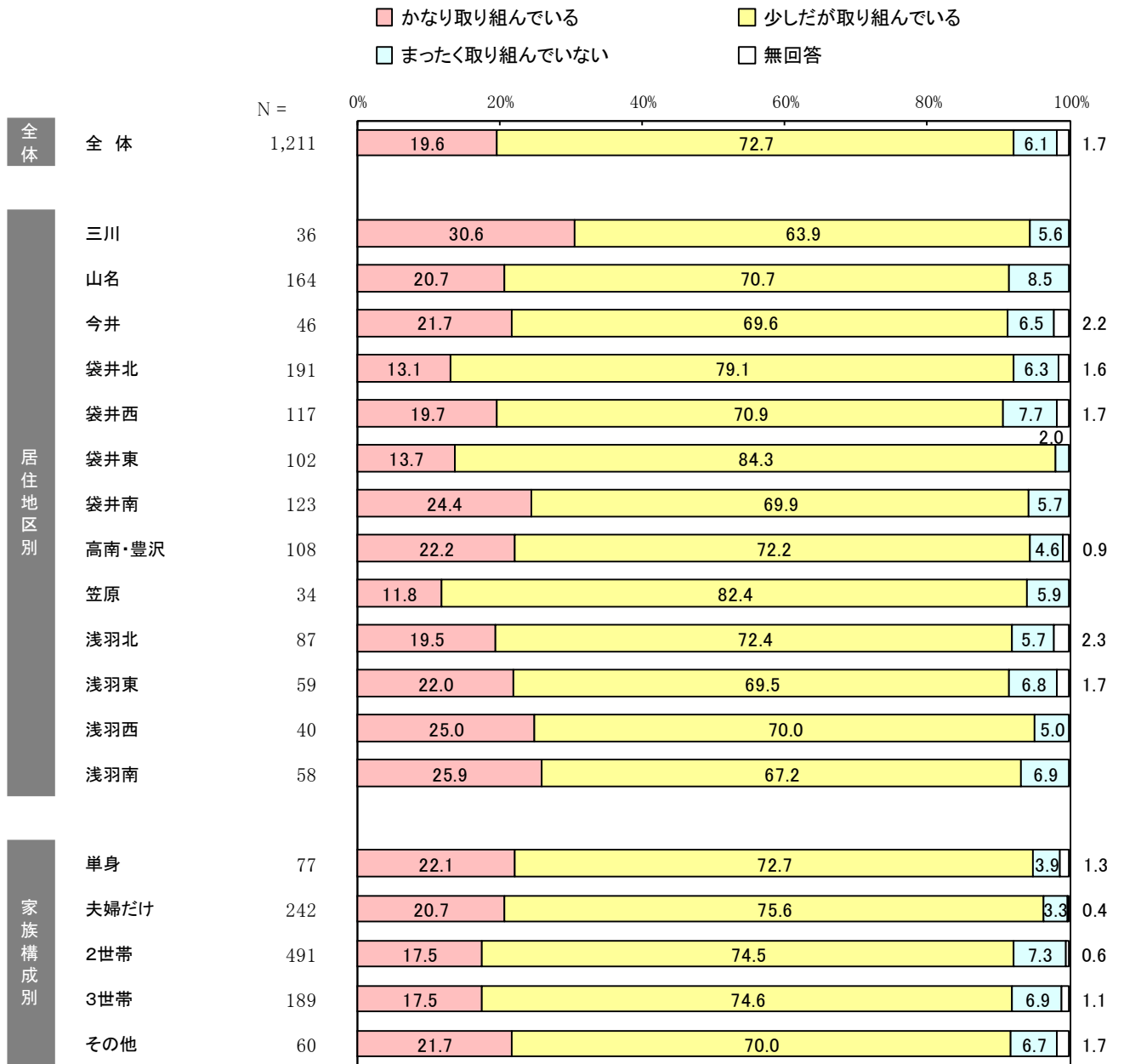
(6) 環境について

問 13 あなたは、環境に配慮した取組を行っていますか。

- 環境に配慮した取組への取組状況については、「少しだが取り組んでいる」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「かなり取り組んでいる」の割合が 19.6%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、60歳代以上で「かなり取り組んでいる」の割合が高く、2割を超えています。また、10歳代、40歳代で「少しだが取り組んでいる」の割合が高く、8割を超えています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の40歳代、女性の10歳代、30歳代、40歳代で「少しだが取り組んでいる」の割合が高く、8割を超えています。



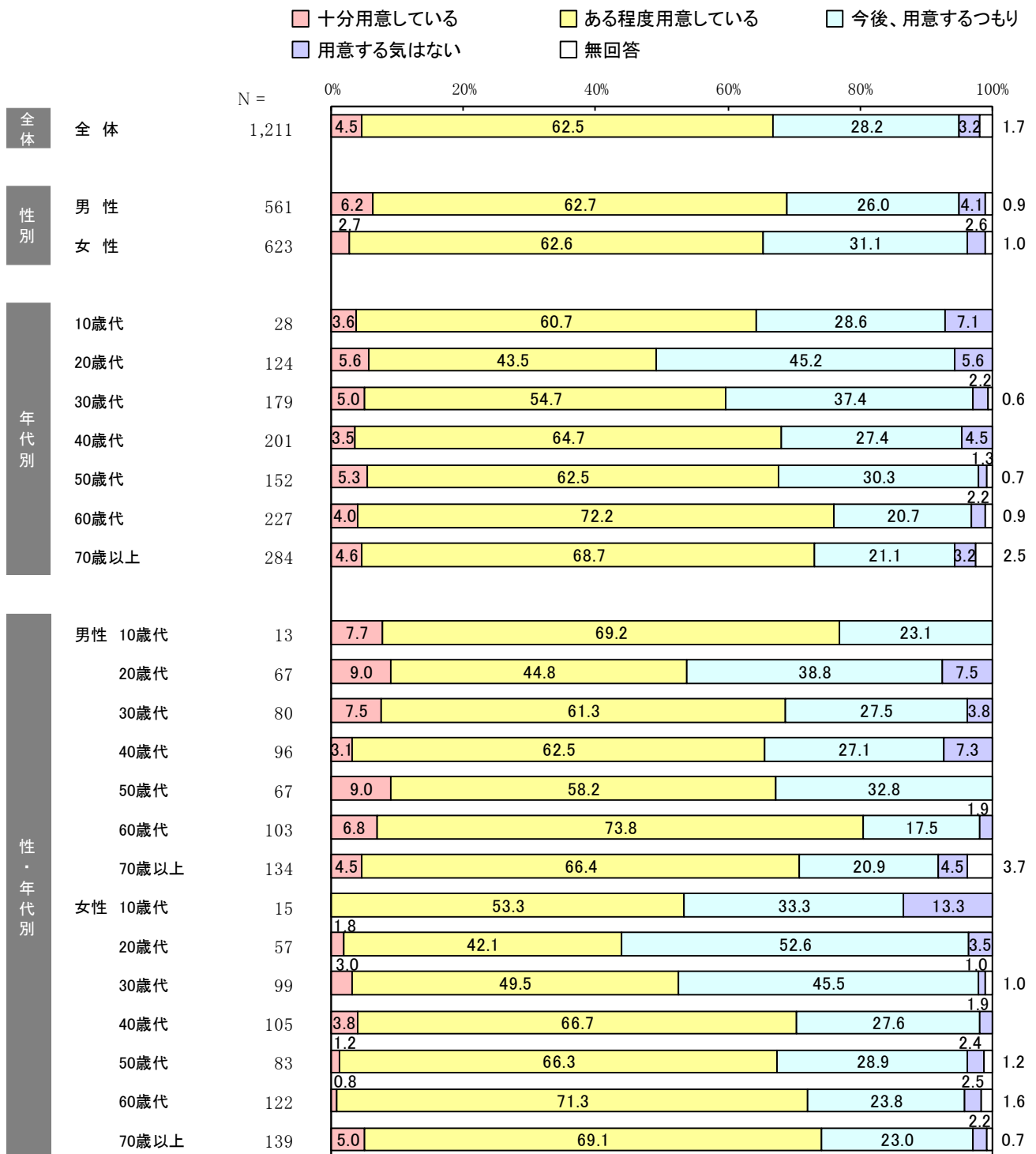
■居住地区別で見ると、他の地区に比べ、三川で「かなり取り組んでいる」の割合が高く、3割を超えています。



(7) 防災対策について

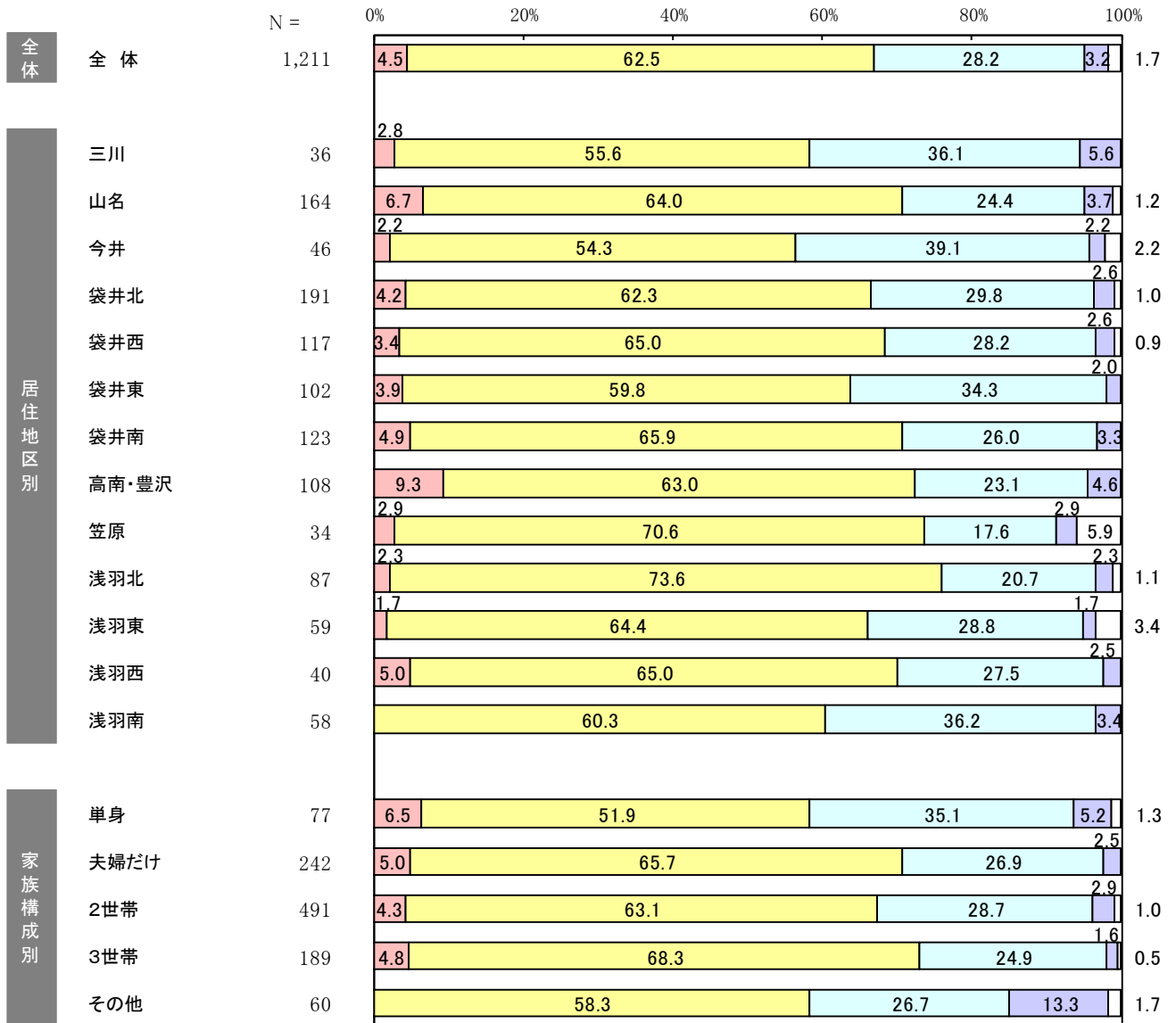
問 14 地震などの災害に備えて、家庭で「非常持ち出し品」を用意していますか。
(1つ選択)

- 「非常持ち出し品」の用意については、「ある程度用意している」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「今後、用意するつもり」の割合が 28.2%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、20 歳代で「今後、用意するつもり」の割合が高く、4 割半ばとなっています。また、60 歳代で「ある程度用意している」の割合が高く、約 7 割となっています。
- 性・年代別で見ると、男性の 60 歳代、女性の 60 歳代で「ある程度用意している」の割合が高く、約 7 割となっています。また、女性 20 歳代で「今後、用意するつもり」の割合が高く、約 5 割となっています。



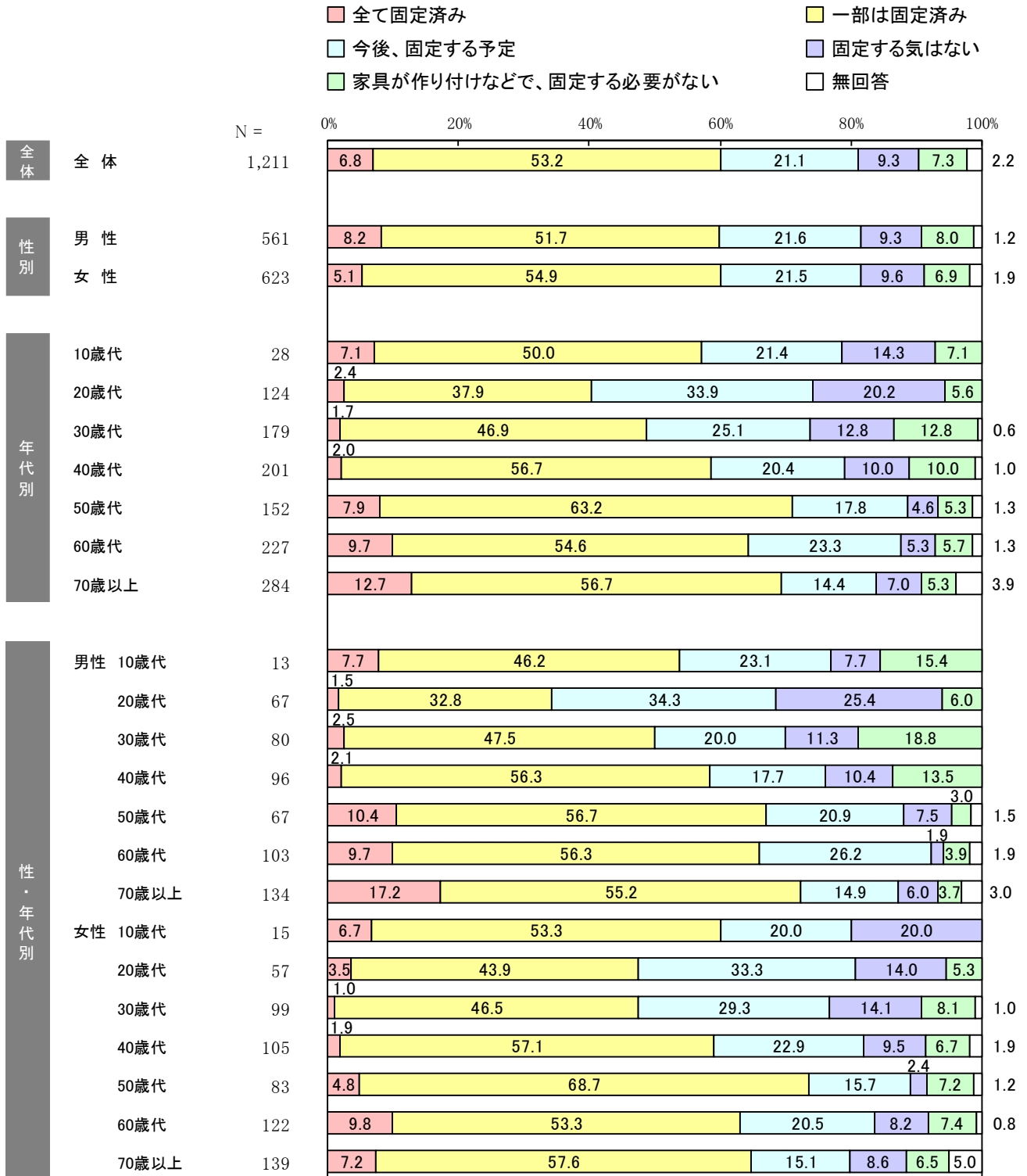
- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、笠原、浅羽北で「ある程度用意している」の割合が高く、7割を超えています。また、三川、今井、浅羽南で「今後、用意するつもり」の割合が高く、3割半ばを超えています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、単身で「今後、用意するつもり」の割合が高く、3割半ばとなっています。

■ 十分用意している ■ ある程度用意している ■ 今後、用意するつもり
■ 用意する気はない ■ 無回答

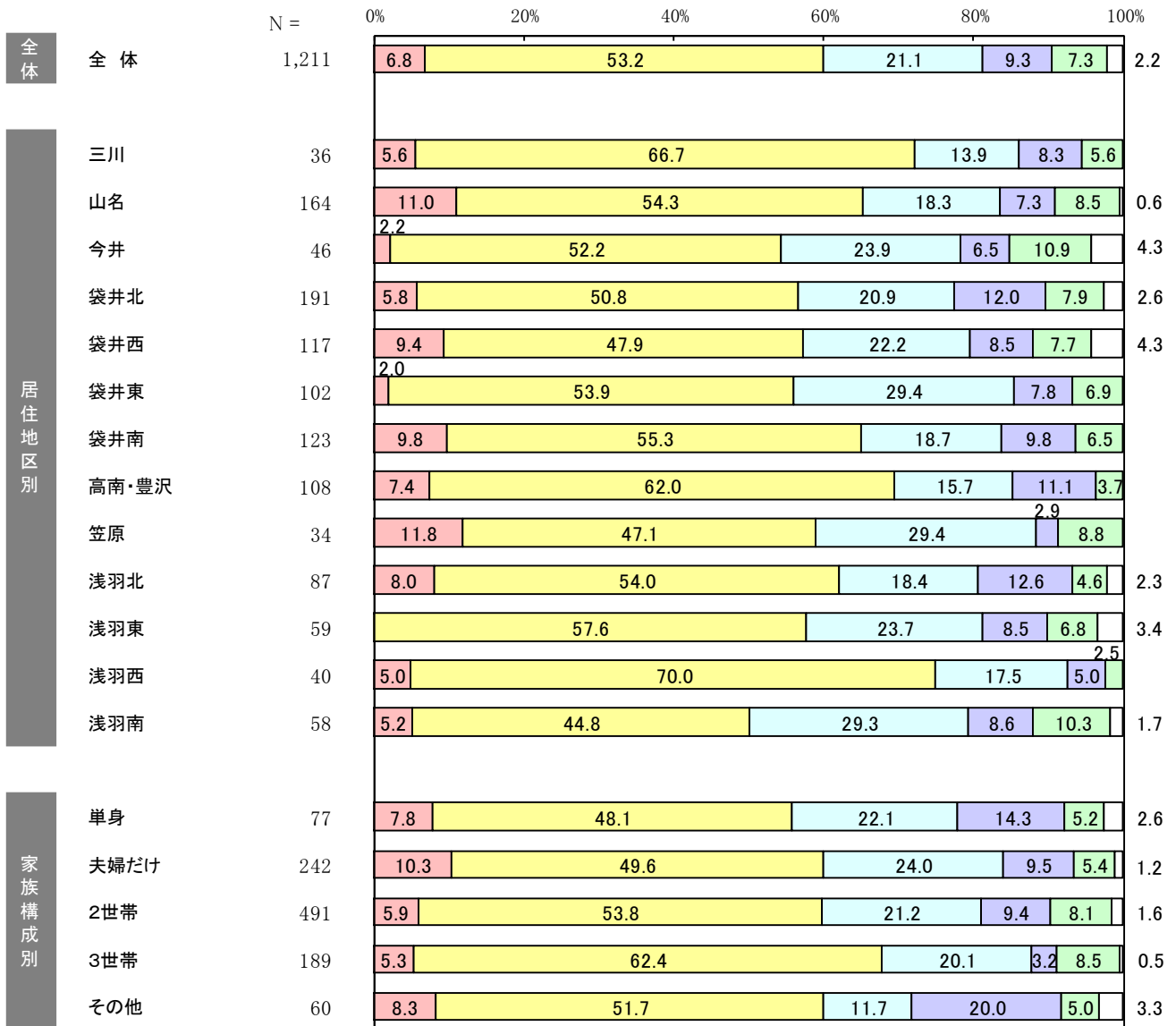
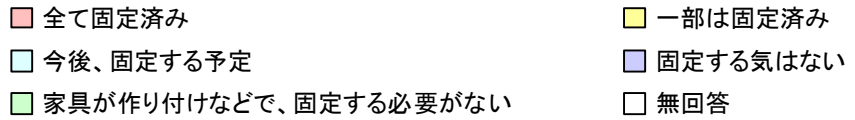


問 15 あなたの家庭では、地震に備えて家具を固定していますか。(1つ選択)

- 家具の固定については、「一部は固定済み」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「今後、固定する予定」の割合が 21.1%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、20 歳代で「固定する気はない」の割合が高く、約 2 割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の 20 歳代、女性の 20 歳代で「今後、固定する予定」の割合が高く、3 割を超えています。また、男性の 20 歳代、女性の 10 歳代で「固定する気はない」の割合が高く、2 割を超えています。



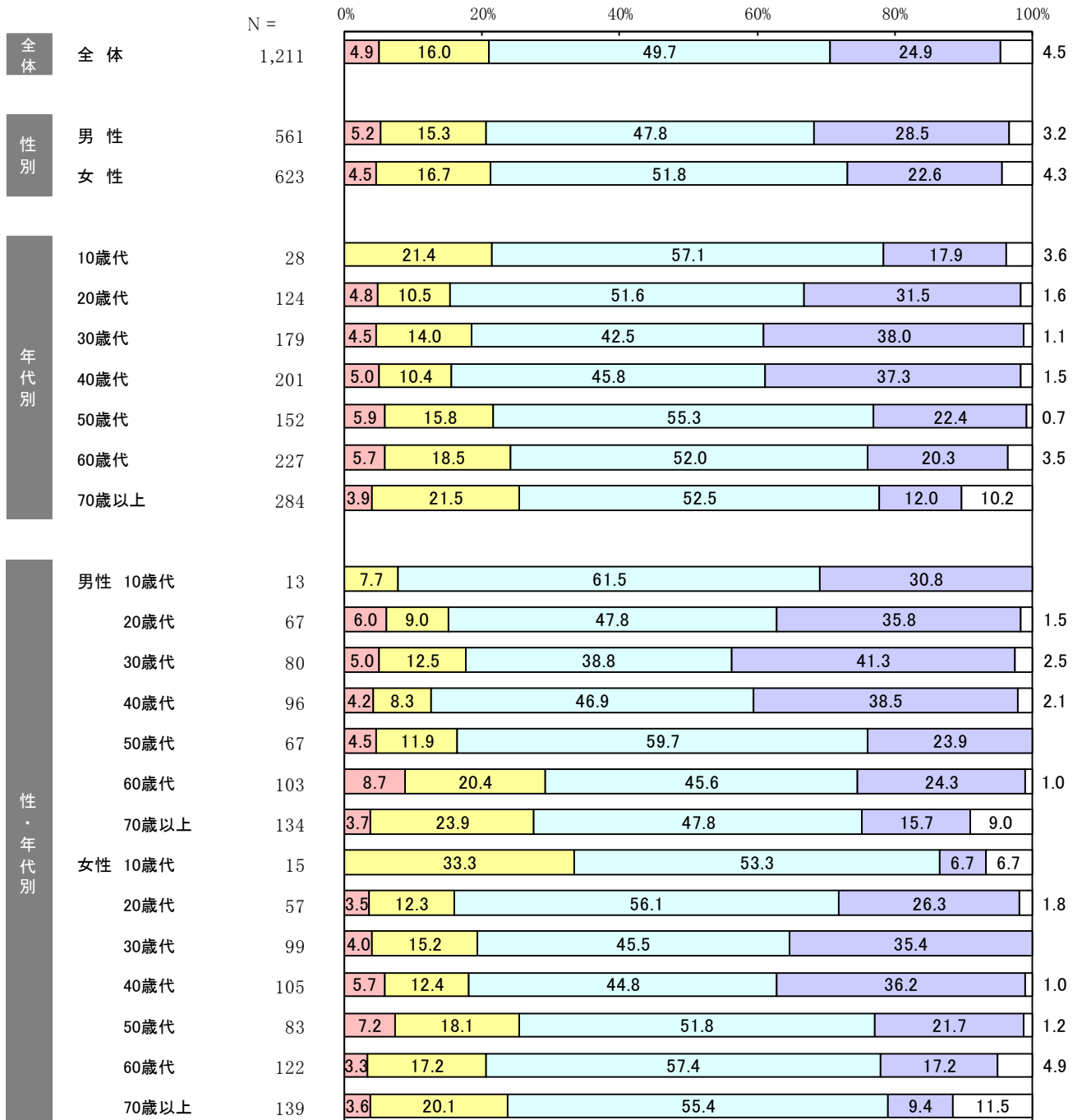
- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、浅羽西で「一部は固定済み」の割合が高く、7割となっています。また、袋井東、笠原、浅羽南で「今後、固定する予定」の割合が高く、約3割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、3世帯（祖父母と親と子）で「一部は固定済み」の割合が高くなっています。



問 16 あなたの家庭では、地震などの災害に備えて自家用車のガソリンをどのくらいの残量になったら給油していますか。

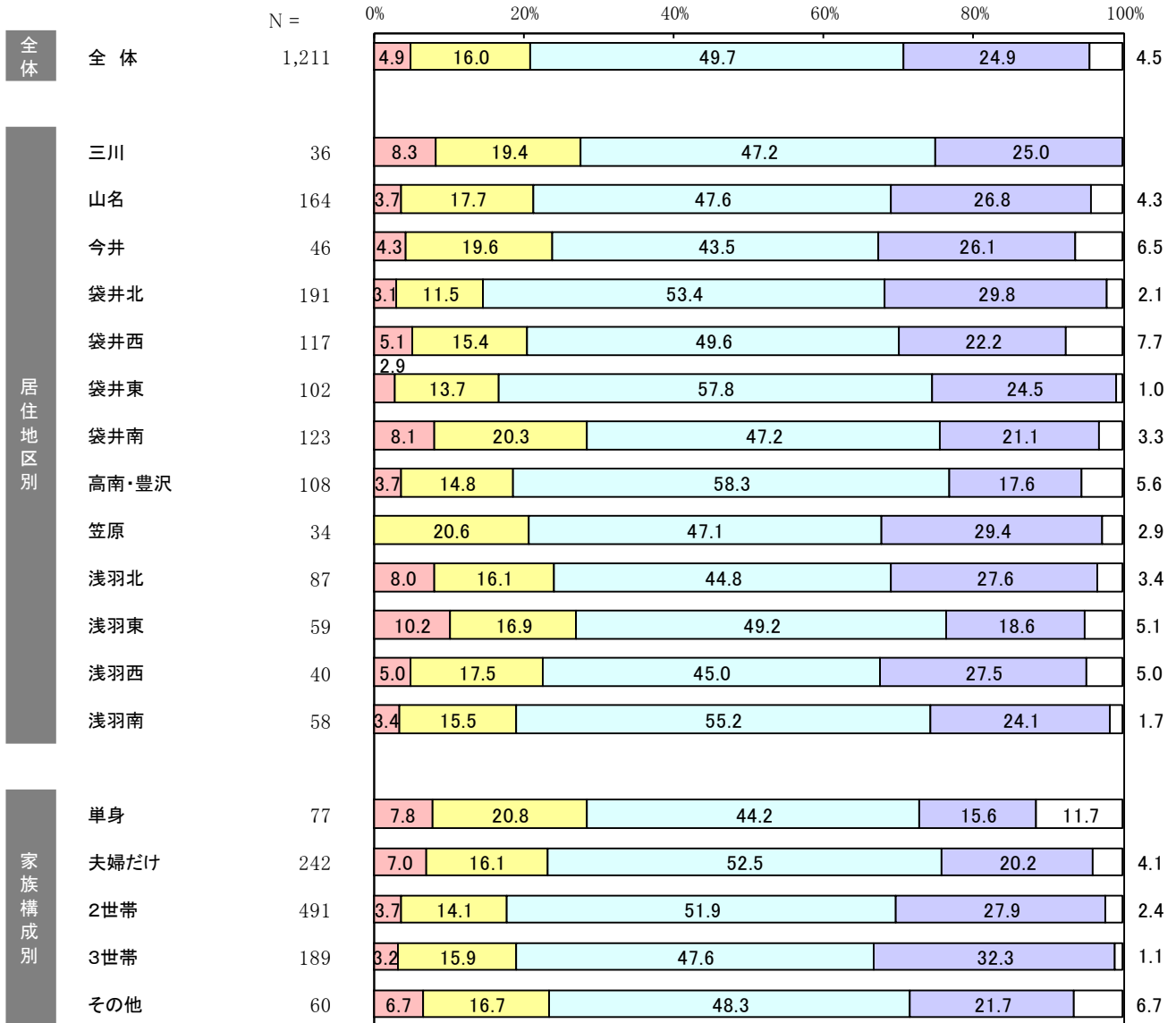
- 災害時に供え自家用車のガソリンの給油残量については、「残量が3分の1になったら給油している。」の割合が49.7%、「ほとんど空になったら給油している。」の割合が24.9%、「残量が半分(2分の1)になったら給油している。」の割合が16.0%となっています。
- 性別でみると、女性に比べ、男性で「ほとんど空になったら給油している。」の割合が高く、約3割となっています。
- 年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「残量が3分の1になったら給油している。」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳代から40歳代で「ほとんど空になったら給油している。」の割合が高く、3割を超えています。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の10歳代で「残量が3分の1になったら給油している。」の割合が高く、約6割となっています。また、男性の30歳代で「ほとんど空になったら給油している。」の割合が高く、約4割となっています。

■ 残量が半分(2分の1)になる前に給油している。 ■ 残量が半分(2分の1)になったら給油している。
■ 残量が3分の1になったら給油している。 ■ ほとんど空になったら給油している。
■ 無回答



- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、袋井東、高南・豊沢で「残量が3分の1になったら給油している。」の割合が高く、約6割となっています。
- 家族構成別でみると、3世帯で「ほとんど空になったら給油している。」の割合が高く、約3割となっています。

■ 残量が半分(2分の1)になる前に給油している。 ■ 残量が半分(2分の1)になったら給油している。
■ 残量が3分の1になったら給油している。 ■ ほとんど空になったら給油している。
■ 無回答

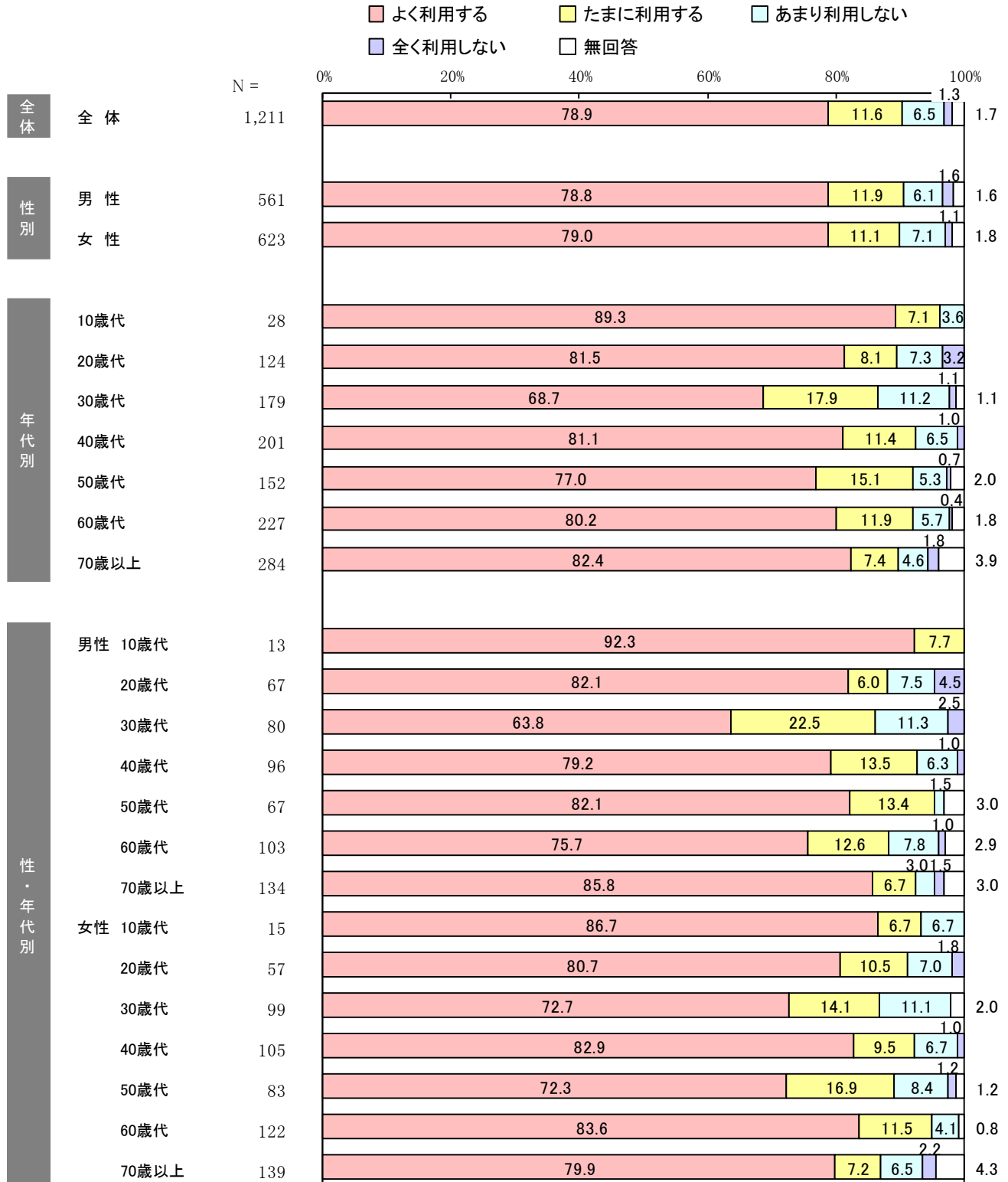


(8) 生鮮食料品(野菜、果物、肉、魚)の買い物について

問 17 次の支払い方法をどのくらい利用しますか。(それぞれ1つ選択)

現金

- 現金の支払い方法の使用頻度については、「よく利用する」の割合が 78.9%と最も高く、次いで「たまに利用する」の割合が、11.6%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で「よく利用する」の割合が高く、約9割となっています。また、30歳代で「たまに利用する」の割合が高く、約2割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の10歳代で「よく利用する」の割合が高く、約9割となっています。また、男性の30歳代で「たまに利用する」の割合が高く、約2割となっています。

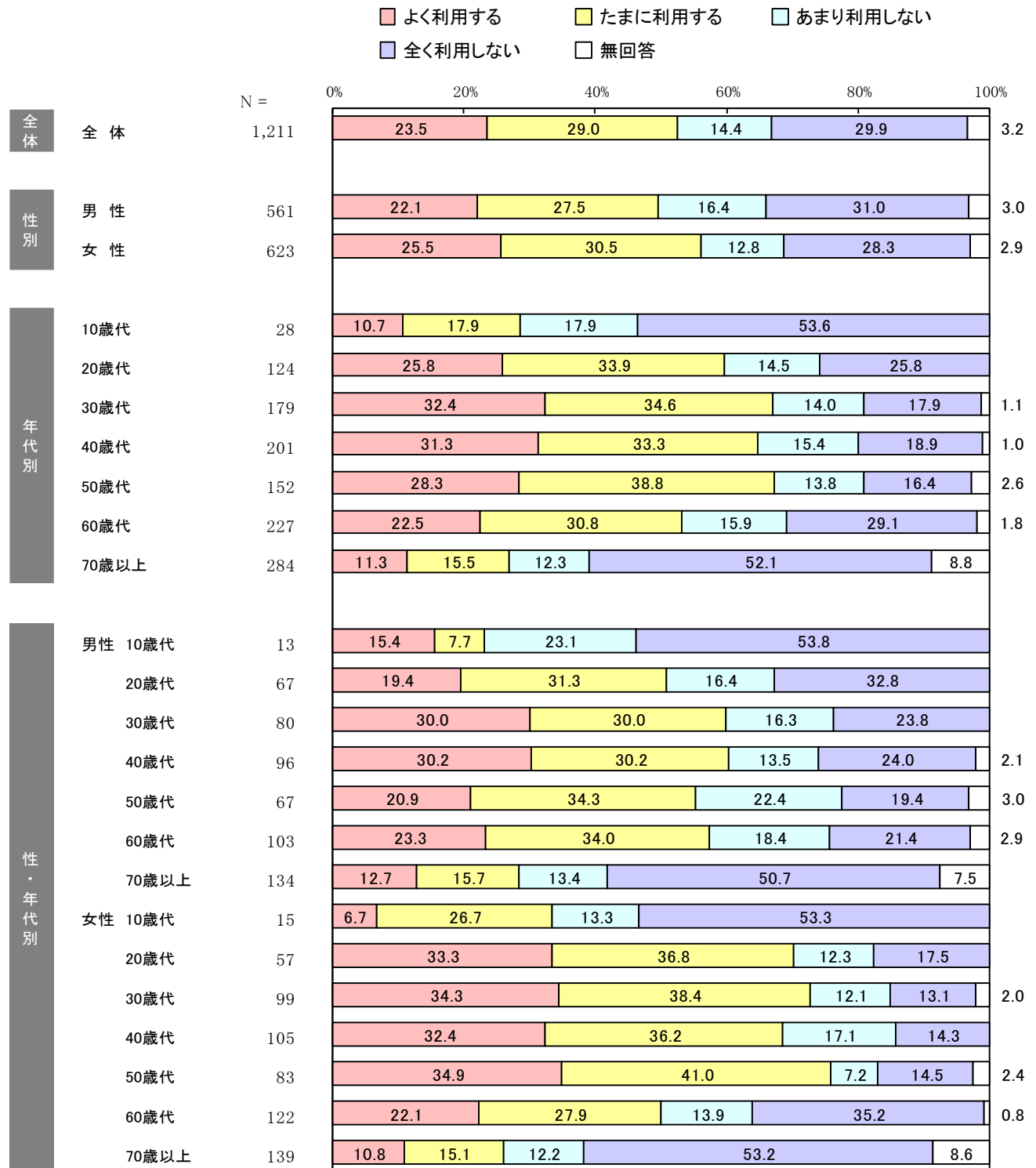


- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、袋井西、浅羽北、浅羽西、浅羽南で「よく利用する」の割合が高く、8割を超えています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、単身、3世帯で「よく利用する」の割合が高く、8割を超えています。



クレジットカード決済

- クレジットカード決済の支払い方法の使用頻度については、「全く利用しない」の割合が29.9%と最も高く、次いで「たまに利用する」の割合が、29.0%、「よく利用する」の割合が、23.5%となっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「よく利用する」の割合が高く、3割を超えています。また、10歳代、70歳以上で「全く利用しない」の割合が高く、約5割となっています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の10歳代、70歳以上、女性の10歳代、70歳以上で「全く利用しない」の割合が高く、5割を超えています。

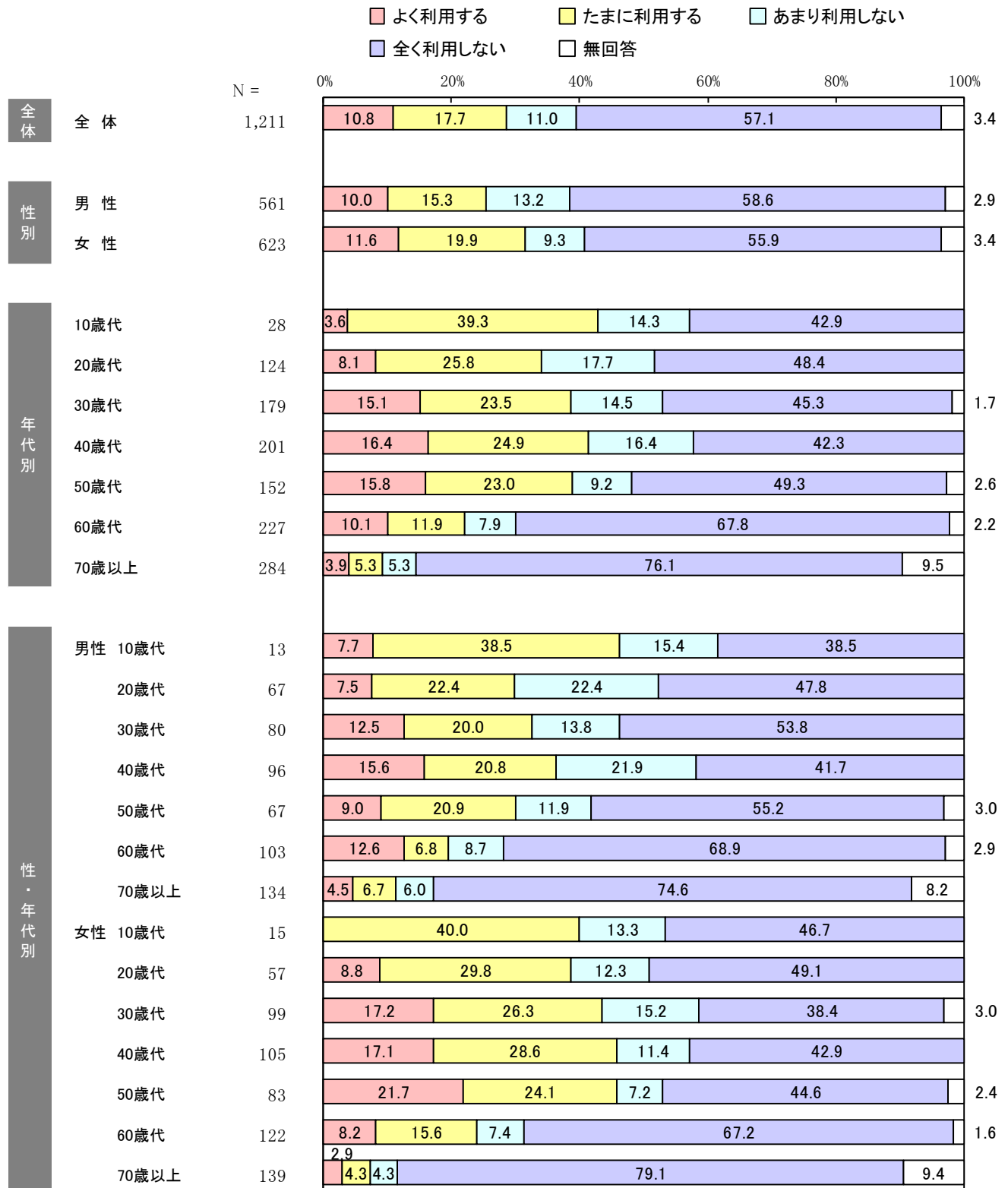


- 居住地区別で見ると、他の地区に比べ、笠原で「あまり利用しない」の割合が高く、約2割となっています。また、袋井西、浅羽西、浅羽南で「全く利用しない」の割合が高く、3割半ばとなっています。
- 家族構成別で見ると、他に比べ、単身で「全く利用しない」の割合が高く、約4割となっています。



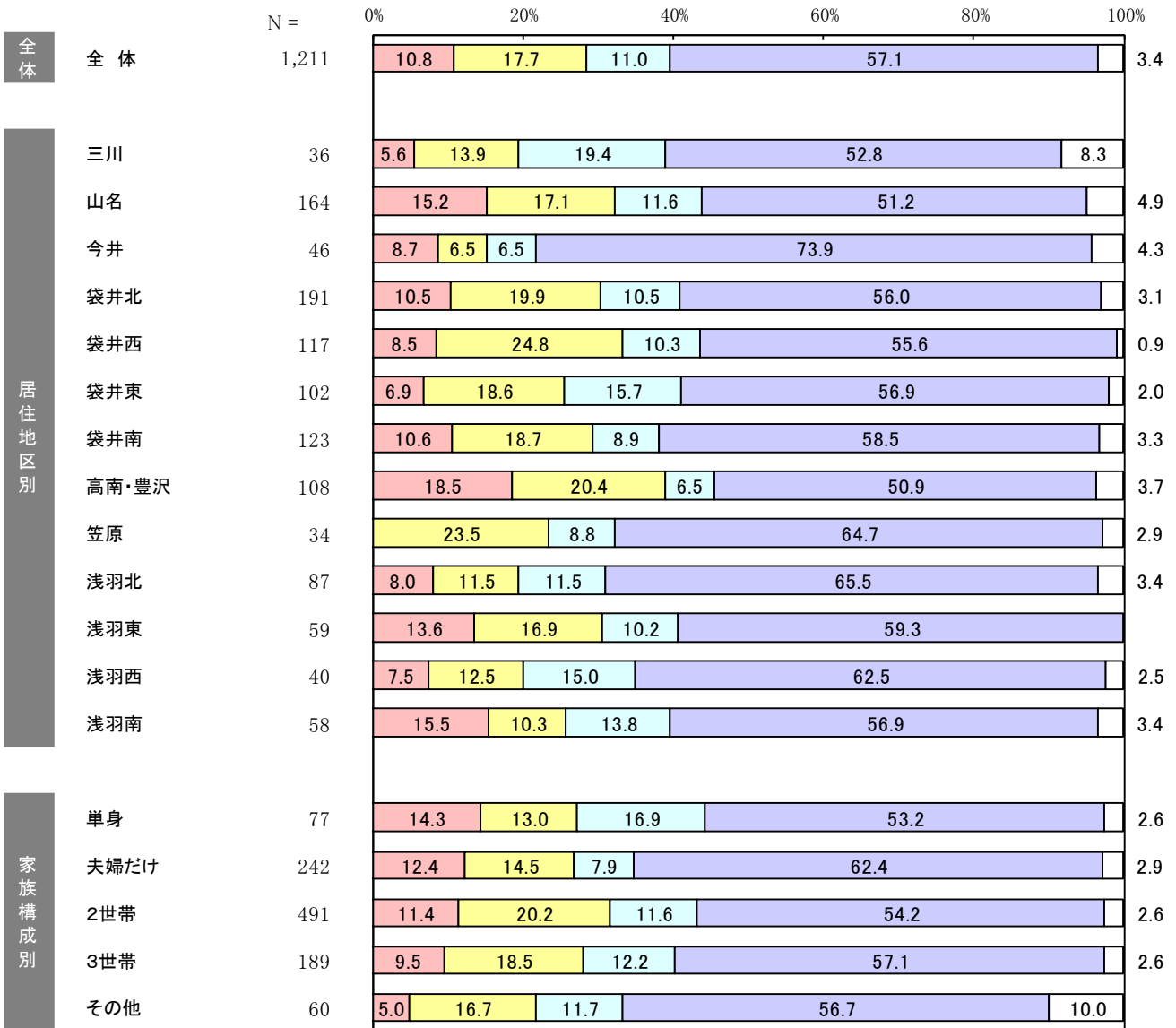
電子マネー

- 電子マネーの支払い方法の使用頻度については、「全く利用しない」の割合が 57.1%と最も高く、次いで、「たまに利用する」の割合が 17.7%、「あまり利用しない」の割合が 11.0%となっています。
- 年代別でみると、年代が下がるにつれて「たまに利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。
- 性・年代別でみると、他に比べ、男性の 70 歳以上、女性の 70 歳以上で「全く利用しない」の割合が高く、7 割を超えています。



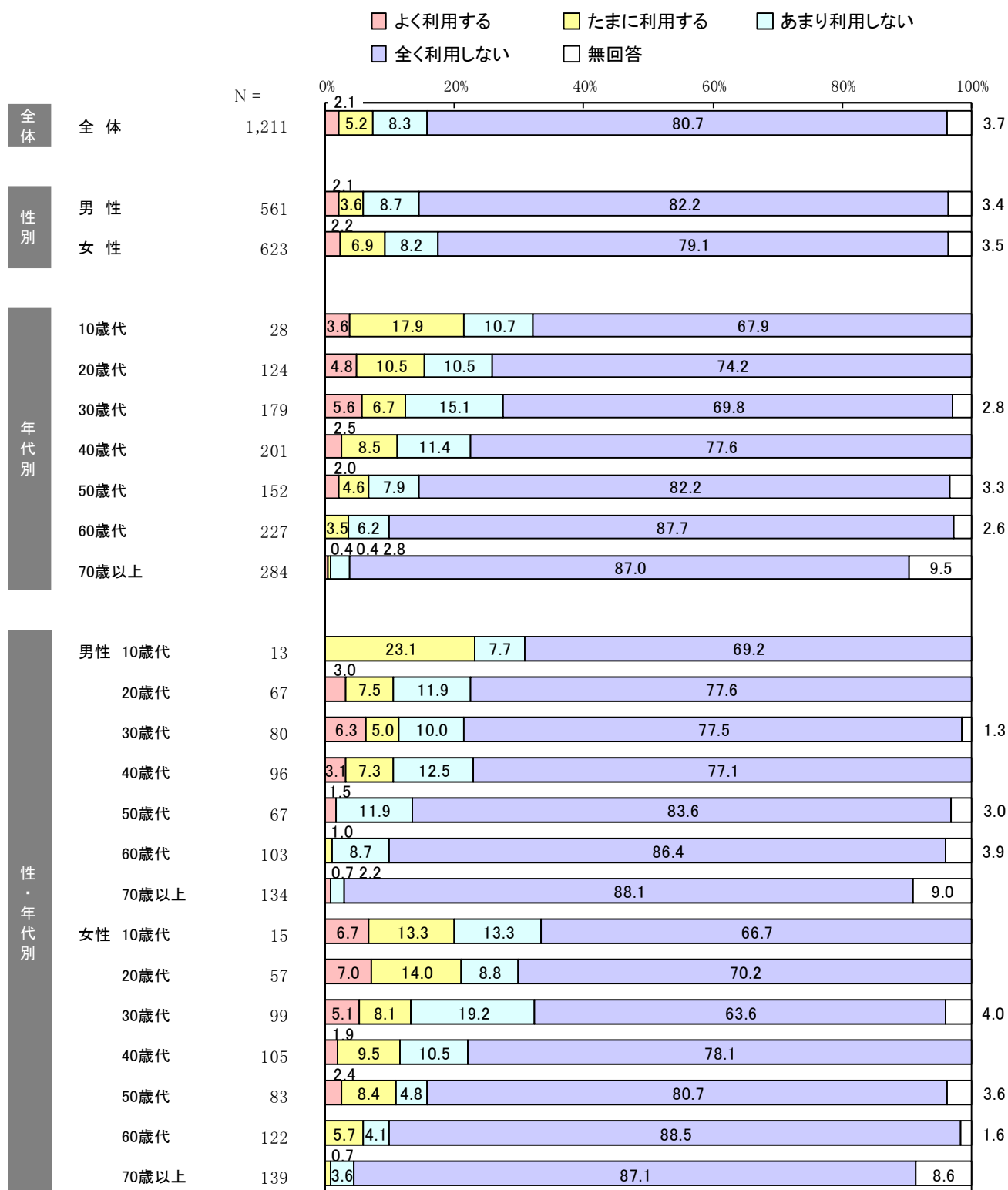
- 居住地区別でみると、他の地区に比べ、今井で「全く利用しない」の割合が高く、約7割となっています。
- 家族構成別でみると、他に比べ、夫婦だけで「全く利用しない」の割合が高く、約6割となっています。

■ よく利用する ■ たまに利用する ■ あまり利用しない
■ 全く利用しない ■ 無回答



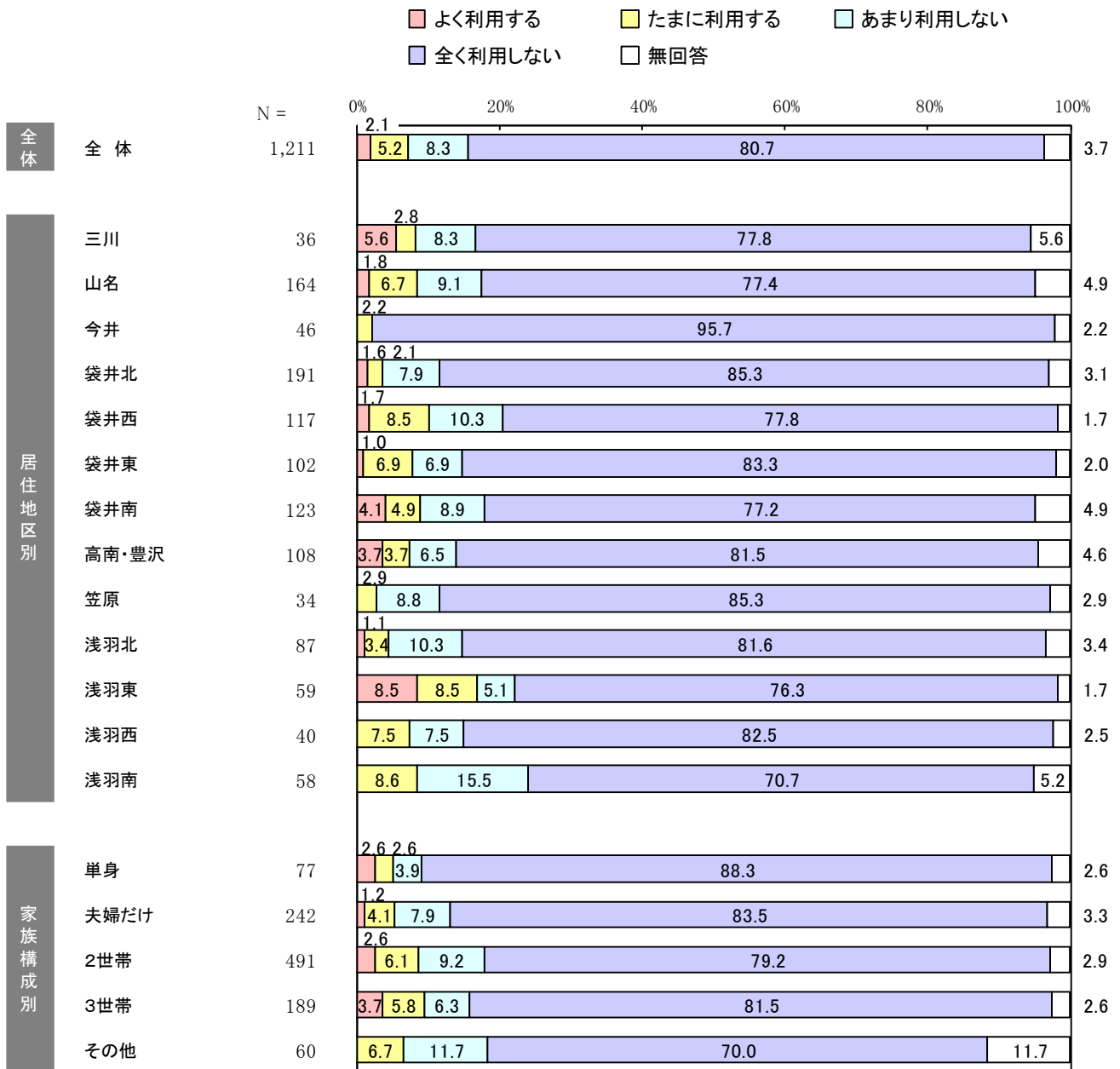
スマホ決済(QRコード決済等)

- スマホ決済(QRコード決済等)の支払い方法の使用頻度については、「全く利用しない」の割合が80.7%と最も高くなっています。
- 年代別で見ると、他の年代に比べ、50歳代以上で「全く利用しない」の割合が高く、8割を超えています。
- 性・年代別で見ると、他に比べ、男性の50歳代以上、女性の50歳代以上で「全く利用しない」の割合が高く、8割を超えています。



■居住地区別でみると、他の地区に比べ、今井で「全く利用しない」の割合が高く、9割を超えています。

■家族構成別でみると、大きな差異はみられません。

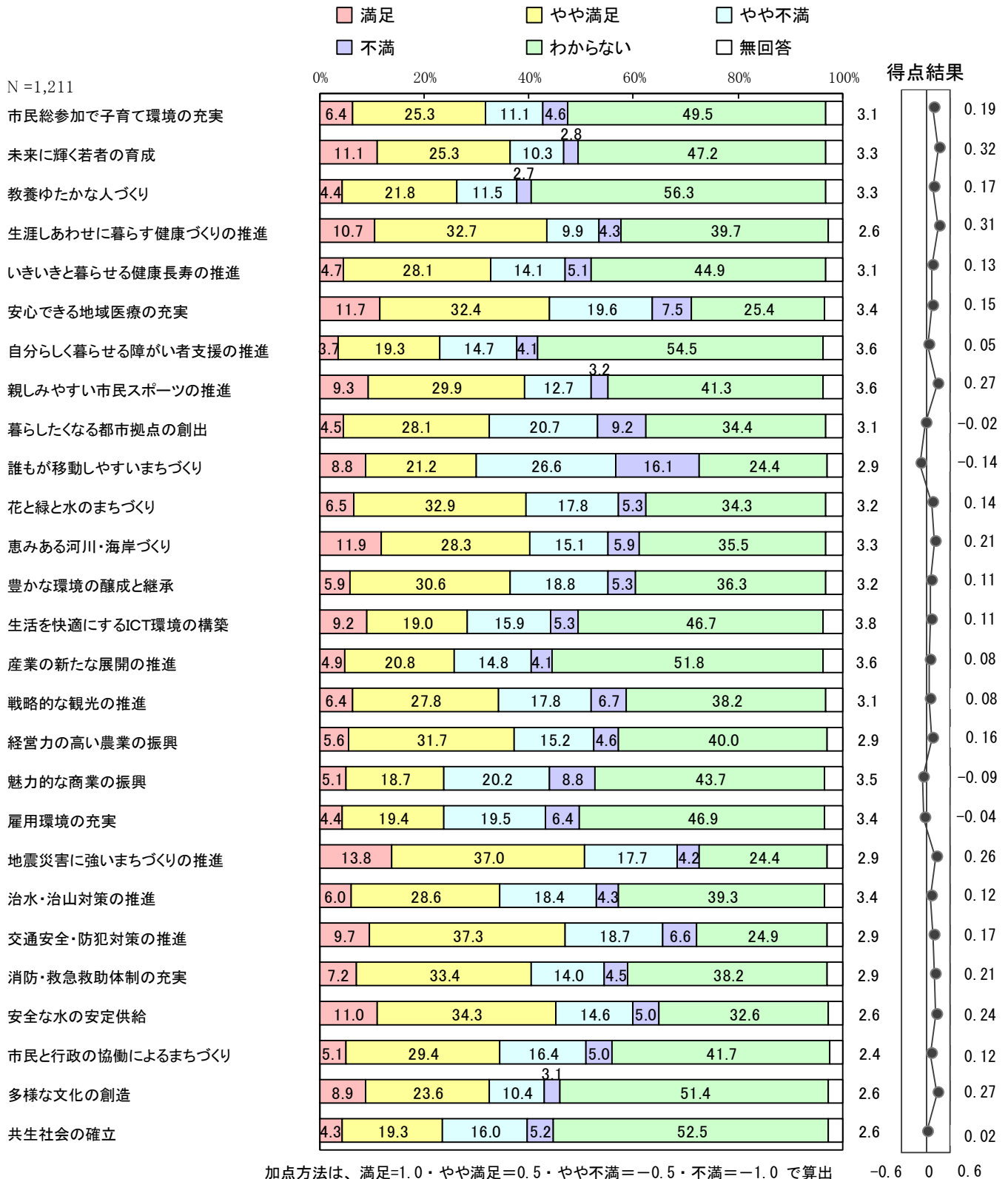


(9) 袋井市のまちづくりについて

問 18 第2次袋井市総合計画に基づき実施する6政策27の取組について、あなたが感じる現状の評価（満足度と重要度）について、それぞれ1つずつ選び○をつけて下さい。

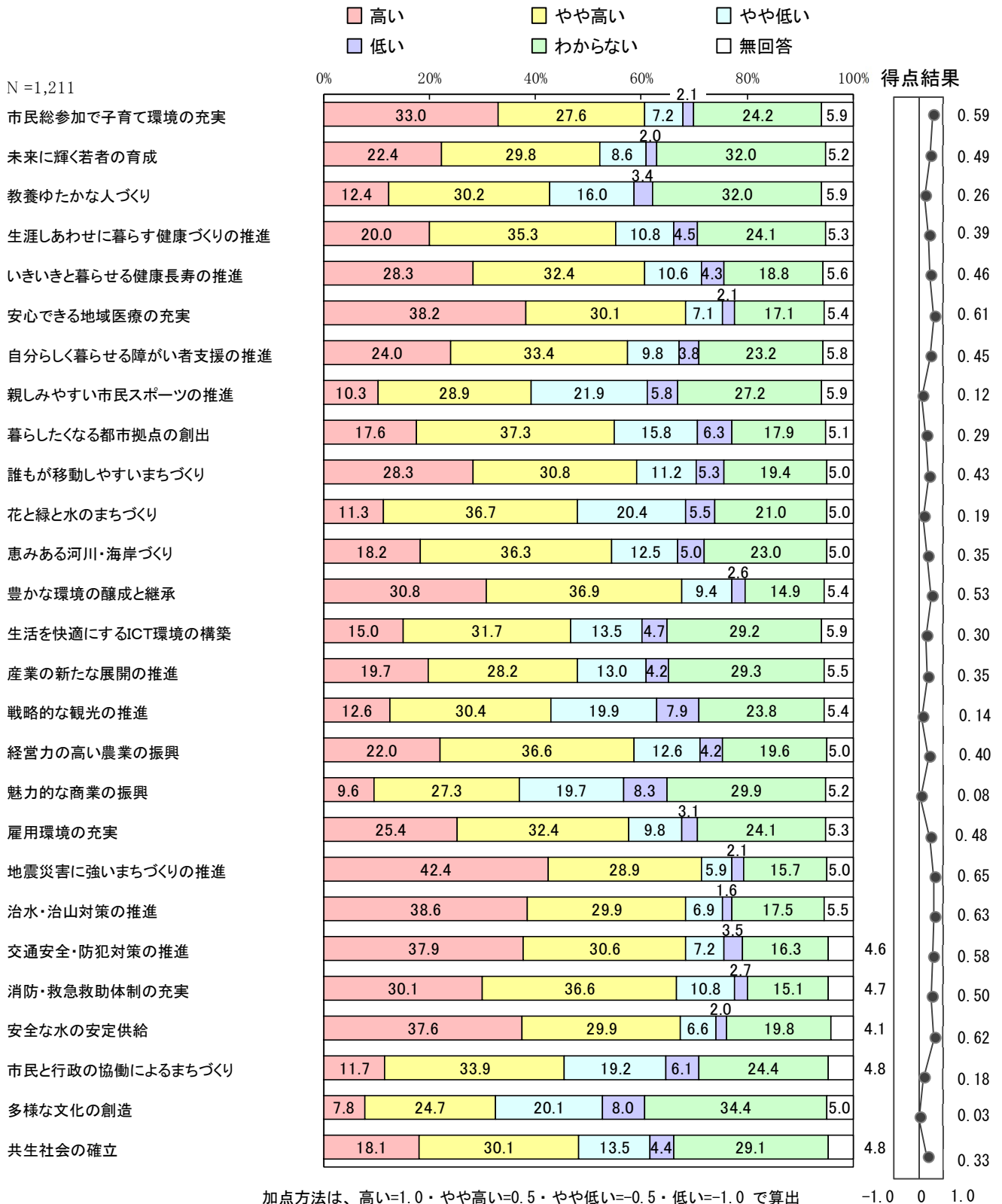
①満足度

■『地震災害に強いまちづくりの推進』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約5割となっています。また、『誰もが移動しやすいまちづくり』で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約4割となっています。



②重要度

■『地震災害に強いまちづくりの推進』で「高い」と「やや高い」をあわせた“高い”の割合が高く、約7割となっています。また、『親しみやすい市民スポーツの推進』『戦略的な観光の推進』『魅力的な商業の振興』『多様な文化の創造』で「やや低い」と「低い」をあわせた“低い”の割合が高く、約3割となっています。

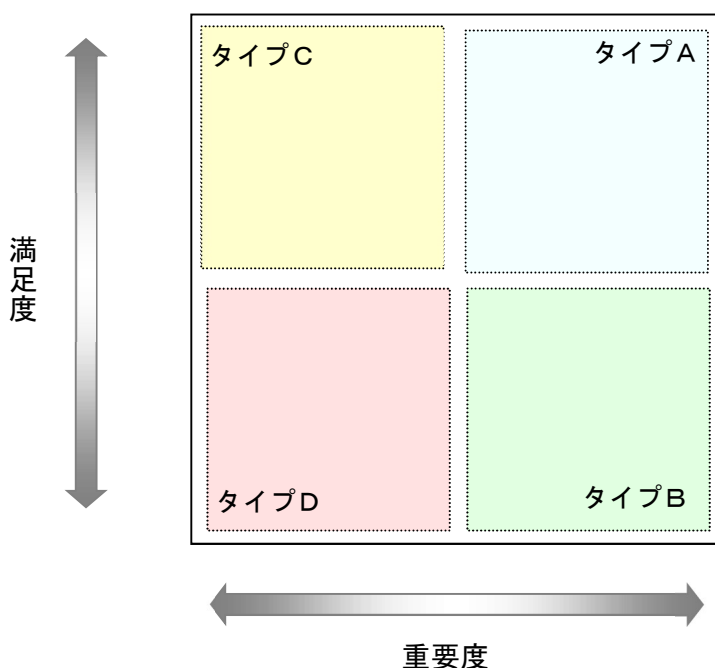


袋井市のまちづくりに対する満足度・重要度の散布図

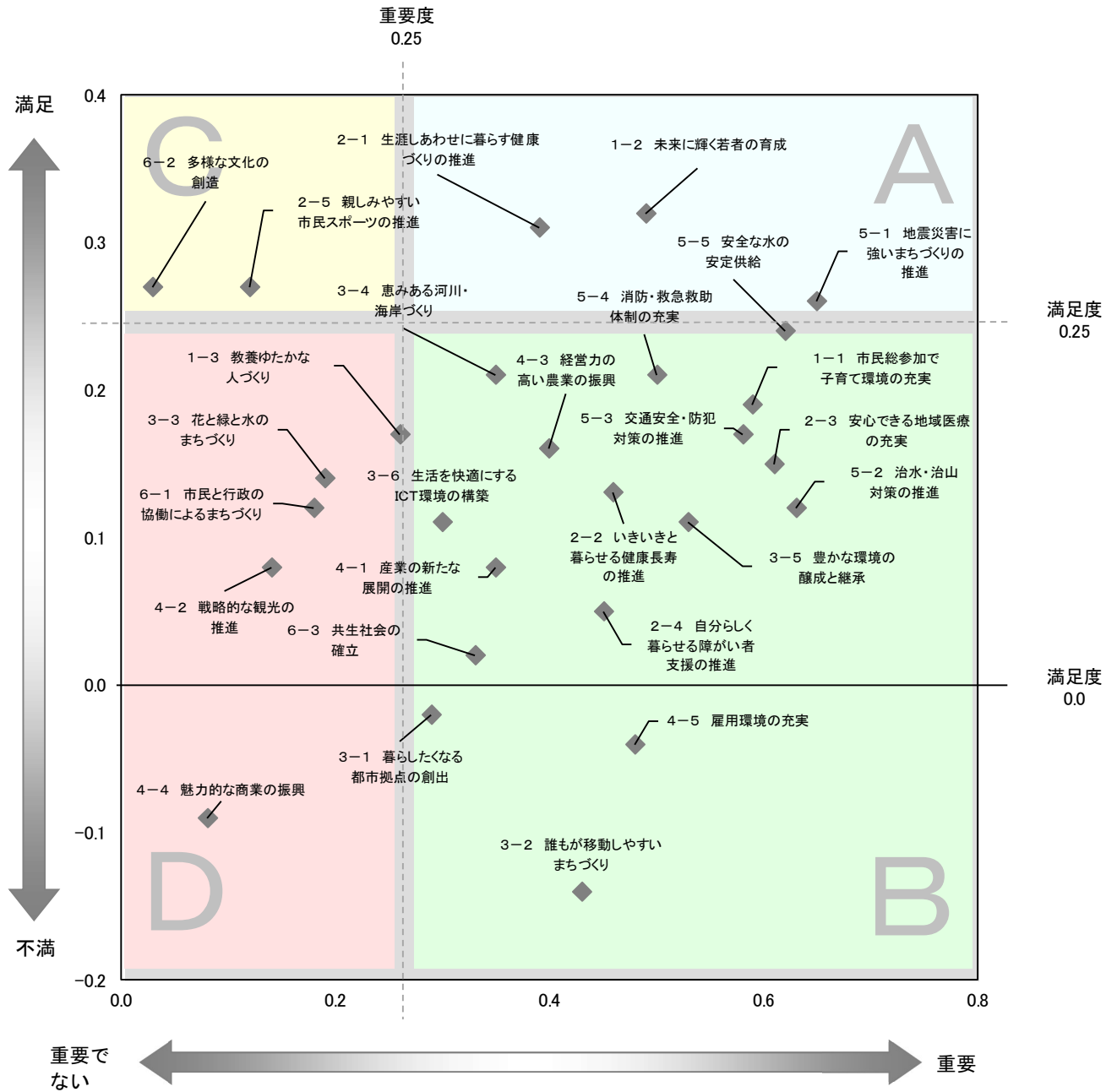
散布図の右上には、重要度が高く、かつ満足度も高い項目が位置し、今後も維持していく項目となっています。散布図の右下には、重要だが不満な項目が位置し要改善項目となっており、『3-2 誰もが移動しやすいまちづくり』、『4-5 雇用環境の充実』等となっています。

※ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、0.25 を得点の境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆ タイプA	継続推進 (重要度 : 0.25 以上 満足度 : 0.25 以上) 重要性の認識も取組に対する満足度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望まれます。
◆ タイプB	重点課題 (重要度 : 0.25 以上 満足度 : 0.25 未満) 重要性の認識は高いが、取組に対する満足度は低く、他区分の取組に優先した重点的な対応が望まれます。
◆ タイプC	成果検証 (重要度 : 0.25 未満 満足度 : 0.25 以上) 重要性の認識は低いですが、取組に対する満足度は高く、一定の成果を上げているため、必要性を検証し適切な対応が望まれます。
◆ タイプD	検討課題 (重要度 : 0.25 未満 満足度 : 0.25 未満) 重要性の認識は低く、取組に対する満足度も低く、必要性の検証や取組内容の見直しなどを検討し適切な対応が求められます。



<加点方法>

満足度…「満足」1.0点、「やや満足」0.5点、「やや不満」-0.5点、「不満」-1.0点
 重要度…「高い」1.0点、「やや高い」0.5点、「やや低い」-0.5点、「低い」-1.0点

<得点の算出式>

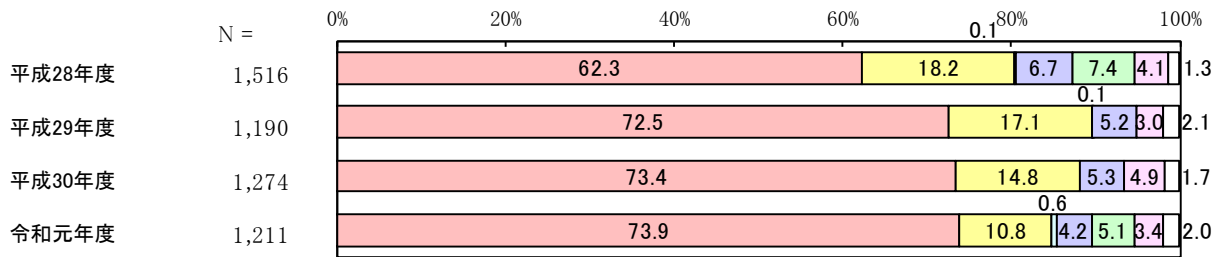
$$\frac{1.0 \text{ 点} \times \text{「満足(高い)」の回答数} + 0.5 \text{ 点} \times \text{「やや満足(やや高い)」の回答数} - 0.5 \text{ 点} \times \text{「やや不満(やや低い)」の回答数} - 1.0 \text{ 点} \times \text{「不満(低い)」の回答数}}{\text{「わからない」、無回答を除いた設問の回答総数}}$$

Ⅲ 年次変化

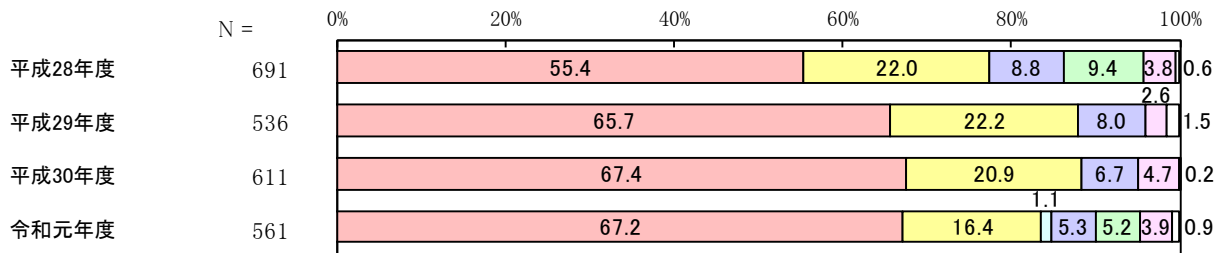
1 家庭での男女の役割分担について

【全体】

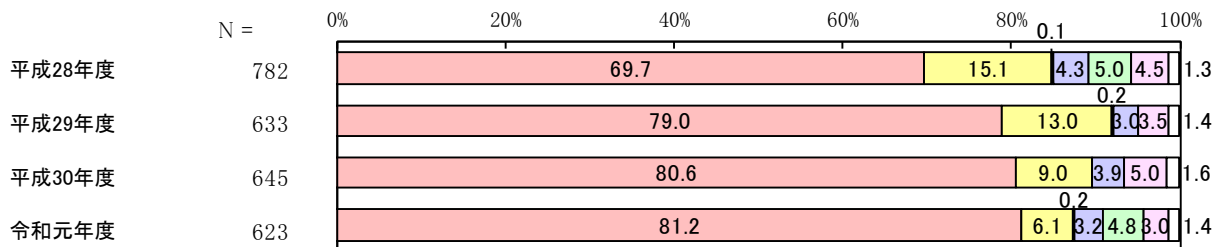
- 男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい
- 男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 女性は仕事を中心にし、男性は家事・育児・介護を中心にするのがよい
- 男女ともに仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である
- わからない
- その他
- 無回答



【男 性】



【女 性】

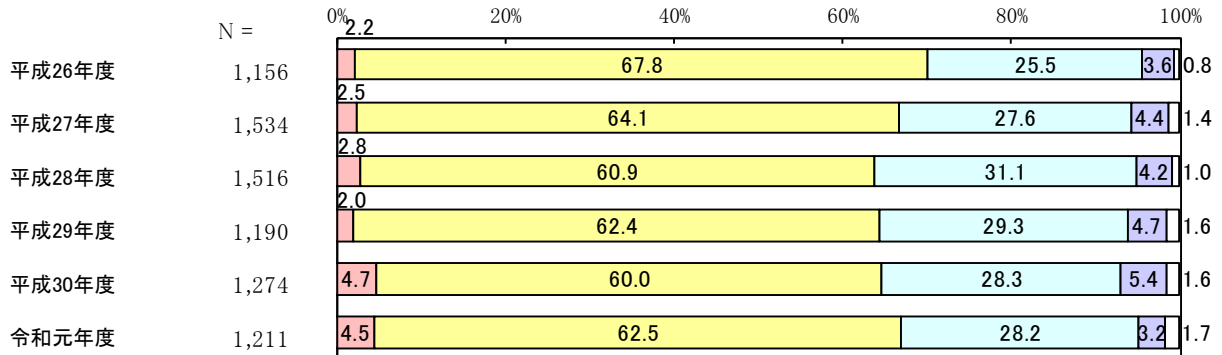


※平成29年度、平成30年度では「わからない」の選択肢はありません。

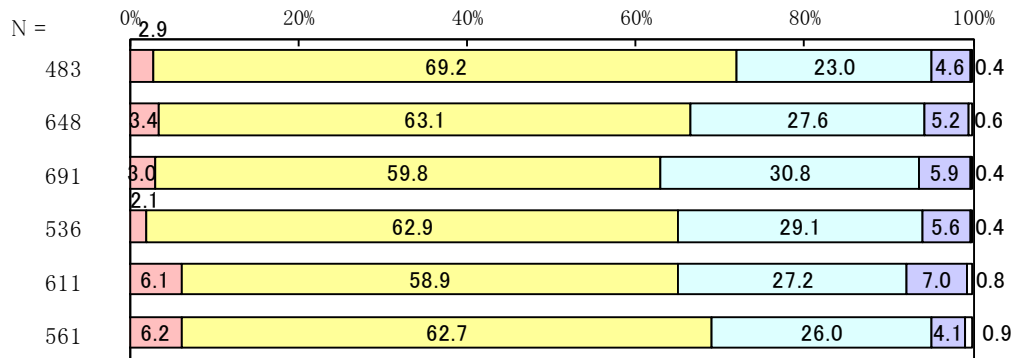
2 非常用持ち出し袋を用意しているか

【全体】

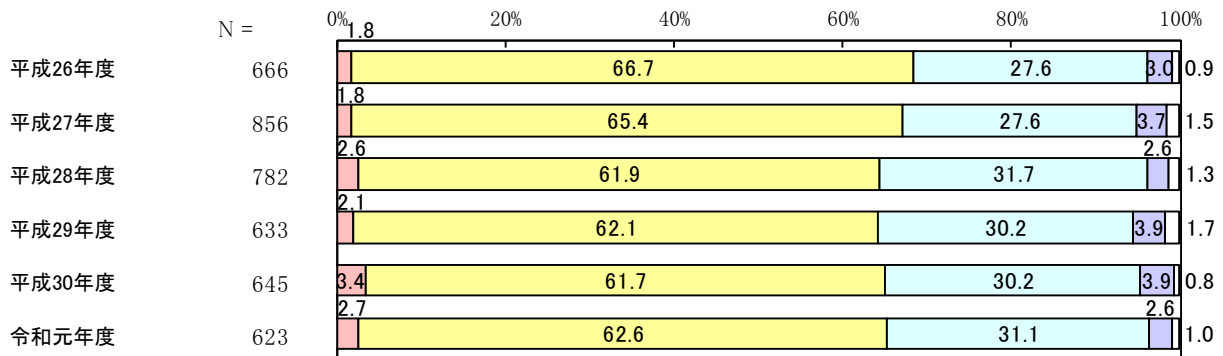
■ 十分用意している ■ ある程度用意している ■ 今後、用意するつもり
■ 用意する気はない ■ 無回答



【男 性】

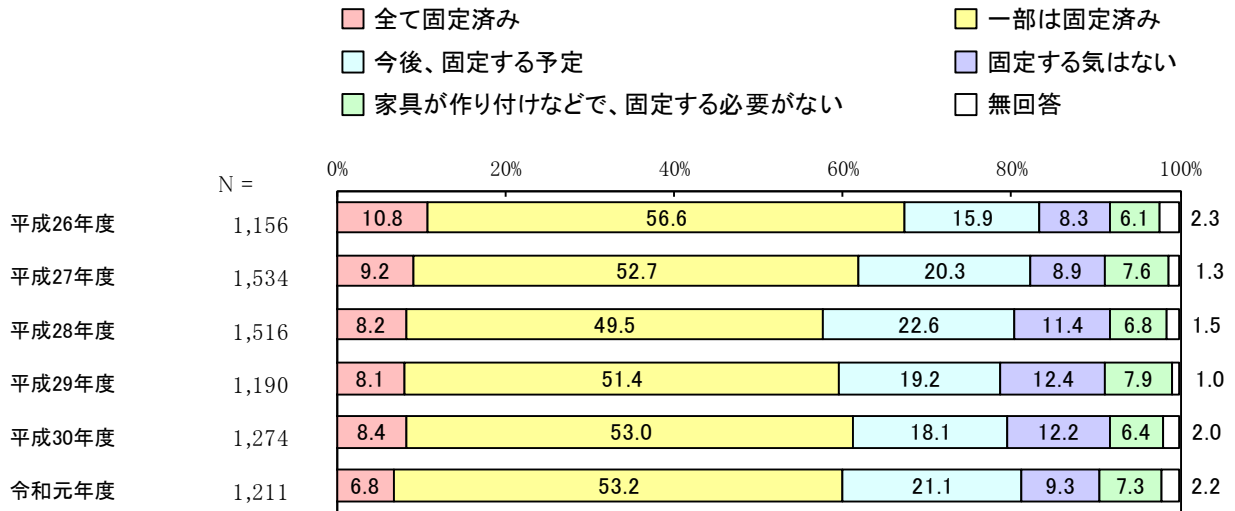


【女 性】

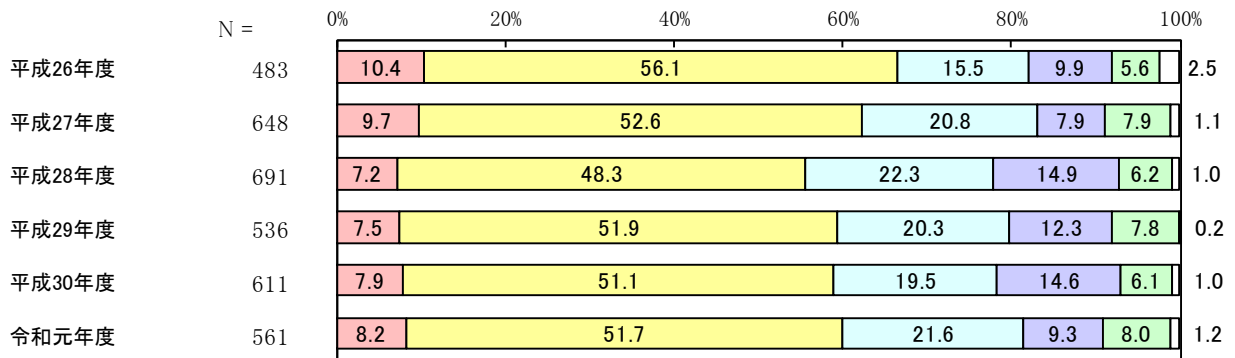


3 地震に備えて家具の固定をしているか

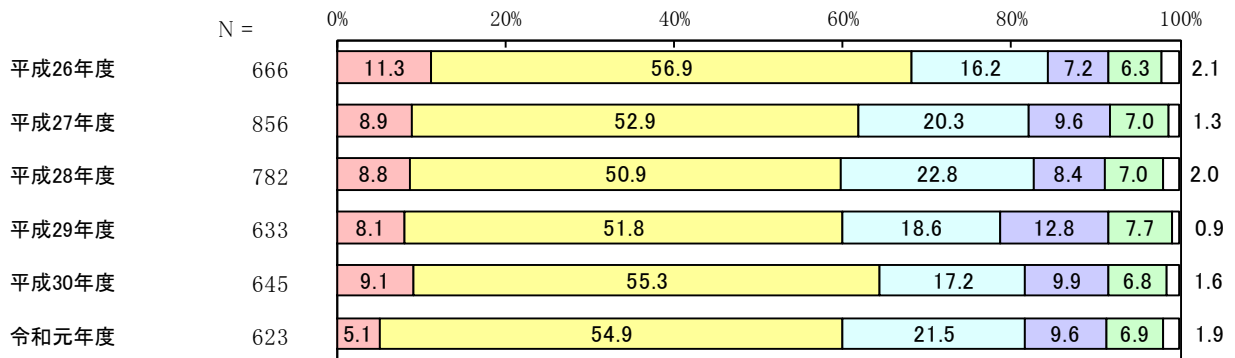
【全体】



【男 性】



【女 性】



IV その他意見

問5 ICTを活用した袋井市の取り組みについて、今後さらに力をいれてほしい分野は何ですか。
(あてはまるもの全て選択)

回答内容	件数
ICTが分からない	16
特になし	7
利用していない	3
取りくみ自体を知らない	2
災害時の復旧について	1
防災応用	1
大気汚染、公害等情報公開	1
小中学校の学習	1
テレワーク、ICT活用で企業の誘地	1
選挙人の情報公開	1
医療関係の情報	1
高齢者に対するICT活用PR	1
高齢者の介護支援、バス利用等	1
袋井市の産業、観光等のデータをオープンにする→活用	1
行政の横の繋がり	1
手続きの短時間化（市役所で待たない）	1
セーフティネットをしっかりとして下さい	1
ICTのリスク対応	1
老人だから出来ない	1
インターネット等はあまり得意ではない	1
高齢高齢なのでICT活用ダメである、できない	1

問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉やその意味を知っていますか。

回答内容	件数
社会環境の変化で子供達は夕方まで保育所等のお世話になっています。 労働時間や保障の見直しが必要と思う。	1
意味は分るが具体的な策を示して欲しい	1
なんとなく理解しているが他人に説明はできない	1

問7 家庭での男女の役割分担について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。

回答内容	件数
各家庭で話し合って決める	13
役割を決めず、得意なことや出来ることを男女の区別なく、臨機応変にやる	10
男女ともに仕事をするが、家事、育児、介護は女性を中心にするのがよい	1
男女ともに仕事、家事・育児・介護も分担	1
1人が仕事を中心にし、配偶者が他を中心にする	1
男性は仕事中心、家事、育児は分担	1
②に近いが育児、介護は協力しあう	1
①+④で協力し合わないと体がもたない。	1
仕事の有無は関係なく男女共に家事、育児、介護を分担するのが良い	1
男はできることをする	1
女も男の仕事をして理解するべきだ	1
各家庭によって異なるため分担する必要はない	1
何かを中心とするのではなく、おぎないあう事が大事	1
1人でがんばらず適当に	1
介護は兄弟を含め家族で	1
高齢で只今体調が悪いので	1
すべて卒業してました	1
規制、条件が付いたり、難しくなる	1

問8 あなたは、過去1年間に「夫や妻・恋人などから親しい間柄にある男女間の暴力」(ドメスティック・バイオレンス)について、経験したり見聞きしたことがありますか。(あてはまるもの全て選択)

回答内容	件数
ケンカでお互い手が出る	1
自分から娘に〈カラのペットボトル〉を投げつけたこと1回あり	1
長男がヨメに暴力的な言葉を使う	1
ドメスティック・バイオレンスをしたことがある	1
言葉の暴力、についてDVと同時に論ずべきと思います	1

問9 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。

回答内容	件数
本人の自由・本人が決めたらい	28
家庭状況による・家族で相談して決めたらよい	16
人それぞれ	11
好きにすればいい	4
生きがいをもっていればどちらでもよい	1
生活の為ではなく、自身のための仕事なら続けられたらいいと思う	1
働く意欲があればやったら良い。資格等は使い方が良いと思う	1
得意な事、好きな事を育児をしながらも両立するのが良いと思う	1
本人の大切にしたいもの、ことを尊重したい	1
女性にとって仕事が生きがいならもてば良い 男女とも生き方が気持ち明るくなるような職場作りや環境が必要	1
職業次第	1
女性の勤め先制度（育休）による	1
続けたいが、会社側の理解がやすい	1
子供ができて女性も収入を得る手段はもっていた方がよい （不動産収入、不労取得なども含む）	1
子どもが小さい時は職業をやめた方がよいが、経済的に難しい	1
子供が出来たら職業を中止、子供を見る	1
時と場合によって4・3となるのがよいのでは	1
子どもをみてくれる家族がいないと無理だと思う	1
状況、時代によるが周りの協力度合（理解度）	1
好きなようにすれば良いと思う。それをサポートするのも夫（男性）の役割	1
嫌々不満を持つなら考えた方がよい。	1
その人の実態に合わせて選べるのがいい	1
当然のことである	1
夫婦で出した答えに社会が応じられたら良いと思う	1
事情によっては家事につき、その他なるべく仕事をする方がよい	1
家庭内に女性は一人	1
生活お金のため	1
昔のように家庭で子どもを産み育て守る	1
ひまだから年れいに関係なくやった方がいい	1
対して「男性が…」の問いがないことに不平等を感じる（ので回答を避けたい）	1
この設問は問題有り	1
子供のためには、です	1
今だに現役です	1

問12 あなたは、過去1年間に、どのような地域活動に参加しましたか。（あてはまるもの全て選択）

回答内容	件数
ボランティア活動	7
防災訓練・防犯活動	4
交通安全運動・下校時見守りボランティア	4
老人会	2
海外留学生のホームステイ	1
文化協会	1
自主防災隊	1
女性部	1
文化協歌謡部	1
ハローフレンド	1
土地区画整理組合	1
有害鳥獣駆除事業	1
野良猫の保護活動	1

V 資料

1 調査票

令和元年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査

調査ご協力をお願い

日ごろから、袋井市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本調査は、市民の皆さまの生活における意識や暮らしの状況などをお伺いし、袋井市の総合計画(まちづくり)の進み具合を測る指標とするとともに、今後の取り組みについて検討する基礎資料とさせていただくために実施するものです。

お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- ◇ 本調査は、市内にお住まいの18歳以上の方、約3,000人を無作為に抽出して実施しています。(6月5日現在の情報を使用しています)
- ◇ ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理を行い、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

令和元年 6月

袋井市長 原田 英之

ご記入にあたってのお願い

- ◇ あて名のご本人がお答えください。(代筆は差し支えありません)
- ◇ 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 回答に必要な時間は20分程度です。

ご記入が終わりましたら…

ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**7月1日(月)までに**ポストへ投函してください。(切手は不要です)



この調査に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

袋井市 企画財政部 企画政策課 企画係

〒437-8666

袋井市新屋一丁目1番地の1

電話:44-3105 FAX:43-2131

E-mail:kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp

● **あなたご自身のことについてお聞きします。**

問1 あなたの性別、年齢などを教えてください。(それぞれ1つに○)

1. 性別	1 男性	2 女性					
2. 年齢	1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代	7 70歳以上
3. 居住地区 (旧公民館地区)	1 三川	2 山名	3 今井	4 袋井北	5 袋井西	6 袋井東	7 袋井南
4. 家族構成	1 単身	2 夫婦だけ	3 2世帯(親と子)	4 3世帯(祖父母と親と子)	5 その他		

● **あなたの運動習慣、健康習慣などについてお聞きします。**

問2 あなたは、この1年間でスポーツ※をどのくらい行いましたか。

1 ほぼ毎日	2 週3回くらい	3 週1回くらい	4 月に数回
5 3か月に数回	6 1年間に数回	7 まったく行っていない	

※ウォーキングやラジオ体操、
筋肉トレーニング等も含めて
いただいて構いません。

問3 あなたは、日常的に喫煙する習慣がありますか。

1 ある	2 ない
------	------

● **2020年東京オリンピックについてお聞きします。**

問4 アイルランドのオリンピックチームが2020年に袋井市内で事前キャンプを行うことを知っていますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

● **ICT(情報通信技術)についてお聞きします。**

問5 ICTを活用した袋井市の取り組みについて、今後さらに力をいれてほしい分野は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 申し込みや手続きの電子申請化	2 行政情報の充実と迅速な発信
3 行政データの公開(オープンデータ※)	4 地域課題に対するICTの活用
5 その他()	※広く利用が許可されているデータ

● **男女共同参画社会についてお聞きします。**

問6 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉やその意味を知っていますか。

1 意味も含めて知っている	2 聞いたことはある(意味はよく知らない)
3 知らない(初めて聞いた)	4 その他(具体的に:)

問7 家庭での男女の役割分担について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。

1 男女ともに仕事をし、ともに家事・育児・介護を分担するのがよい	
2 男性は仕事を中心にし、女性は家事・育児・介護を中心にするのがよい	
3 女性は仕事を中心にし、男性は家事・育児・介護を中心にするのがよい	
4 男女ともに仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である	
5 わからない	6 その他(具体的に:)

問8 あなたは、過去1年間に「夫や妻・恋人などから親しい間柄にある男女間の暴力」(ドメスティック・バイオレンス)について、経験したり見聞きしたことがありますか。(あてはまるもの全てに○)

1 暴力を受けたことがある	2 身近に暴力を受けた人がいる
3 暴力を受けた人から相談されたことがある	4 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5 テレビや新聞などで話題になっていることを知っている	6 経験したり見聞きしたことはない
7 その他()	

問9 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。

1 女性は職業をもたないほうがよい	2 結婚するまで職業をもつほうがよい
3 子どもができるまでは職業をもつほうがよい	
4 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい	
5 子どもができても職業を続けるほうがよい	
6 わからない	7 その他()

問10 あなたは、次にあげる分野で、男女が平等であると思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②職場で	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④地域で(自治会・PTA等)	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習しきたり等で	1	2	3	4	5	6

問11 あなたは、市政に女性の意見が反映されていると思いますか。

- 1 十分反映されている 2 まあまあ反映されている 3 あまり反映されていない
4 まったく反映されていない 5 わからない

問12 あなたは、過去1年間に、どのような地域活動に参加しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 自治会活動 2 コミュニティセンターの行事(講座も含む)
3 スポーツ協会の行事 4 地区の祭典 5 消防団・青年団 6 子ども会・PTA
7 地域でのサークル活動(スポーツや趣味など) 8 参加していない
9 その他()

●環境についてお聞きします。

問13 あなたは、環境に配慮した取組を行っていますか。※マイバックや生ごみ処理機の利用。こまめに電気を消すなど家庭での節電、自宅へ太陽光発電設備や蓄電池等の省エネ機器の導入。環境美化活動への参加 等

- 1 かなり取り組んでいる 2 少しだが取り組んでいる 3 まったく取り組んでいない

●防災対策についてお聞きします。

問14 地震などの災害に備えて、家庭で「非常持ち出し品[※]」を用意していますか。

※非常食、飲料水、懐中電灯、毛布、携帯ラジオ、衣類、靴、医薬品、貴重品、筆記用具、ライター、タオル、ロープ、生活用品など

- 1 十分用意している 2 ある程度用意している 3 今後、用意するつもり 4 用意する気はない

問15 あなたの家庭では、地震に備えて家具を固定していますか。

- 1 全て固定済み 2 一部は固定済み 3 今後、固定する予定 4 固定する気はない
5 家具が作り付けなどで、固定する必要がない

問16 あなたの家庭では、地震などの災害に備えて自家用車のガソリンをどのくらいの残量になったら給油していますか。

- 1 残量が半分(2分の1)になる前に給油している
2 残量が半分(2分の1)になったら給油している
3 残量が3分の1になったら給油している
4 ほとんど空になったら給油している

● 生鮮食料品(野菜、果物、肉、魚)の買い物についてお聞きします。

問17 次の支払い方法をどのくらい利用しますか。(それぞれ1つに○)

現金			
1 よく利用する	2 たまに利用する	3 あまり利用しない	4 全く利用しない
クレジットカード決済			
1 よく利用する	2 たまに利用する	3 あまり利用しない	4 全く利用しない
電子マネー			
1 よく利用する	2 たまに利用する	3 あまり利用しない	4 全く利用しない
スマホ決済(QRコード決済等)			
1 よく利用する	2 たまに利用する	3 あまり利用しない	4 全く利用しない

● 袋井市のまちづくりについてお聞きします。

問18 第2次袋井市総合計画に基づき実施する6政策27の取組について、あなたが感じる現状の**評価(満足度と重要度)**について、それぞれ1つずつ**選び○**をつけて下さい。

■政策1 子どもがすこやかに育つまちを目指します

取組1 市民総参加で子育て環境の充実

家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子ども・子育てを応援します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28~30年度の主な実施事業】 ○認定子ども園及び新たな保育施設の開園 ○預かり保育の全園実施、病児・病後児保育の実施 ○子育て応援アプリ「フッピーのぼっけ」運用開始 ○育ちの森及び子育て包括支援センター開設 など	高			低		高			低	
	←4	3	2	1	0	←4	3	2	1	0

取組2 未来に輝く若者の育成

国際社会や地域社会で活躍する、心ゆたかでたくましい若者を育てます	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28~30年度の主な実施事業】 ○全小中学校全クラスへ電子黒板機能付きプロジェクト導入、デジタル教科書の導入 ○英検チャレンジ事業の実施、英語集中講座(イングリッシュデイキャンプ)の開催 ○幼小中一貫教育推進、袋井北小・周南中増築 など	高			低		高			低	
	←4	3	2	1	0	←4	3	2	1	0

取組3 教養ゆたかな人づくり

人や社会に貢献する人づくりを推進するとともに、市民の主体的な生涯学習活動を支援します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28~30年度の主な実施事業】 ○ふくろい版ホームステイの実施 ○市民を対象とした英会話教室開催 ○大学と連携したIT講座開催 ○次世代リーダー育成塾の開催 など	高			低		高			低	
	←4	3	2	1	0	←4	3	2	1	0

■政策2 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します

取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進

生涯にわたり健康で幸せに暮らせるように、それぞれの生活や年代にあわせた健康づくりを推進します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28~30年度の主な実施事業】 ○#2961ウオーク(健康ポイント)運用開始 ○健康経営の推進、自殺対策計画策定 ○出張保健センター、みんなのよりみち保健室開催 ○野菜いっぱい運動、各種健(検)診 など	高			低		高			低	
	←4	3	2	1	0	←4	3	2	1	0

取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進

すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を目指します 【H28～30年度の主な実施事業】 ○介護予防・日常生活支援総合事業（地域での支え合い、生活支援、介護予防サービス等） ○介護予防教室・講座開催 ○介護保険サービス運営 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

取組3 安心できる地域医療の充実

保健・予防から医療、介護、福祉へと切れ目のない連携体制の構築を目指します 【H28～30年度の主な実施事業】 ○医師会等との連携、休日急患診療室の運営 ○中東遠総合医療センターの運営 ○聖隷袋井市民病院の運営 ○総合健康センターの運営 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進

障がいのある人が、住み慣れた地域で、生きがいを 持って生活できる環境を整備します 【H28～30年度の主な実施事業】 ○障がい者自立支援、要配慮者支援 ○手話言語条例の制定 ○社会福祉施設の整備推進 ○緊急通報システム設置事業 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

取組5 親しみやすい市民スポーツの推進

市民が明るく健康でいきいきとした生活を送れるように、 気軽に親しめるスポーツ文化の推進に取り組みます 【H28～30年度の主な実施事業】 ○総合体育館整備事業 ○ラグビーワールドカップ2019に向けた 各種イベント開催、体験用ゴールポスト設置 ○サイクルロードレース開催 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

■政策3 快適で魅力あるまちを目指します

取組1 暮らしやすくなる都市拠点の創出

誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしやすくなるまちづくりを推進します 【H28～30年度の主な実施事業】 ○袋井駅南整備事業 ○歩いて楽しいまちづくり ○自転車を活かしたまちづくり ○袋井市景観重要樹木・景観重要建造物の指定 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

取組2 誰もが移動しやすいまちづくり

日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、 利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築します 【H28～30年度の主な実施事業】 ○自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バスの運行、生活バス路線維持補助 ○幹線道路整備 ○道路や橋りょうの長寿命化・修繕 など	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
	高			低		高			低	
	←4	3	2	1→	0	←4	3	2	1	0→

取組3 花と緑と水のまちづくり

地域の資源を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○公園維持管理・愛護活動 ○公園長寿命化 ○ミズベリングふくろい（水辺活用推進） ○花育講座、ふくろい宿de花マルシェ開催 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組4 恵みある河川・海岸づくり

人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川や海岸を大切に、河川愛護や海岸保全の活動を推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○河川整備、河川・排水路維持管理 ○グリーンウェーブ（砂防林保全）活動 ○袋井幸浦の丘プロジェクト（防潮堤整備） ○ミズベリングふくろい（水辺利活用促進） など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組5 豊かな環境の醸成と継承

市民・地域や企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性ある自然環境を保全します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○環境基本計画の策定、出前エコ教室等の開催 ○ごみの減量化・再利用・再資源化推進 ○公共下水道事業、合併処理浄化槽設置促進 ○再生可能エネルギー推進 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組6 生活を快適にするICT環境の構築

市民生活や産業活動におけるICTの利用環境の充実に図るとともに、ICTにより市民サービスの向上を図ります	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○愛野駅等市内でのWi-Fiスポット拡大 ○子どもの見守りタグ実証実験 ○人工知能による対話形式のお問い合わせサービス ○地域協働バス配車システムの整備 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

■政策4 活力みなぎる産業のまちを目指します

取組1 産業の新たな展開の推進

企業の新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の誘致を推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○豊沢工業団地への企業進出 ○エコパドリームプロジェクト（自動運転実証実験）の実施、産業経済懇話会の開催 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組2 戦略的な観光の推進

まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やします	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○「ふくろい夜宵プロジェクト」（遠州三山ライトアップ・まちなかライトアップ等）の実施 ○東海道どまん中袋井茶お土産開発 ○愛野駅へのデジタルサイネージ設置 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組3 経営力の高い農業の振興

消費者に選ばれる安全で質の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○門前うまいもん市開催 ○ふくろい農商工交流会開催 ○クラウンメロンの加工品販売促進 ○都内日本茶専門店での袋井茶販売・PR など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組4 魅力的な商業の振興

商店の個性ある魅力づくりや経営体質の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○個店へのキャッシュレス決済導入促進 ○袋井個店めぐりスタンプラリーの実施 ○得するまちの個店セミナー開催 など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組5 雇用環境の充実

地域経済と市民生活の基盤を確立するため、誰もが安心して働ける雇用環境を充実させます	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○ふくろいTaskArusネットワーク事務局開設 ○いわた・ふくろい就職フェア開催 ○高校生と企業を結ぶ合同企業説明会開催 ○高校生対象の地元企業見学バスツアー など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

■政策5 安全・安心に暮らせるまちを目指します

取組1 地震災害に強いまちづくりの推進

大規模地震による「人命被害ゼロ」を目指し、市民や地域、企業、行政が一体となって災害に強いまちづくりを推進します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○袋井消防庁舎・袋井市防災センターの整備 ○袋井幸浦の丘プロジェクト（防潮堤整備等） ○木造住宅耐震補強推進 ○地域防災訓練実施 など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組2 治水・治山対策の推進

市民が安全・安心に暮らせるように、総合的な治水対策に取り組むとともに、土砂災害に対する市民意識の高揚を図ります	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○松橋川改修、油山川改修 ○高尾放水路整備 ○小中学校校庭貯留整備 ○洪水ハザードマップの見直し など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組3 交通安全・防犯対策の推進

地域、学校、警察などの関係団体と連携し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【H28～30年度の主な実施事業】 ○交通安全街頭指導、下校時街頭指導 ○交通安全対策整備 ○防犯対策推進（青色回転灯防犯パトロール） ○空き家対策計画策定 など	高			低	0	高			低	0
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 4 消防・救急救助体制の充実

市民一人ひとりの防火・防災意識が高く、迅速な災害対応が図れる安心して暮らせるまちづくりを推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○袋井消防庁舎・袋井市防災センターの整備 ○消防団装備等整備 ○高齢者宅への訪問による火災予防啓発 ○女性消防隊による火災予防教室開催 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組 5 安全な水の安定供給

水道施設の計画的な更新と適正な管理を行い、安全でおいしい水道水を安定的に供給します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○基幹施設耐震化事業 ○老朽管更新（耐震化）事業 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

■政策 6 市民がいいきと活躍するまちを目指します

取組 1 市民と行政の協働によるまちづくり

市民や地域が地域づくりに主体的に取り組む体制をつくり、市民と行政の協働によるまちづくりを推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○公民館をコミュニティセンターに移行 ○自治会活動支援、LINE@を活用した地域とつながる情報発信、袋井西コミュニティセンター整備 ○協働まちづくり事業 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組 2 多様な文化の創造

市民や団体等の主体的な文化・芸術活動を支援するとともに、国際感覚を持つ人材の育成を推進します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○ふくろい版ホームステイの実施 ○ふくろい多文化共生のまちづくり計画策定 ○姉妹都市友好都市交流事業 ○東京藝大交流事業 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

取組 3 共生社会の確立

多様な価値観を認め合い、互いに支え合い、個性と能力を発揮できる社会の実現を目指します	満足度					重要度						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない		
	高			低		高			低			
【H28～30年度の主な実施事業】 ○男女共同参画社会の推進、ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ○生活保護事業、家庭児童相談事業 ○人権に関する知識習得の推進 など	←	4	3	2	1	0	←	4	3	2	1	0

- ◇ 記入が終わりましたら、本調査票を同封の返信用封筒に入れ、7月1日(月)までに、ポストにご投函ください。(切手の貼付、住所・氏名の記入は不要です)

- ◇ ご協力ありがとうございました。



令和元年度
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査
調査結果報告書

令和元年 8 月

発行／袋井市 企画財政部 企画政策課 企画係
〒437-8666 袋井市新屋一丁目 1 番地の 1
電 話：0538-44-3105
F A X：0538-44-3217